上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事

図面リスト

NO.	図面名称	縮尺	NO.	図面名称	縮尺	NO.	図面名称	縮尺	NO.	図面名称	縮尺	NO.	図面名称	縮尺
A-00	タイトル・図面リスト		A-26	便所A 平面詳細図　展開図	(A2)1:50 (A3)1:71	S-15	軸組図Ⅲ	(A2)1:100 (A3)1:141	E-01	電気設備工事仕様書(1)		M-01	機械設備工事仕様書(1)	
A-01	建築工事仕様書(1)		A-27	便所B　職員便所 平面詳細図　展開図	(A2)1:50 (A3)1:71	S-16	軸組図Ⅳ	(A2)1:100 (A3)1:141	E-02	電気設備工事仕様書(2)		M-02	機械設備工事仕様書(2)	
A-02	建築工事仕様書(2)		A-28	ﾌﾟﾚｲﾙｰﾑ 展開図	(A2)1:50 (A3)1:71	S-17	軸組図Ⅴ　ﾒﾝﾊﾞｰﾘｽﾄ	(A2)1:100 (A3)1:141	E-03	電灯　火災報知設備　平面図	(A2)1:100 (A3)1:141	M-03	換気機器ﾘｽﾄ　衛生器具ﾘｽﾄ	
A-03	建築工事仕様書(3)		A-29	手洗下家具詳細図	(A2)1:20 (A3)1:28	S-18	補強詳細図A･B　GH1接合部標準	(A2)1:20 (A3)1:28	E-04	電灯　火災報知設備　撤去　平面図	(A2)1:100 (A3)1:141	M-04	空調･換気設備　改修後平面図	(A2)1:100 (A3)1:141
A-04	建築工事仕様書(4)		A-30	建具配置図	(A2)1:100 (A3)1:141	S-19	補強詳細図C･D	(A2)1:20 (A3)1:28	E-05	仮設動力図	(A2)1:100 (A3)1:141	M-05	空調･換気設備　改修後断面図	(A2)1:50 (A3)1:71
A-05	建築工事仕様書(5)		A-31	建具表	(A2)1:100 (A3)1:141	S-20	補強詳細図E･F･G	(A2)1:20 (A3)1:28				M-06	衛生設備　改修後平面図	(A2)1:100 (A3)1:141
A-06	設計概要　外部仕上表　内部仕上表		S標-01	構造特記仕様書		S-21	補強詳細図H･I	(A2)1:20 (A3)1:28				M-07	衛生設備　改修後便所A平面詳細図　展開図	(A2)1:50 (A3)1:71
A-07	配置図　付近見取図	(A2)1:200 (A3)1:282	S標-02	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ構造配筋標準図(1)		S-22	基礎断面詳細図 可動間仕切壁補強伏図　可動間仕切壁補強詳細図	(A2)1:100 (A3)1:141 (A2)1:30 (A3)1:42				M-08	衛生設備　改修後便所B平面詳細図　展開図	(A2)1:50 (A3)1:71
A-08	仮設計画図	(A2)1:300 (A3)1:423	S標-03	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ構造配筋標準図(2)								M-09	空調･換気設備　撤去平面図	(A2)1:50 (A3)1:71
A-09	現況1階平面図	(A2)1:100 (A3)1:141	S標-04	鉄骨工作標準図(1)								M-10	衛生設備　撤去平面図	(A2)1:100 (A3)1:141
A-10	現況立面図Ⅰ	(A2)1:100 (A3)1:141	S標-05	鉄骨工作標準図(2)										
A-11	現況立面図Ⅱ	(A2)1:100 (A3)1:141	S標-06	耐震補強特記仕様書(鉄骨構造)										
A-12	現況天井伏図Ⅰ	(A2)1:100 (A3)1:141	S-01	現況基礎伏図	(A2)1:100 (A3)1:141									
A-13	現況天井伏図Ⅱ	(A2)1:100 (A3)1:141	S-02	現況床伏図	(A2)1:100 (A3)1:141									
A-14	平面図	(A2)1:100 (A3)1:141	S-03	現況R階梁伏図	(A2)1:100 (A3)1:141									
A-15	立面図Ⅰ	(A2)1:100 (A3)1:141	S-04	現況軸組図Ⅰ	(A2)1:100 (A3)1:141									
A-16	立面図Ⅱ	(A2)1:100 (A3)1:141	S-05	現況軸組図Ⅱ	(A2)1:100 (A3)1:141									
A-17	天井伏図Ⅰ	(A2)1:100 (A3)1:141	S-06	現況軸組図Ⅲ	(A2)1:100 (A3)1:141									
A-18	天井伏図Ⅱ	(A2)1:100 (A3)1:141	S-07	現況軸組図Ⅳ	(A2)1:100 (A3)1:141									
A-19	断面詳細図	(A2)1:30 (A3)1:42	S-08	現況軸組図Ⅴ　ﾒﾝﾊﾞｰﾘｽﾄ	(A2)1:100 (A3)1:141									
A-20	可動ｽﾁｰﾙ間仕切廻り断面詳細図 ﾎﾞｰﾁ廻り詳細図	(A2)1:30 (A3)1:42	S-09	現況基礎詳細図	(A2)1:30 (A3)1:42									
A-21	AW-101廻り詳細図　X6-Y3柱廻り詳細図 保育室･便所A間仕切壁断面詳細図	(A2)1:30 (A3)1:42	S-10	基礎伏図	(A2)1:100 (A3)1:141									
A-22	保育室NO1 平面詳細図　展開図	(A2)1:50 (A3)1:71	S-11	床伏図	(A2)1:100 (A3)1:141									
A-23	保育室NO2 平面詳細図　展開図	(A2)1:50 (A3)1:71	S-12	R階梁伏図	(A2)1:100 (A3)1:141									
A-24	保育室NO3 平面詳細図　展開図	(A2)1:50 (A3)1:71	S-13	軸組図Ⅰ	(A2)1:100 (A3)1:141									
A-25	ほふく室　保育士室　調理室 展開図	(A2)1:50 (A3)1:71	S-14	軸組図Ⅱ	(A2)1:100 (A3)1:141									

(有)MEUX設計工房

建　築　工　事　仕　様　書

Ⅰ．工　事　概　要

１．工 事 場 所　　鳥取県倉吉市鴨河内

２．敷 地 面 積　　1849.10 ㎡

３．地 域 地 区　　都市計画地域（ ●内 ・外 ）　市街化調整区域

用途地域等（ 無指定 ）

４．建 物 概 要

番号	名　称	工事種別	構　造	階数	建築面積（㎡）	延べ面積（㎡）
1	保育所	耐震改修 大規模改修	鉄骨造	1	583.86	480.86

Ⅱ．建築工事仕様

１．共通仕様

（１）　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成２２年版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし、アスベスト成形板の処理等は、国土交通省官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成２２年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

（２）　請負者は完了検査（中間検査含む）の検査には、特定行政庁が求める検査に必要な資料等（報告書等）を用意すること。

（３）　電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

２．特記仕様

（１）　項目は番号に○印のついたものを適用する。

（２）　特記事項は●印のついたものを適用する。
●印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
●印と※印のついた場合は共に適用する。

（３）　項目に記載の（　　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。［　　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（４）　Eco1は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成２２年２月）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。

（５）　標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守（１．１．１３）の規定を優先する。

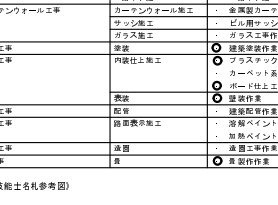
（６）　材料及び製造所等の記載は順不同である。

章		項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	1	適用基準等	● 建築工事標準詳細図　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成２２年版）（以下「標準詳細図」という） ● 建築工事監理指針（上巻・下巻）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成２２年版） ● 工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編　建設大臣官房官庁営繕部監修 ● 建築改修工事監理指針（上巻・下巻） ・ ・
	2	官公庁その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続き、検査並びにその費用は、本工事請負者の負担とする（1．1．1）
	3	電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規定第５条に定める工事を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。
	4	工事安全計画書	建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督員に提出する（1．1．1）
	5	発生材の処理等	・　引き渡しを要するもの（　　） ・　現場において再利用を図るもの（　　） ● 再生資源化を図るもの ● コンクリート塊　・　アスファルトコンクリート塊　● 建設発生木材（1．1．1）
	6	環境への配慮	化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の（１）から（５）を満たすものとする １）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質繊材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする ２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド又はステンレスを放散させないか、放散が極めて少ないものとする ３）接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする ４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散がきわめて少ないものとする ５）１）、３）及び４）の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする ホルムアルデヒド放散量　規制 対象外 放当する建築材料 ①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆品 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるＪＡＳ適合品 ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ｂ．接着剤等不使用 ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 ｄ．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 ｆ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 ホルムアルデヒド放散量　第三種 該当する建築材料 ①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆品 ②建築基準法施行令第２０条の７第３項による国土交通大臣認定品 ③日ＪＩＳのＥ０品 ④日ＪＡＳのＦｃｏ品

① 一般共通事項			
	●	材料の品質等	（1．4．2）
	●	特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品等の指定工法による
	●	技能士	（1．1．2） 下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、１名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと （技能士：職業能力開発促進法による一級技能士又は単一等級の資格を有する者） また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札（下図参考）を常時着用すること

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	● とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	・　鉄筋組立作業
コンクリート工事	型枠施工	・　型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	・　コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	鉄工	● 構造物鉄工作業
	とび	・　とび作業
コンクリートブロック・ＡＬＣ	ブロック建築	・　コンクリートブロック工事作業
パネル・押出成形セメント板工事	ＡＬＣパネル施工	・　ＡＬＣパネル工事作業
防水工事	防水施工	・　アスファルト防水工事作業 ・　ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・　アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・　合成ゴム系シート防水工事作業 ・　塩化ビニル系シート防水工事作業 ・　セメント系防水工事作業 ● シーリング防水工事作業 ・　改質アスファルトシートトーチ工法 ・　防水工事作業 ・　ＦＲＰ防水工事作業
石工事	石材施工	・　石張り作業
タイル工事	タイル張り	● タイル張り作業
木工事	建築大工	● 大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	● 内外装板金作業
	スレート施工	・　スレート工事作業
金属工事	内装仕上施工	● 鋼製下地工事作業
	建築板金	・　内外装板金作業
左官工事	左官	● 左官作業
建具工事	サッシ施工	● ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	● ガラス工事作業
	自動ドア施工	・　自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・　金属製カーテンウォール工事作業
	サッシ施工	・　ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・　ガラス工事作業
塗装工事	塗装	● 建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	● プラスチック系床仕上工事作業 ・　カーペット系床仕上作業 ・　ボード仕上工事作業
	表装	● 壁装作業
排水工事	配管	・　建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	・　溶解ペイトマーカー工事作業 ・　加熱ペイトマシンマーカー工事作業
植栽工事	造園	・　造園工事作業
畳工事	畳	● 畳製作作業

（技能士名札参考図）



① 一般共通事項			
	10	化学物質の濃度測定	（1．1．9） 図示した室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告するパッシブ型採取機器を用いて、次の要領で測定及び分析を行う ・　パラジクロロベンゼン ①３０分開放気 測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、３０分間換気する ②５時間開始 ①の後、測定対象室すべての窓及び扉を５時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする ③測定 イ　②の状態のままで測定する ロ　測定時間は、原則として２４時間とする。ただし、工程等の都合により、２４時間測定が行えない場合は、８時間測定とする。なお、８時間測定の場合は、午後２時～３時が測定時間帯の中央となるよう、１０時３０分～１８時３０分までの時間帯で測定する ハ　測定回数は１回とし、複数回の測定は不要とする ④分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する ⑤その他 監督員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けること
	11	完成写真	下記のものを監督員に提出する

区　分	分類・規格	撮影箇所	部数	原板の大きさ（㎜）
※ 工事記録写真	カラーサービス判	各工種の工程毎	1部	・　24×36以上
※ 完成写真	カラーサービス判	● 内部必要箇所	2部	・　24×36以上
		● 外部必要箇所	2部	・　24×36以上
・	カラーキャビネ判	・　内部　箇所	部	・　24×36以上
		・　外部　箇所	部	・　24×36以上
・　パネル	カラー	・　四切　箇所	2部	・　100×125以上
		・　半切　箇所		・　24×36以上
		・　全紙　箇所		
・				

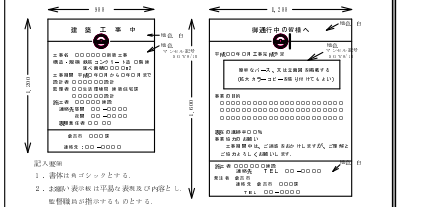
・　電子データ及びネガの提出［工事記録写真］　（・　要　・　不要）
●　電子データ及びネガの提出［完成写真］　（●　要　・　不要）

	12	完成時の提出図書	（1．7．1～2） 下記のものを監督員に提出する ● 原図Ａ１版又はＡ２版（設計図の第２項目正本可）　１部 ● ＣＡＤデータ　１部 ● 原図の縮図複写紙の２つ折製本　１部 ● 原図の縮小版の縮図複写紙の２つ折製本（Ａ４版）　１部 ・　複写　縮小版Ａ３パラ焼　部 ・ 完成図の種類及び内容 ● 案内図・配置図・面積表：配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む（ＢＭの表示） ● 平面図：室名、耐震壁（防火壁）、避難施設等を表示する ● 立面図：外壁仕上等を表示する ● 断面図：階高、天井高等を表示する ● 仕上表：屋外、屋内（各階）の仕上表を表示する ・
	13	施工図及び施工計画書	（1．7．2）　提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする
	14	設備工事との取り合い	設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督員の承認を受ける

設備工事との取り合い		建築	電気	機械
・　コンクリート壁、床、梁貫通部	補強	※		
	スリーブ・箱入れ		※	※
● 鉄骨梁の開口及び補強		※		
● 照明器具・錘線等の吊りボルト用インサート（釣処理共）			※	
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地			※	
・　埋込分電盤・端子盤・プルボックスの	仮枠		※	
仮枠及び埋込部分の補強	補強	※		
・　ＯＡフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※		
● 埋込型機器取付用の天井	切込		※	※
壁の切込加工、下地の補強	補強	※		
・　自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及び ドアクローザ、フロアヒンジ		※		
・　電気盤、自家発電などの基礎及びピット（蓋を含む）		※		
・　テレビアンテナ	基礎	※		
	アンカーボルト		※	
● 天井点検口		※		
・　機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置		※	※
	屋上設備	※		

	15	設計ＧＬ	※　図示による　・　（　　）
	16	耐震重及び耐外 力	建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速　Ｖｏ＝　30 ｍ／ｓ 地表面粗度区分　・　Ⅰ　・　Ⅱ　●　Ⅲ　・　Ⅳ 積雪区分　建設省告示第１４５５号　別表（　　）
	17	保全に関する資料	（1．7．3）　下記のものをＪＩＳ　Ａ４版ファイルに製本して監督員に提出する。 ● 主な主要資材、機器等のメーカー及び施工者一覧表 ● 機器性能試験成績書及び取扱説明書 ● 保証書 ● 官公署届出書類（保守に必要とするもの） ● 建築物の保守に関する説明書、指導案内書 ・ ・
	18	火災保険等	工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する（保険の加入期間は、工事完成引き渡しまでとする）
	19	環境配慮	鳥取県公共工事環境配慮指針　※　対象工事　・　非対象工事
	20	建設リサイクル法	※　対象工事　・　非対象工事
	21	鳥取県福祉のまちづくり条例	※　対象工事　・　非対象工事
	22	鳥取県景観形成条例	※　対象工事　・　非対象工事
	23	バリアフリー法	※　対象工事　・　非対象工事
	24	省エネ法	※　対象工事　・　非対象工事

② 仮設工事			
	1	足場その他	（1．2．4）　足場を設ける場合は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成２２年版２．２．４（ｂ）によるほか、設置においては「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の（２）手すり部置方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行うこと
	2	監督職員事務所	（1．3．1）　※　設ける　㎡　●　設けない 備品等は、監督員の指示を受けて設置すること
	3	表示板	※　工事表示板　・　お願い表示板



	4	工事用水	構内既存の施設　※　利用できない　●　利用できる（　※　有償　・　無償　）
	5	工事用電力	構内既存の施設　※　利用できない　●　利用できる（　※　有償　・　無償　）
	6	工事用仮設物	構内既存の施設　・　できる　●　できない
	7	工事現場のイメージアップ	

③ 土工事			
	1	埋戻し及び盛土	（1．2．1）　埋戻し土　種別　・　Ａ種　※　Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種　　数1．2．1 ・　建設汚泥から再生した処理土Ⓒ Ｄ種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督員と協議の上、六価クロム溶出試験を行う 盛土　種別　・　Ａ種　※　Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種 ・　建設汚泥から再生した処理土Ⓒ Ｄ種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督員と協議の上、六価クロム溶出試験を行う
	2	建設発生土の処理	（1．2．1）　※　構外指示の場所に処分 ●　構内指示場所に敷き均し ・　構内指示場所に堆積

④ 地業工事			
	1	共通仕様	（4．2．2） （4．2．4）　試験杭　（　　）本　位置は構造図による 地盤の平板載荷試験　※　行わない ・　行う　（　　）箇所 位置、深さ、対象地盤及び最大載荷荷重は構造図による 試験の方法、報告書の記載事項等は構造図による
	2	既製コンクリート杭地業	（4．3．2～7）　材料 ※　遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（ＰＨＣ杭） ・　外殻鋼管付きコンクリート杭（ＳＣ杭） ・　プレストレス鉄筋コンクリート杭（ＰＲＣ杭）

	符号	杭径（㎜）	杭長（ｍ）及び種別	継手数	本数	コンクリート強度（Ｎ／㎟）	長期設計支持力（ｋＮ／本）	備考
試験杭			上杭					
			中杭					
			下杭					
本杭			上杭					
			中杭					
			下杭					

ＳＣ杭の鋼管　・　ＳＫＫ４００　・　ＳＫＫ４９０　・　ＳＴＫ４００　・　ＳＴＫ４９０
ＳＣ杭の板厚　※　構造図による
ＰＨＣ杭の種別　・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種
ＰＲＣ杭の種別　・　Ⅰ種　・　Ⅱ種　・　Ⅲ種　・　Ⅳ種
なお、特定環境杭工法における杭材料はＪＩＳ又は認定条件に適合するものとする

先端部材形状　※　開放形　・　閉そく平たん形
ネガティブフリクション対策
※　不要　・　要（構造図による）
杭の継手　・　溶接継手
機械式無溶接継手（※　建築基準法に基づき認定等を受けたもの）
機械式無溶接継手は認定等により定められた項目の検査を行う
施工は認定等に記された施工管理基準による
杭頭の処理　※　切断しない　・
杭頭の中間材料　※　コンクリート（基礎コンクリートと同仕様）
支持地盤　※　構造図による
施工方法
※　特定埋込み杭工法　・　セメントミルク工法
・　Ｈ１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝２５０程度を採用できる工法
・　Ｈ１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝　、β＝　、γ＝　を採用できる工法
工法　・　プレボーリング拡大根固め工法　・　中堀り拡大根固め工法
杭周固定液の使用　・　する　・　しない
杭の精度
水平方向の位置ずれ　・　杭径の１／４かつ１００㎜以下　・
杭の傾斜　・　１／１００　・　認定条件または認定条件による　・

(有)MEUX設計工房 鳥取県倉吉市清谷町１丁目８６番地２ TEL：0858-48-1003　FAX：0858-26-7570	１級建築士事務所 鳥取県知事登録第22-561号 管　理　建　築　士 １級建築士　大臣登録第１６８６７４号 讓　岐　英　夫	設　計　者 １級建築士　大臣登録第１６８６７４号 構造設計１級建築士　第２８２２号 讓　岐　英　夫	NOTE：	SCALE	DATE 130800	DRAW　CHECK 讓岐　・　・	CHIEF 讓岐	TITLE 上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事 DR.NAME 建築工事仕様書（１）	DR.NO. A-01

④ 地業工事

3 鋼杭地業 (4.4.2~5)

種類の記号 ・ SKK400 ・ SKK490 ・

寸法、継手等

	符号	杭径（mm）	杭長（m）及び厚さ（mm）	長期設計支持力（kN／本）	本数	備考
試験杭						
本杭						

杭先端部形状 ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉そく形 ・

先端部の補強 ※ 図4.4.1、表4.4.2による ・

施工方法 ※ 特定埋込杭工法
・ 中堀り拡大根固の工法 ・
・
国土交通省告示第１１１３号第６に定める地盤の許容支持力式の内α、β、γが下記の値をとれる工法とする
α=（ ）、β=（ ）、γ=（ ）

杭の精度 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の１／４かつ１００mm以下 ・
杭の傾斜 ・ １／１００以内 ・

試験杭 試験杭の位置 ※ 構造図による ・
試験杭の施工 ※ 本杭の施工に先立ち行う ・

杭の現場継手 ・溶接継手
形状 ※ ＪＩＳＡ５５２５による ・
溶接材料 ※７．２．５(a)(b)による ・７．２．５(a)(b)以外（ ）
溶接部の確認方法 ※ ７．６．１０による ・
抜取り率 ・ 全数 ・
・無溶接継手
工法 ※ 建築基準法による審査を受けた工法 ・
検査 ※ 建築基準法による審査により定められた項目 ・
施工 ※ 建築基準法による審査された施工管理基準による ・

杭頭の処理 ・処理しない
・処理する
処理方法 ※ 構造図による ・
補強方法及び試験、溶接部確認方法 ※ 構造図による ・
杭頭の中詰め材 ※ 基礎のコンクリートと同調合のもの ・

4 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.2~6)

施工管理技術者 ※ 適用する

杭断面・長期許容支持力

	符号	軸径（mm）	杭長（m）	拡底径（mm）	セット数	長期設計支持力（kN／本）	備考
試験杭							
本杭							

材料 表4.5.1

コンクリートの種別及び設計基準強度
（ ）種かつ（ ）N／mm²以上

構造体コンクリート強度と供試体の強度差を考慮した割り増し ・行う ・３N／mm² ・
※ 行わない

気温によるコンクリート強度の補正（T） ・行う ※ 行わない

セメントの種類 ※ 高炉セメントB種 G

鉄筋の種類 ※ 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による

鋼管巻きの材料 ・ＳＫＫ４００ ・ＳＫＫ４９０ ・ＳＴＫ４００ ・ＳＴＫ４９０

鋼管径・板厚・長さ ※ 構造図による

掘削工法 ・ アースドリル工法（ ※ 安定液使用 ・ 無水掘削 ）
・ リバース工法
・ オールケーシング工法（孔内の水張 ・ 行う ・ 行わない ）

併用する工法 ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法
・ 拡底杭工法 （ ※ 安定液使用 ・ ）

孔壁測定 ※ 行う
測定方法 ※ 超音波測定器
測定場所 ※ 試験杭（ ）箇所及び本杭（ ）箇所
・ 行わない

支持地盤 ※ 構造図による

帯筋 ※ 構造関係共通事項６．２（a）（３）⑥（ロ）による
・ 構造図による

鉄筋かごの補強 ※ 構造図による

鉄筋の最小かぶり厚さ ・ １００mm ・

5 直接基礎

支持地盤の設計支持力度 ・（ ）kN／m²以上

支持地盤 ※ 構造図による

6 砂利地業 (4.6.2~3)

材料 ※ 再生クラッシャラン G ・ 切込み砂利及び切込み砕石

厚さ及び使用範囲

厚さ	使用範囲
※ ６０	
● １００	基礎

7 捨てコンクリート地業 (4.6.4)

コンクリートの仕様 ※ コンクリート工事無筋コンクリートによる

厚さ及び使用範囲

厚さ	使用範囲
※ ５０	

8 床下防湿層 (4.6.5)

施工範囲 ※ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）

防湿工法 ※ ポリエチレンフィルム厚さ０．１５mm以上

防湿層の位置 ※ 図示による

9 地盤改良

工法 ・ 浅層混合処理工法
適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による
・ 深層混合処理工法
適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による

10 置換コンクリート地業（ラッブルコンクリート地業）

形状 ※ 構造図による

支持地盤の長期設計支持力 ・（ ）（kN／m²）

支持地盤 ※ 構造図による

コンクリートの仕様 ※ コンクリート工事 無筋コンクリートによる

型枠使用の有無 ・ 無し ※ 有り

⑤ 鉄筋工事

2 溶接金網 (5.2.2)

種類の記号	使用箇所	呼び径・寸法・形状（mm）

3 圧接完了後の試験 (5.4.9)

外観試験 ※ 行う（全数）

抜取試験 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験

4 鉄筋の継手 (5.3.4)

継手の工法

部位	継手工法と適用径の範囲
・ 柱主筋	※ ガス圧接（Ｄ１９以上）
・ 梁主筋	※ ガス圧接（Ｄ１９以上）
・ 基礎スラブ、耐圧スラブ	・ ガス圧接（ ）
・ 土圧壁など	・ 重ね継手（ ）
・ 耐震壁	※ 重ね継手
・ 杭主筋	※ 重ね継手

鉄筋の継手位置 ● 構造関係共通事項による ● 構造図による

鉄筋の継手長さ ※ ４０dと標準仕様書 表５．３．２の重ね継手長さのうち、大きい値とする。
・ ４０d ・

5 基礎梁主筋の継手

・ 構造関係共通事項 図５．２による（ ※ 全て ・ 構造図による ・ ）
・ 構造関係共通事項 図５．３による（ ※ 全て ・ 構造図による ・ ）
・ 構造関係共通事項 図５．４による（ ※ 全て ・ 構造図による ・ ）

6 鉄筋の定着長さ (5.3.4)

※ ４０dと標準仕様書 表５．３．４の定着長さのうち大きい値とする
・ ４０d ・

7 耐久性不利な箇所の鉄筋最小かぶり厚さ (5.3.5)

耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による

施工箇所	構造関係共通図の値に加える寸法（mm）
・ 柱、梁、壁及び底などの外気に接する打ち放し面	※ １０ ・
・ 塩害の恐れがある部分	・ ２０ ・ ３０ ・ 図示

8 各部配筋 ※ 構造関係共通事項による ・

9 帯筋

※ Ｈ形 構造関係共通事項 図６．２（a）①Ｈ形による
（※ 全て ・ 構造図による ・ ）
・ Ｗ－Ｉ形 構造関係共通事項 図６．２（a）②Ｗ－Ｉ形による
（※ 全て ・ 構造図による ・ ）
・ ＳＰ形 構造関係共通事項 図６．２（a）⑤ＳＰ形による
（※ 全て ・ 構造図による ・ ）

10 壁開口部の補強

一般型 ・ Ａ形 構造関係共通事項 表８．３による
（※ 全て ・ 構造図による ・ ）
※ Ｂ形 構造関係共通事項 表８．４による
（※ 全て ・ 構造図による ・ ）
・ 構造図による

耐震壁 ※ 構造図による

11 梁貫通孔の補強形式

※ Ｈ形 構造関係共通事項 表１１．１による
（※ 全て ・ 構造図による ・ ）
・ Ｍ形 図示による
（※ 全て ・ 構造図による ・ ）
・ ＭＨ形 図示による
（※ 全て ・ 構造図による ・ ）
・ 構造図による

12 構造（耐震）スリット

耐震スリットの設置箇所 ※ 構造図による ・
方式 ※ 完全 ・ 部分
形状 ※ 構造図による
耐火、遮音、防水処理への配慮
適用箇所 ※ 意匠図による ・
仕様 ※ 意匠図による ・
耐震スリット部詳細 ※ 図示による ・

13 特殊な鉄筋継手

機械式継手
使用箇所 ※ 構造図による
性能（Ｈ１２建告第１４６３号に適合するもの） ・ Ａ級 ・
機械式継手の種類 ・ グラウト材必要 ・ グラウト材不要

⑥ コンクリート工事

1 コンクリートの種類及び強度 (6.1.3~4) (6.2.1~3)

※ 普通コンクリート

設計基準強度 Fc（N／mm²）	気乾単位容積質量（t／m³）	スランプ（cm）	施工場所
● ２１ ※ ２４ ・	２．３程度	※ １５ ・ １８	建物躯体（基礎、基礎梁、土間スラブ）
		※ １８	建物躯体（基礎、基礎梁、土間スラブ以外）
・ １８	２．３程度	※ １５ ・ １８	上記以外

2 レディーミクストコンクリート (6.1.5)(6.4.1~2)

※ Ⅰ類（ＪＩＳ Ａ５３０８「レディーミクストコンクリート」に適合） 表6.1.1
・ Ⅱ類

3 セメントの種類 (6.3.2) 表6.3.1

セメントの種類	施工場所
※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種	
・ 高炉セメントB種 G	

普通ポルトランドセメントの品質は、ＪＩＳ Ｒ５２１０に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く

水和熱	7日目	３５２Ｊ／ｇ以下
	28日目	４０２Ｊ／ｇ以下

4 骨材の種類 (6.3.3)(6.5.4)

アルカリシリカ反応による区分
※ Ａ
・ Ｂ （ ※コンクリート中のアルカリ総量 Ｒｔ＝３．０ｋｇ²／ｍ 以下）

5 混和材 (6.3.5)

※ 混和剤（ＪＩＳ Ａ６２０４に適合するＡＥ剤、ＡＥ減水剤又は高性能ＡＥ減水剤）
・ 混和材（ＪＩＳ Ａ６２０１に適合するフライアッシュのⅠ種又はⅡ種、ＪＩＳ Ａ６２０６に適合する高炉スラグ微粉末又はＪＩＳ Ａ６２０２に適合する膨張材）

6 コンクリートの製造工場の選定 (6.4.1~2)

生コンクリート工場を選定する際には、ＪＩＳマーク表示認定工場で、かつ、コンクリート主任技師等の常駐と全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等から選定すること。

⑥ コンクリート工事

7 無筋コンクリート (6.14.2~3)

適用箇所 ※ 捨てコンクリート、防水層の保護コンクリート
設計基準強度Ｆｃ（Ｎ／mm²） ※ １５または１８
セメントの種類 ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントＡ種
・ 高炉セメントB種 G

8 ひび割れ誘発目地打継目地 (6.6.3)(6.9.2~3)

目地寸法 ※ ９．６．３（a）（１）による ・
間隔 ※ 図示による ・
位置 ※ 図示による ・
ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する

9 コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.6.6)(6.9.3)

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 表6.2.3

種類	適用箇所
・ Ａ種	
・ Ｂ種	
● Ｃ種	基礎

10 型枠 (6.9.2~4)

外部に面するコンクリート打放し仕上げの打増し厚さ ※ ２０mm ・ 意匠図による
せき板の材料 ※ 合板
・ 床型枠用鋼製デッキプレート
施工範囲 ※ 構造図による ・
スリーブ材 ※ 標準仕様書６．９．３（ｉ）（２） ・ 図示
コンクリートの打増し厚さ ※ １０mm
断熱材兼用型枠
・ 使用する ※ ２５mm以下かつ熱抵抗値１ｍｈ℃／ｋＣａｌ以上
・
● 使用しない
メッシュ型枠
・ 使用する
使用部位 図示による
※ 使用しない

11 コンクリートの単位水量測定

● 行わない
・ 行う
実施要領 ・ 構造図による
※ 構造関係共通事項による

⑦ 鉄骨工事

1 鉄骨の製作工場 (7.1.3)

製作工場の加工能力
※ 建築基準法第７７条の５６第１項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター及び、（株）全国鉄骨評価機構（旧（社）全国鉄構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（・J ・R ※H ・S）グレード」としてとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・ 監督員の承諾する製作工場

2 施工管理技術者 (7.1.3~4)(7.6.2)(7.12.2)

※ 適用する ・ 適用しない

3 鋼材 (7.2.1) 表7.2.1

鋼材の材質

種類の記号	使用箇所	規格等
SS400	図示	※ ＪＩＳ規格による
SM400B	図示	※ ＪＩＳ規格による
STKR400	図示	※ ＪＩＳ規格による
SSC400	図示	※ ＪＩＳ規格による

4 高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)

区分
※ トルシア形高力ボルト ２種（Ｓ１０Ｔ）建築基準法に基づき認定を受けたもの
・ ＪＩＳ形高力ボルト ２種（Ｆ１０Ｔ）
高力ボルトの径 ※ 構造図による
すべり係数試験 ※ 行わない ・ 行う

5 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2)(7.12.4)

セットの種類
※ １種（Ｆ８Ｔ相当）建築基準法に基づき認定を受けたもの
摩擦面の処理
※ ブラスト処理（表面粗度５０μmＲｚ以上）
・ りん酸塩処理
すべり耐力等の確認方法 ※ 構造図による

6 普通ボルト (7.2.3)

ボルト及びナットの材料等 ※ 表7.2.3による
ボルトの径 ・
座金 ※ 表7.2.3（d）による

7 アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)

材質
・ 構造用 ・ ＳＮＲ４００Ｂ ・ ＳＮＲ４９０Ｂ
・ 建方用 ・ ＳＳ４００ ・
アンカーボルト及びナットのねじの種類の規格、ねじの等級の規格及び仕上げ
・ 構造用 ※ ＪＳＳⅡ－１３－２００４「（社）日本鋼構造協会規格／建築構造用転造ねじアンカーボルト・ナット・座金のセット」
・
・ 建方用 ※ 普通ボルトによる
・
保持及び埋込み工法 表7.10.1
・ 構造用 ※ 構造図による
・ 建方用 ・ 表7.10.1（ ・ Ａ種 ※ Ｂ種 ・ Ｃ種 ）による

8 ターンバックル (7.2.6)

種類
建築用ターンバックル胴 ※ 割枠式 ・
建築用ターンバックルボルト ※ 羽子板ボルト ・
ボルトの呼び ※ 構造図による ・
ボルトの材質 ・ Ｆ１０Ｔ ※ Ｆ８Ｔ

9 デッキプレート (7.2.7)

材質、形状及び寸法 ※ 構造図による

10 スタッドボルト

※ 頭付スタッド（ＪＩＳ Ｂ１１９８）

径（呼び名）	長さ（呼び長さ） mm	使用箇所
１６φ	・８０ ・１００ ・１２０	
１９φ	・８０ ・１００ ・１３０ ・１５０	
２２φ	・８０ ・１００ ・１３０ ・１５０	

11 柱底均しモルタル (7.2.9)(7.10.3)

モルタルの種別
※ 無収縮モルタル
無収縮モルタルの材料及び調合
※ ７．２．９（b）（１）～（３）による
無収縮モルタルの品質及び試験方法
※ 表7.2.6による

⑦ 鉄骨工事

工法の種別 (7.3.10)
※ 表７．１０．２（ ※ Ａ種［モルタル厚さ５０］ ・ Ｂ種［モルタル厚さ３０］）による
・ 図示による

仮組 (7.3.10)
※ 行わない ・ 行う

高力ボルト接合
スプライスプレートの材質 ※ 鋼材の鋼種はＳＮ－Ｂとし、引張強さによる区分は母材と同等とする
フィラープレートの材質 ※ ＳＳ４００とする

溶接接合 (7.6.4)(7.6.7)
開先の形状 ※ 構造関係共通事項（５）３．溶接継手の種類別開先規準による
・ 構造図による
スカラップの形状 ※ 構造関係共通事項（６）５．鉄骨溶接施工（３）による
・ 構造図による
鋼製エンドタブの切除する部分 ※ 全て ・ （ ）
完全溶込み溶接部の余盛り高さ ※ （社）日本建築学会「ＪＡＳＳ ６鉄骨工事」付則６［鉄骨精度検査基準］付表３［溶接］による
エンドタブ・裏あて金 ※ 鋼材の鋼種はＳＮ－Ｂとし、引張強さによる区分は母材と同等とする

入熱パス間温度の溶接条件
鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件
※ 構造関係共通事項による ・ 図示
適用箇所
※ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部
・ 図示による

溶接部の試験 (7.6.11) 表7.6.2~4
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験
※ 行う ・ 行わない
工場溶接の場合
ＡＯＱＬ ※ ４．０％ ・ ２．５％

節	※ 全て				
検査水準	※ 第６水準				

工事現場溶接の場合
ＡＯＱＬ ※ ４．０％ ・ ２．５％
割れの疑いのある表面欠陥においては、浸透探傷試験及び磁粉探傷試験を行う

突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査
独立行政法人建築研究所監修
「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・ 抜き取り検査１ ※ 抜き取り検査２

耐火被覆 (7.9.2~7)

種別

種別	材料・工法	適用箇所（部位・部分）
・ 耐火吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
・ 耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板	
・ 耐火材巻付け	・高耐熱ロックウール	
・ ラス張りモルタル塗り	―	

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする

性能

性能	適用箇所（部位・部分）

建方精度 (7.10.2)
※ （社）日本建築学会「ＪＡＳＳ ６鉄骨工事」付則６［鉄骨精度検査基準］
付表［工事現場］による

錆止め塗装 (7.8.1~4)
塗料の種別
亜鉛めっき鋼面の錆止めの塗料
※ １８．３．２ 表１８．３．２のＡ種 ・
・ ＥＰ－Ｇの適用箇所は１８．３．２ 表１８．３．２のＣ種 ・
耐火被覆材の接着する面への塗装
・ 行う
適用箇所 ※ 構造図による ・
塗装の種別 ※ 構造図による ・
※ 行わない

溶融亜鉛めっき工法 (7.12.1~6)
※ 第７章１２節による

○ コンクリートクリート工事

1 コンクリートブロック (8.2.2)(8.2.5)(8.3.2) 表8.3.1

適用箇所	断面形状及び圧縮強さによる区分
間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀	※ 空洞ブロック１６ ・ 空洞ブロックＷ－１６
衛生配管用裏積みブロック	※ 空洞ブロック０８ ・ 空洞ブロック１６

厚さ 図示による

2 ＡＬＣパネル (8.4.2~5) 表8.4.2~4

種類	厚さ（mm）	単位荷重（N／m²）	耐火性能	工法種別
・ 外壁用	※ １００ ・			・Ａ種・Ｂ種・Ｃ種
・ 間仕切用	１００			・Ｂ種・Ｃ種・Ｄ種・Ｅ種
・ 屋根用	※ １００ ・		・３０分	・Ｆ種
・ 床用	・１００ ・１５０		・６０分 ・１２０分	・Ｆ種

外壁パネルの工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する
外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅（mm） ※ ２０ ・
伸縮目地への耐火目地材の充填 ・ 適用する

3 押出成形セメント板（ＥＣＰ） (8.5.2~4) 表8.5.1~2

	表面形状	厚さ（mm）	耐火性能	取付工法の種別
・ 外壁	※ フラットパネル	・５０ ・６０		・Ａ種 ・Ｂ種
	・デザインパネル（図示）	・５０ ・６０		
・ 間仕切壁	※ フラットパネル	・５０ ・６０		・Ｂ種 ・Ｃ種
	・デザインパネル（図示）	・５０ ・６０		

外壁パネルの工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する

⑮ 鉄筋工事

1 鉄筋の種類 (5.2.1) 表5.2.1

規格の名称	種類の記号	使用箇所	呼び径（mm）	備考
異形鉄筋	※ ＳＤ２９５Ａ	基礎	※ Ｄ１６以下	
（鉄筋コンクリート用棒鋼）	※ ＳＤ３４５		※ Ｄ１９以上	

(有)MEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町１丁目８６番地２
TEL:0858-48-1003 FAX:0858-26-7570

１級建築士事務所
鳥取県知事登録第22-561号
管理建築士
１級建築士 大臣登録第168674号
讃岐 英夫

設計者
１級建築士 大臣登録第168674号
構造設計１級建築士 第2822号
讃岐 英夫

NOTE:

SCALE	DATE	DRAW	CHECK	CHIEF
	130800	讃岐 ・	・	讃岐

TITLE 上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事

DR.NAME 建築工事仕様書（２）

DR.NO. A-02

⑨ 防水工事

1 アスファルト防水 (9．2．2~5)

アスファルトの種類　3種
防水層の下地のモルタル塗り　・　適用する（施工範囲　・　図示　・　　）

屋根保護防水　　表9．2．3~

種別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護
・ A－1			※ ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上	※ 乾式保護材 ・ コンクリート押え
・ A－2				
・ B－1			・	
・ B－2		※ 押出法ポリスチレンフォーム 3種ｂスキン層付 厚さ※ 25mm ・ 50 ・	※ アスファルト As 70g／㎡程度	
・ A1－1				
・ A1－2				
・ B1－1				
・ B1－2				

断熱材は、原則として グリーン購入法における特定調達品目を使用すること

屋根保護防水断熱工法の断熱材（オゾン層破壊物質を含まないもの。また、長期的に断熱性能を保持しつつ、可能な限り地球温暖化係数の小さい物質が使用されていること） G
　材質　※　押出法ポリスチレンフォーム3種ｂスキン層付（ＪＩＳ　Ａ９５１１）
　厚さ　※　２５㎜　・
防水立上がり部の保護
　※　乾式保護材
　　無石綿繊維質原料等を主原料として板状に押出成形し、オートクレーブ養生したもの（窯業系パネル）とし、寸法は図示による
　　品質・性能等
　　寸法の許容差　厚さ：－５～＋１０％、幅：±１％
　　曲げ強さ、　曲げモーメント（Ｎ・cm）（スパン５０cmにおける単位幅１cmあたりの曲げモーメント）標準時４５０以上、凍結融解完了時（試験サイクル数）３２０以上（２００）耐凍結融解性能（試験サイクル数：上記）試験後、著しい割れや剥離がなく外観上異常がないこと
　　吸水性　（２０％以下）　吸水による長さ変化率（０．０７％以下）
　　耐火性能　不燃
　　耐衝撃性　高さ１．０mから試験体の弱点部に５００gのおもりを落としたとき、裏面に達する穴があかないこと
　　出荷時の含水率　１０％以下
　・ れんが

屋根露出防水　　表9．2．7

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・ D－1		・ D－2	

屋根露出防水　　表9．2．

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・ E－1		・ E－2	

保護層　・　設ける（図示）

2 改質アスファルトシート防水 (9．3．2~3)　　表9．3．1

工程による種別	施工箇所	改質アスファルトシート		
			種類	厚さ（mm）
・ AS－1		下層用	※非露出複層防水用Ｒ種 ・	※２．５mm以上 ・
		上層用	※露出複層防水用Ｒ種 ・	※３．０mm以上 ・
・ AS－2		※露出単層防水用Ｒ種 ・		※４．０mm以上 ・

3 合成高分子系ルーフィング シート防水 (9．4．2~3)　　表9．4．1

種別	施工箇所	ルーフィングシートの厚さ（mm）	絶縁用シートの材種	仕上塗料
・ S－1		※ 1．2 ・		・ カラー ※ シルバー
・ S－2		※ 2．0 ・		
・ S－1		※ 1．5 ・	※発泡ポリエチレンシート ・	・ カラー ※ シルバー
・ S－2		※ 1．5 ・		
・ S－3		※ 1．2 ・	※発泡ポリエチレンシート ・	

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
　建築基準法に基づき定める風圧力に対した工法を施工計画書として提出する

4 塗膜防水 (9．5．3)　　表9．5．1~2

種別	施工箇所	備考
・ X－1		仕上げ塗料塗り　・ カラー
・ X－2		※ シルバー
・ Y－1	※　地下外壁防水	
・ Y－2	※　屋内防水	Ｙ－２の保護層　・ 設ける

5 装

防水種別	装　の種類	材質	設　数量
D－1 D－2	※　適所の仕様による ・	※　適所の仕様による ・	※　適所の仕様による ・
X－1	・ 平面部	・ ポリ　チレン樹 ・ ＡＢＳ樹 ・ ス　ンレス ・ ・	（　　）／㎡
	・ 立上り部	・ 合成　ム ・ 化　ル樹 ・ ス　ンレス ・ ・	（　　）／㎡

○ シーリング用材料 (9．．2)　　種類及び施工箇所（図示以外は（表9．．1）による）
　シーリング面　の 仕上塗材仕上げ等　※　　ない　・　う

⑦ シーリング材の試験 (9．．5)
　性試験
　○ う（ ※　　性試験　・　張　性試験 ）
　○ ない（試験成　書がある場合）

⑩ 石工事

1 石材 (10．2．1)
　種類　※　　石　・　工石
　品質　※　１等品（　以外）　※　２等品（　）
　形状、寸法及び厚さ　※　図示による
　石材の種類及び表面仕上げ　　表10．2．1~2

施工箇所	種類（産地、名　）	仕上げの種類	表面処理・裏　ち材の　無

2 取付け　物 (10．2．2)　　乾式工法用　物の種類　・ スライド　式　・　キング　式　　表10．2．4

3 　の　の材料 (10．2．3)
　・ 石裏面処理材　（　　）
　・ 裏　ち処理材　（　　）
　・ ドレンパイ　の材質　（　　）
　・ 物固定　材料　（　　）

○ タイル工事

1 　調　目地及び　び割れ　発目地 (11．1．3)　　外壁　※　図示による　・　表１１．１．１による　・　耐　スリ　ト部

2 ⑫ 材料 (11．2．1)
　タイルの形状、寸法等

主な用による区分	形状寸法（mm）	生材の適用 G	吸水率による区分			うわ薬		釉薬			耐凍害性		備考
			1類	2類	3類	有	無	あり	なし	標準	特	あり	なし	
	100	○	○	・	・	○	・	・	○	○	・	○	・	
壁	100	・	・	・	○	○	・	○	・	○	・	・	○	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

　品　は　等品を使用するものとし、　等品を使用する場合は、あらか　　の　　を受けること

　物使用箇所　※　部の形状は図示による
　内装　（標準一体成　品以外は　成　品とする）
　外装　出　、　出　、　グサ
　タイルの試張り　※　　ない　・　う（　　）
　タイルの見　き　※　　ない　・　う（　　）
　機質　　のホルムアルデヒド放散量　※　規制対象外　・　第三種

3 外部　　貫タイル後張り (．9．3) (11．3．3)
　施工箇所　※　外壁（ホールを含　）　・　図示による
　適用タイル　・ 小　タイル　・　　タイル　・
　体表面処理　※　２　以上を　う　・　ない
　　体表面処理工法の種類
　※　目　し工法
　　高圧水　による目　しは、５０　　以上の水圧で２．５分／㎡程度とし、仕上がり面の　　程度は　　の　　を受ける
　　施工箇所の　体　しは、図示による
　・ Ｒ工法
　　Ｒ工法の仕様はシート　直所　しくは　　の仕様による
　　施工箇所の　体　し厚さ及び範囲は、図示による
　下地モルタル塗り　※ モルタル　・ ポリ　ー　メントモルタル　・　ない
　ポリ　ー　メントモルタルの調合は、１５．２．３（ ）による
　工法　※　張り・改　圧　張り・改　積上張り・モ　イクタイル張り　　表11．3．2

4 内部　　貫タイル後張り (11．3．3)
　施工箇所　※　所等　・図示による
　適用タイル　○ 内装　貫タイル　・５０　モ　イクタイル　・
　下地モルタル塗り　※ モルタル　・ ポリ　ー　メントモルタル　○　ない
　ポリ　ー　メントモルタルの調合は、１５．２．３（ ）による
　工法　※　壁タイル　張り　・改　積上げ張り　・　　表11．3．2

⑪ 木工事

1 ⑬ 表面仕上げ (12．1．4)　・ Ａ種　※ Ｂ種　・　種

2 ⑭ 木材 G (12．2．1)
　代用樹種を使用できない箇所（　　）
　保存処理木材　○ 使用する（使用箇所　　）
　間伐材等　　使用する（使用箇所　　）
　現場搬入時の木材の含水率　※　Ａ種　・　Ｂ種
　造作材の材面の品質の基準　※　Ａ種　・　Ｂ種
　構造材及び下地材の品質の基準　※　標準仕様書12.2.1（ｂ）（3）による
　樹種
　※図示による　代用樹種の使用：※ 認　ない　○ 認　る　と
　※木材のうち、杉、檜及び松は、「鳥取県産材産地証明制度」の認証を受けたものを使用する。

3 ⑮ 集成材 G (12．2．2)　　ホルムアルデヒド放散量　※　規制対象外　・　第三種

・ 構造用集成材

施工箇所	強度等級	材面の品質	使用環境	樹種名	寸法（mm）	間伐材等の適用
		・１種 ※２種 ・３種	・１ ・２			・
						・
						・

・ 構造用単板積層材

施工箇所	区分	使用環境	曲げ性能	水平せん断性能	樹種名	寸法（mm）	間伐材等の適用
	・特級 ・１級 ・２級	・１ ・２					・
							・
							・

・ 造作用集成材

施工箇所	見付け材面の品質	樹種名	寸法（mm）	間伐材等の適用
	※ １等　・ ２等			・
				・
				・

・化粧ばり造作用集成材

施工箇所	見付け材面の品質	心材の樹種名	化粧薄板の樹種名	化粧薄板の厚さ（mm）	寸法（mm）	間伐材等の適用
	※1等　・2等					・
						・
						・

○ 単板積層材

施工箇所	表面の品質	防虫処理	寸法（mm）	間伐材等の適用
図示	○ 塗装加工 ・ 加工しない（・1等 ・2等 ・3等）	・ する ○ しない	図示	・

⑫ 木工事

6 　張り用合板及び　の　の合板 G (12．2．3) (19．7．2)

・ 合板

施工箇所	厚さ（mm）	の程度	表板の樹種名	表板の品質	防虫処理	の　の処理	開伐材等の適用
（壁、　）					・ する ・ しない	・ 燃処理 ・ 防　処理	・
（　）	5．5	※１種 ・２種		樹　・１等 ※２等 樹 ※　－D	・ する ・ しない	・	・
							・

○ 構造用合板

施工箇所	厚さ（mm）	の程度	等級	断面係数比	表板の樹種名	表板の品質	防虫処理	開伐材等の適用
（　）	12．0	○ 特類 ※１類	・１級 ※２級			※ －D ・	・ する ・ しない	・
	．0	○ 特類	○ 2級		○			・
								・

・ 木化粧合板

施工箇所	厚さ（mm）	の程度	化粧板の樹種名	防虫処理	の　の処理	開伐材等の適用
（壁、　）	※４．２ ・３．２ ・．０	・１類 ・２類	・なら ・しお	・ する ・ しない	・ 燃処理 ・ 防　処理 ・ しない	・

・特　加工化粧合板

施工箇所	厚さ（mm）	の程度	表面性能	加工面	単板の樹種名	防虫処理	の　の処理	開伐材等の適用
（壁、　）	※４．０ ・	・１類 ・２類	・ ・ ・ ・ ・Ｓ	・ 表面 ・ 裏		・ する ・ しない	・ 燃処理 ・ 防　処理 ・ しない	・
								・

⑯ 　　に含まれる可　は、　発性のものとする。
　リア樹　、メラ　ン樹　、フ　ール樹　、レゾルシ　ール樹　はホルムアルデヒド系防　（以下、「リア樹　等」という）を用いた　　のホルムアルデヒド放散量
　※　規制対象外　・　第三種

⑰ 防　、防　処理 (12．2．～9)
　防　処理　○　う
　防　処理　○　う（施工範囲　※　図示　・　　）
　防　、防　処理の種類、品質
　表面処理用木材保存（防　・防　処理）　はク　ル　リホスを含　しない　とし、　　の　するものとする

⑬ 屋根及びとい工事

1 長　板 (13．2．2~3)
　長　板の種類　　表13．2．1
　※　塗装　融５５％アル　ムー　合　き　板及び　（屋根用）（ Ｇ　Ｒ－２０－Ａ　１５０）
　・ 塗装　融　き　板及び　（屋根用）（ Ｇ　Ｒ－２０－ ２５）
　・ ポリ　化　ル　板（Ａ種、ＳＧ）
　・ 塗装　融　－５％アル　ム合　き　板及び　（屋根用）（ Ａ　Ｒ－２０）

　長　板の厚さ（mm）
　一般部　・ ０．３　・ ０．３５　※ ０．４　部　・ ０．３　※ ０．４
　屋根　き形式　・　・　木なし　・　立平　・　あり
　屋根　き工法を定　る　工　業　※　の　する業
　建築基準法に基づき定める風圧力及び積　荷　に対　した工法を施工計画として提出する

2 板 (13．3．2)
　形式　※　形　はは　形　・かん合形　　表13．2．1
　高　mm　手　mm
　耐力　※
　厚さ　※ ０．mm　・ ０．mm
　材料　※ 塗装　融５５％アル　ムー　合　き　板及び　（屋根用）（ Ｇ　Ｒ－２０－Ａ １５０）
　・ 塗装　融　き　板及び　（屋根用）（ Ｇ　Ｒ－２０－ ２５）
　・ ポリ　化　ル　板（ＳＧ　Ａ種）
　・ 塗装　融　－５％アル　ム合　き　板及び　（屋根用）（ Ａ　Ｒ－２０）
　面　板　・ 適用する
　フ張り　・ 適用する（　mm）　・ 不燃材　・ ３０分耐火
　・ 適用しない
　変形防　材　・　・ ス　ンレス
　の表面処理の上塗り　・ う（　）　・　ない
　表面処理の上塗り　・ う　・　ない
　耐火性能　・ ３０分　・ なし
　建築基準法に基づき定める風圧力及び積　荷　に対　した工法を施工計画として提出する

3 （13．4．2~3)
　材料　：　※　520　及び図示による　産地　　産
　下　材料
　※ アスファルトルーフィング９４０　（　005）
　・　・
　木　樹種　：　※ 杉　※ 檜　・
　寸法　：　※ 21　15　以上　・
　強用　材　樹種　：　※ 杉　※ 檜　・
　寸法　：　※ ０　30　以上　・
　の工法　※ 図示による
　建築基準法に基づき定める風圧力及び積　荷　に対　した工法を施工計画として提出する

4 とい (13．5．2~3)
　材種　※　用　　表13．5．1
　・ 質ポリ　化　ル（　）　※ Ｒ　Ｇ　・
　・ ス　ンレス
　といの防露　※　う（表13．5．4）　・　ない
　ク　ール保温　及びフ　ールフォーム保温　のホルムアルデヒドの放散量
　※ 規制対象外　・　第三種
　とい受け　物　※　品　・　表13．5．2　り
　ルーフドレイン　※　品　・　設けない

5 　といの防露工法部等の処理 (13．5．3)
　防露部　ス　ンレス（Ｓ　Ｓ３０４、厚さ０．２mm）で　する　　表13．5．4
　高さ（mm）　※ １５０　・
　※ ３０　・
　防露を　ない場合　ス　ンレス　シーリング　レートを取付ける（　、　）

⑭ 金属工事

1 ⑱ あと施工アンカー (14．1．3)　　き耐力の　認試験　※　機械的　　試験機による　張試験　○　ない
　設計用　張強度　　・

2 ス　ンレスの表面仕上げ (14．2．1)　※　　仕上げ　・　面仕上げ　・
　施工箇所

3 ⑲ アル　ム及びアル　ム合　の表面処理 (14．2．2)　　表14．2．1

種別	施工箇所	種別	施工箇所
Ｂ－１種			
Ｂ－２種			
－１種			

　の　目に特記されたものを　く

4 　の　き (14．2．3)　　表14．2．2

種別	施工箇所	種別	施工箇所
Ａ種			
種			

　の　目に特記されたものを　く

5 ⑳ 量　下地 (14．4．2~4)
　縁等の種類　屋外　※ ２５　・
　屋内　※ １９　・ ２５
　屋外の　、　ィ　等
　建築基準法に基づき定める風圧力に対　した工法を施工計画書として提出する
　下地における耐　性を考　した　強
　※ １４．４（ ）による
　・　の　と　が３mを　える場合　　強筋所　※ 図示
　強　法　※ 図示

○ 量　壁下地 (14．5．2~4)　　スタ　ド、ラン　ー等の種類　　表14．5．1
　・ ５０形　○ ５形　・ ７５形　・ ９０形　・ １００形

7 成形板張り (14．　．2~3)　　表14．2．1

種別	※ アル　スパンドレル　・
法	※ 押出し　・　ール
寸法（mm）	板幅 板厚
表面処理	・ Ｂ－１種　・ Ｂ－２種 ・ 設ける（図示による）　※ 設けない
形状	・ 図示による　・

　アル　ム　木 (14．7．2~3)　　表14．7．1
　※ 押出し形材
　　部材の種類　・ ２５０形（　厚さ１．以上）
　　・ ３００形（　厚さ１．以上）
　　・ ３５０形（　厚さ２．０以上）
　　表面処理　※ Ａ－１種　はＢ－１種　・
　　部及び　り部等の　物　木　造所の仕様による
　・ 曲げ材
　　材質　　ＪＩＳ　４０００による
　　表面処理　※ Ａ－１種　はＢ－１種　・
　　厚さ（mm）　・ ２．０　形状は図示による
　建築基準法に基づき定める風圧力及び積　荷　に対　した工法を施工計画書として提出する

9 　すり (14．　．2)　　材料の種別　※　用　・ ス　ンレスＳ　Ｓ３０４（ ※　・　）
　き　・ う（ ※　種　・　）　・　ない

10 タラ (14．　．3)　　材料の種別　※ ス　ンレス（Ｓ　Ｓ３０４）　・

11 サ　シ取合い開仕　板　※ アル　ム　（表面処理はアル　ム　建　の　による）
　・　板　（　融　き　板及び　の付　量　１２　は　１２）

12 キスパンシ　ン　イント　物　　材質　※ アル　ム
　表面処理　※ Ｂ－１種　・ Ｂ－２種
　クリアランス　※ ５０　・ １００　・ １５０
　耐火性能　・ 図示による

⑮ 左官工事

1 ㉑ 防水材料 (15．2．2) (15．5．2) (15．7．2)　　屋内の壁及び　の仕上材は、不燃材料　は、建築基準法に基づく基材　等の認定を受けたものとする。
　複層仕上塗材を内装不燃箇所に使用する場合は、　Ｅ　はＳ　とするか、基材　等の認定を受けた内装とする。

2 ㉒ 吸水調　材 (15．2．2)　※ 表１５．２．２による　　表15．2．2

3 ㉓ 防水 (15．2．2)
　品質・性能等
　防水　の種類は建築用のモルタルに用いる　メント防水　とする
　強性の　び割れおよび　りがないこと（ＪＩＳ　Ｒ５２０１規定９）
　合割合　メント　量の５％以下（ＪＩＳ　Ａ１４０４）
　吸水　９５％以下（ＪＩＳ　Ａ１４０４）
　水　０％以下（水圧は２９４　とし、１時間　う）
　凍結時間　発１時間以上、　結１０時間以内（ＪＩＳ　Ｒ５２０１規定　）
　曲げ及び圧　強度　７０％以上（ＪＩＳ　Ａ１４０４）

4 　目地材 (15．2．2)　・ 使用する（形状　　）

5 ルフレ　リング材塗り (15．4．2~3)　　表15．4．1

種類	厚さ（mm）	施　工　箇　所
※　メント系	※ １０	
・ せ　こう系	・ １０	

　ンクリート　し仕上 (15．3．2~3)　下表以外は表　２．４及び１５．３．２による　　表　２．４

施　工　箇　所	平　さ（mm）	備考
フリーアク　スフ　ア（パネル工法）範囲	１mにつき１０以下	
フリーアク　スフ　ア（　工法）範囲	３mにつき　７以下	

7 ㉔ 仕上げ塗材仕上げ (15．5．2)　　薄付け仕上塗材　　表15．5．1~2

種類	仕上げの形状	工法
・ 外装薄塗材Ｅ	・ 壁状 ・ 材　壁状	付け

・ 厚付け仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法	上塗材
・ 外装厚塗材Ｅ	・ 放し ・ 部処理	付け	・ う ・ ない

(有)MEUX設計工房
鳥取県　1　目　地2
0 5　1003　0 5 2　7570

1級建築　所
鳥取県　第22 5 1
理　建　築
1級建築　第1　7

設　計
1級建築　第1　7
構造設計1級建築　第2 22

130 00

讃岐

讃岐

上小保　耐 改及び規 改 工

建築工　仕様書（３）

03

左官工事

⑦ 仕上げ塗材仕上げ (15.1.2)

・ 複層仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法	上塗材（耐候性 耐候形3種）		
※ 複層塗材E	※ 凹凸模様	吹付け	・ 水系	・ アクリル系	※ つやあり
・ 可とう形複層塗材E	・ 凹凸模様	吹付け	・ 水系	・ アクリル系	・ つやあり
	・ 凸部処理	ローラー	・ 溶剤系	・ ポリウレタン系	・ つやなし
・ 複層塗材Si	・ ゆず肌状		・ 弱溶剤系	・ アクリルシリコン系	・ メタリック
・ 複層塗材CE				・ フッ素系	
・ 複層塗材RE				・ シリカ系	
・ 複層塗材RS					
・ 防水形複層塗材CE					
・ 防水形複層塗材E					
・ 防水形複層塗材RS					
・ 防水形複層塗材RE					

・ 軽量骨材仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法
・ 吹付用軽量骨材	砂壁状	吹付け
・ こて塗用軽量骨材	平たん状	こて塗り

防火材料の指定 ※ 屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※ 規制 対象外 ・ 第三種

8 ロックウール吹付け (15.7.1~4)

厚さ(mm) ・ 10 ・ 15 ・ 20 ・ 30 ・

ロックウール及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ 規制 対象外 ・ 第三種

建具工事

① アルミニウム製建具 (16.2.2~4)

外部に面する建具の性能等級等

種別	※ A種	・ B種	・ C種
耐風圧性	※ S－4	・ S－5	・ S－6
気密性	※ A－3		・ A－4
水密性	※ W－4	・ W－5	・ W－5
枠見込み(mm)	● 70	・ 100	・ 100
表面処理	※ B－1種	・ B－2種	
	(・ アンバー ・ ブロンズ ・ ステンカラー ・ ブラック)		

防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級 ・ T－1 ・ T－2 ・ T－3

断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級 ☒ ・ H－1 ・ H－2 ・ H－3

耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 ・

網戸等

種類	材種	線径	網目
● 防虫網	・ 合成樹脂製 ※ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス製（SUS316）	0．25mm以上	16～18メッシュ
・ 防鳥網	ステンレス製（SUS304）線材	1．5mm	網目寸法 ピッチ15mm

外部に面する建具以外の表面処理 C－1種又はB－1種

② 鋼製建具 (16.3.2)

外部に面する建具の耐風圧性の等級 ・ S－4 ・ S－5 ・ S－6

防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級 ・ T－1 ・ T－2 ・ T－3

断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級 ☒ ・ H－1 ・ H－2 ・ H－3

耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 ・

防火戸 煙感知器連動とする 防火戸の解錠機構は別途とする
扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う

③ 鋼製軽量建具 (16.4.3)

外部に面する建具の耐風圧性の等級 ・ S－4 ・ S－5 ・ S－6

防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級 ・ T－1 ・ T－2 ・ T－3

断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級 ☒ ・ H－1 ・ H－2 ・ H－3

耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 ・

防火戸 煙感知器連動とする 防火戸の解錠機構は別途とする
扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う

戸の鏡板

※ 表面処理亜鉛めっき鋼板
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板 表16.4.1

区分	材質
召合わせ、視小口包み板	※ 鋼板 ・ ステンレス ・ アルミニウム
扉の表面材、見縁	※ 鋼板 ・ ビニル被覆鋼板
枠類	※ 鋼板（くつずりはステンレス） ・ 製作所仕様

④ ステンレス製建具 (16.5.1)

外部に面する建具の耐風圧性 ・ S－4 ・ S－5 ・ S－6

防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級 ・ T－1 ・ T－2 ・ T－3

断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級 ☒ ・ H－1 ・ H－2 ・ H－3

耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 ・

ステンレス鋼板（屋外） ・ SUS430J1L ・ SUS304

ステンレス鋼板（屋内） ※ SUS430 ・ SUS430J1L ・ SUS304

表面仕上げ ※ HL仕上げ ・

曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ（ ・ a角 ・ b角 ・ c角 ）

⑤ 木製建具 (16.6.2)

建物 内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ 規制 対象外 ・ 第三種

ふすまの材料 種別 ※ 表16．6．3のⅡ型

上張り紙 ※ ビニル紙 ・ 断鳥の子

骨入等の裏紙 ※ 雲花紙

縁仕上 ・ 塗り縁 ・ 生地縁（素地） ・ 生地縁（ウレタンクリアー塗装）

枠及びくつずり材料 ※ 図示による

⑥ 鍵 (16.7.4)

マスターキー ・ 製作する（ 組） ・ 製作しない

鍵箱 ・ 設ける（ 箱用 組） ・ 設けない

⑦ 自動ドア開閉装置 (16.8.1~3)

センサーの種類 表16.8.1~3

※ 光線（反射） ・ マット ・ 熱線 ・ 音波 ・ 光電
・ 電波 ・ タッチ ・ 押しボタン ・ ペダル ・ 多機能便所

取付け位置 ・ 床面 ※ 天井面 ・ 壁面 ・ 無目

凍結防止措置 ※ 行わない ・ 行う（適用箇所は建具表による）

⑧ 自開式上吊り引戸装置 (16.9.3)

自開式上吊り引戸装置の性能 ※ 表16．9．1による

⑨ 重量シャッター (16.10.1)

種類 ・ 一般 ・ 外壁用防火 ・ 屋内用防火 ・ 屋内用防煙

防火又は、防煙シャッターは、自動開鎖装置及び随時開鎖装置付とし、遠隔制御線及び、
煙感知器は別途とする

耐風圧強度 一般（ ）N／㎡ 外壁用（ ）N／㎡

開閉機能による種類 ※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式 表16.10.1

シャッターケース（防火、防煙以外） ※ 設ける ・ 設けない

⑩ 軽量シャッター (16.11.1~4)

開閉形式 ※ 手動式 ・ 上部電動式（手動併用） 表16.11.1

耐風圧強度（ ）N／㎡

スラットの材質 ※ JIS G3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）又は
JIS G3318（塗装溶融亜鉛－5％アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯）

スラットの形状 ※ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形

シャッターケース ※ 設ける ・ 設けない

ガイドレールの材質 ※ ステンレス鋼（SUS304）厚さ1．5mm（ ※ 中柱共 ）

座板（屋外の場合） ※ ステンレス鋼既製品 ・

⑪ オーバーヘッドドア (16.12.2~4)

セクション材料による区分
※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ

耐風圧性能 ・ 500Pa ・ 750Pa ・ 1000Pa
・ 1250Pa ・ 1700Pa

開閉形式による区分 ※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式

収納形式による区分 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ バーチカル形

ガイドレールの材質 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼（SUS304）厚さ2．0mm

⑫ ガラス (16.13.2)

・ 合わせガラス

品種	構成種類	性能
※ フロート合わせガラス	※ フロート板合わせガラス ・ 熱線吸収、フロート板合わせガラス	・ I類
・ 網入合わせガラス	・ 網入り、フロート板合わせガラス ・ 網入り、熱線吸収板合わせガラス	・ Ⅱ－1類 ・ Ⅱ－2類 ・ Ⅲ類

● 強化ガラス

材料板ガラスによる種類	種類	性能
※ フロートガラス	※ フロート強化ガラス ・ 熱線吸収強化ガラス	・ I類 ・ Ⅱ類
・ 型板ガラス	※ 型板強化ガラス	

・ 複層ガラス

品種	断熱性	日射遮へい性
・ 断熱複層ガラス	・ 1種	・ U1
	・ 2種	・ U2
	・ 3種	・ U－3－1 ・ U－3－2
・ 日射熱遮へい複層ガラス	・ 4種	・ E4
	・ 5種	・ E5

・ 熱線反射ガラス

品種	色調
※ 熱線反射ガラス	・ ブルー ・ グレー
・ 高性能反射板ガラス	・ ブロンズ ・ シルバー

品種	日射遮へい性	耐久性	ガラスの種類
※ 熱線反射ガラス	・ 1種	A種	
・ 高性能反射ガラス	・ 2種	・ A種 ・ B種	
	・ 3種	B種	

反射皮膜面 ※ 内面 ・ 外面

映像調整 ※ 行わない ・ 行う

・ 倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色調
※ 倍強度ガラス	
・ 倍強度熱線吸収ガラス	・ グレー ・ ブルー ・ ブロンズ ・

⑬ ガラスの留め材 表16.13.1
(16.13.2)

建具の種類	材種
鋼製	※ シーリング材
アルミニウム製	※ シーリング材 ・ ガスケット（グレイジングチャンネル形）
ステンレス製	※ シーリング材
木製	※ シーリング材

防火戸のガラス留め材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による

⑭ ガラス溝の寸法、形状等 (16.13.1) ※ 表16．13．1による ・ 図示による

⑮ ガラスブロック積み (16.13.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 クリア	色調 乳白	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	伸縮調整目地(mm)	防火性能
正方形	・ 125×125	80			※ 6～15	外側 ※ 6～15	※ 6m以下毎に 10～20 ・ 図示による	※ なし ・ あり
	・ 160×160	95・125			・ 15～25	※ 15以下		
	・ 200×200	95・125						
	・ 320×320	95				内側 ※ 6以下		
長方形	・ 250×125	80						
	・ 320×160	95						

曲面積みの 曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする

壁開金属枠及び補強材 ・ 設ける （形状 ※ 図示による ・ ）

力骨 ※ ステンレス鋼（SUS304）径5．5mmはしご形状 横筋及び単筋 ・

目地部の力骨の補強方法 ※ ガラスブロック製造所の仕様による ・

化粧目地モルタルの色 （ ）

シーリング材 ※ 表9．6．1による ・

金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製
寸法 ・ 図示による ・
形状 ・ 図示による ・

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画として提出する

⑯ ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ ガラス飛散防止フィルム	第2種	※ 内張り ・ 外張り	飛散防止率 D1

品質 JIS A5759による。

⑰ 付属電気設備 電動シャッター、自動扉、電動オーバーヘッドドアの電動機が三相 電動機0．4kw以上の場合は機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び遠隔用コンデンサーを設置する

カーテンウォール工事

① カーテンウォール (17.1.1) (17.2.2~5) (17.3.2~5)

取付け方法 ・ 層間方式 ・ 柱、梁方式 ・ 方立方式 ・ スパンドレル方式

性能

耐震性能（地震力係数）		気密性	・ A－1 ・ A－2 ・ A－3 ・ A－4 ・
水平方向（kH）	※ 1．0 ・	耐火性	・ 30分 ・ 1時間
垂直方向（kv）	※ 0．5 ・	耐温度差性	・ 80℃ ・ 70℃ ・ 60℃
		遮音性	・ T－1 ・ T－2 ・ T－3 ・ T－4
水密性	・ W－1 ・ W－2 ・ W－3 ・ W－4 ・ W－5	断熱性	・ H－1 ・ H－2 ・ H－3 ・ H－4 ・ H－5

塗装工事

① 材料 (18.1.1)

屋内に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※ 規制 対象外 ・ 第三種

② 素地ごしらえ (18.2.1~7)

木部 表18．2．1~7

● A種（不透明塗料塗り） ・ B種（透明塗料塗り）

鉄部地

鉄 鋼 面	・ A種	・ B種	※ C種		
亜鉛めっき（建具）面	・ A種	・ B種	・ C種		
亜鉛めっき（建具以外）面	・ A種	・ B種	・ C種		
モルタル及びプラスター面	・ A種	※ B種			
コンクリート及びALCパネル面	・ A種	※ B種			
コンクリート及び押出成形セメント板面	・ A種	・ B種			
石膏ボード及びその他のボード面	・ A種	● B種			

③ 錆止め塗料塗り (18.3.1~3)

塗料種別 表18．3．1

鉄鋼面

	規格名称	種類	摘要
● A種	● シアナミド鉛さび止めペイント	● 2種	● 屋内 ● 屋外
	・ 鉛、クロムフリーさび止めペイント	・ 1種	・ 屋内 ・ 屋外
・ B種	・ 水あさび止めペイント		・ 屋内
	・ 鉛、クロムフリーさび止めペイント	・ 2種	・ 屋内

亜鉛めっき鋼面 表18．3．2

	規格名称	摘要
・ A種	・ 鉛酸カルシウムさび止めペイント	・ 屋内 ・ 屋外
・ B種	・ 変性エポキシ樹脂プライマー	・ 屋内 ・ 屋外
・ C種	・ 水あさび止めペイント	・ 屋内

塗り工程種別

鉄鋼面 表18．3．3

見え掛かり部分 （ ※ A種 ・ B種 ）

見え隠れ部分 （ ・ A種 ※ B種 ）

亜鉛めっき鋼面 表18．3．4

鋼製建具等 （ ※ A種 ・ B種 ・ C種 ）

その他 （ ・ A種 ・ B種 ※ C種［変性エポキシ樹脂プライマー］ ）

④ 合成樹脂調合ペイント塗り（SOP） (18.4.1) (18.4.4)

木部 表18．4．1

屋外（ ※ A種 ・ B種 ）

屋内（ ・ A種 ※ B種 ）

鉄鋼面 表18．4．2

・ A種 ※ B種

⑤ クリヤラッカー塗り（CL） (18.5.1)

表18．5．1

・ A種 ※ B種

⑥ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD） (18.6.1)

表18．6．1

・ A種 ※ B種

⑦ 耐候性塗料塗り（DP） (18.7.1~4)

コンクリート面及び押出成形セメント板 表18．7．1

・ A種 ・ B種 ・ C種

⑧ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP－G） (18.8.1~4)

コンクリート面等 表18．8．1~4

・ A種 ※ B種

鉄鋼面（屋内）

・ A種 ※ B種

⑨ 合成樹脂エマルションペイント塗り（EP） (18.9.2)

表18．9．1

・ A種 ※ B種

⑩ 合成樹脂エマルション模様塗料塗り（EP－T）(18.10.2)

表18．10．1

・ A種 ※ B種

⑪ ウレタン樹脂ワニス塗り（UC） (18.11.2)

表18．11．1

・ A種 ※ B種

⑫ 木材保護塗料塗り（WP） (18.12.2)

表18．12．1

・ A種 ※ B種

⑬ マスチック塗材塗り (18.14.2)

種別 表18．14．1

・ A種 ・ B種

仕上げ塗材塗り

※ つや有合成樹脂エマルションペイント

内装工事

① 接着剤 (19.2.2)

壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ 規制 対象外 ・ 第三種

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする

② ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル (19.3.2~3)

ビニル樹脂 素材料の原材料

再生ビニル素材料の原材料の合計重量が製品の総重量比で15％以上使用されていること（JIS A5705（ビニル系床材）に規定されるビニル系床材の種類で如何やPFに該当するものを除く）

主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）

支点間距離（h）	耐風圧性能	状態
4m以下	※ たわみ量がh（1／150）×h かつ絶対量20mm以下であること	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な変みが起こらないこと
4mを超える		

層間変位追従性

建築物の構造種別	層間変位量（h＝支点間距離）	変位後の状態
鉄骨造	※ ±（1／200）×h以上	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な変みが起こらないこと シーリングは補修程度の損傷であること
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	・ ±（1／300）×h以上	

その他の性能 図示による

種類 ・ メタルカーテンウォール
金属材料の種類（見掛かり部分の仕上げ）
・ アルミニウム製（ ・ B－1 ・ ）
・ 鋼製（ ）
・ ステンレス製（ ）
・ PCカーテンウォール
ゴンドラ用ガイドレール ・ 設置する ・ 設置しない

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する

● ビニル床シート

種類	記号	色柄	厚さ(mm)	工法
※ 発泡層のないもの	※ NC	・ プレーン ※ マーブル ・ 特殊柄	● 2．0 ※ 2．5	・ 接付け ※ 熱溶接

・ ビニル床タイル

種類		記号	厚さ(mm)	柄
・ ホモジニアス		HT	※ 2．0	・ プレーン
	・ 置敷き	HT	※ 5．0	※ マーブル
・ コンポジション	※ 半導電	CT	※ 2．0	・ 特殊柄
	・ 帯電	CTS		

・ 特殊機能床材（帯電防止）

種類	記号	厚さ(mm)	
・ 帯電防止床シート	NC	※ 2．0	帯電防止性能評価値（JIS A1455） 1．2以上～3．2未満 又は体積電気抵抗値（JIS A1454） 1×10^{7}～1×10^{10}Ω程度
・ 帯電防止ビニル床タイル	CTS		

・ 特殊機能床材（帯電防止以外）

種類	厚さ(mm)	寸法(mm)	材料	色柄
・ 誘導用床材、注意喚起用床材（表面形状 JIS T9251）	2．0	・ 300×300	※ 塩ビ ・ 合成ゴム	黄色
		・ 400×400	合成ゴム	

・ ゴム床タイル

色柄	厚さ(mm)	寸法(mm)	工法

ビニル幅木の高さ(mm) ※ 60 ・ 75

厚さ(mm) ※ 2．0 ・

材質 ※ 軟質 ・ 硬質

表19．1．2

③ カーペット敷き (19.3.1~4)

・ 織ジュータン （ ※ 帯電防止性能 JIS L1023 の人体帯電圧 3kv 以下とする。）
・ A種 ・ B種 ・ C種
・ タフテッドカーペット
パイル形状 ：
パイル長さ ：
工 法 ：
・ ニードルパンチカーペット
厚 さ ：
・ タイルカーペット ☒ 表19．3．2

種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ	電気抵抗(Ω)	工法
※ 第一種 ・ 第二種	※ ループパイル ・ カットパイル	500角	※ 6．5mm	※ 適用しない ・ 耐電圧3kV未満	※ のり付加工品敷き

④ 合成樹脂塗床 (19.4.1)

・ 強性ウレタン樹脂系樹床材 表19．4．1
仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
・ エポキシ樹脂系塗床材 表19．4．4~7
仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ
・ 樹脂モルタル仕上げ ・ 防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※ 規制 対象外 ・ 第三種

⑤ 床用防じん塗料塗り 材質 水性アクリル系樹脂塗料（ ※ 標準色 ・ ）
仕上種別 コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0．25kg／㎡以上とする

⑥ フローリング張り (19.1.2~7)

複層フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※ 規制 対象外 ・ 第三種

種別・工法

● 単層フローリング ☒ ●合成フローリングボード ・フローリングブロック ・モザイクパーケット）
・ 接式工法 ● 釘式工法（ ● 釘止め工法 ● 接着工法
※ 複合フローリング ☒ （ ※ 1種 ・ 2種 ・ 3種 ）表明 ※ なら ・ ヒノキ
・ 乾式工法（ ・ 釘止め工法（ ・ A種 ・ B種 ※ C種） ・ 接着工法）

仕上げ ※ ウレタン樹脂ワニス ・ 生地のままワックス ・ オイルステインのようワックス塗り

間伐材等の適用 ※ 適用する ・

間伐材等：間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比率合が10％以上であること
原室の内装材にあっては、ホルムアルデヒド放散量（JAS規格による測定方法）が平均値で0．3mg／L以下かつ最大値で0．4mg／L以下であること

県産材の活用
・ 適用しない
・ 適用する（樹種 ・ ）

⑦ 畳敷き (19.6.2)

種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ※ D種 表19．6．1

D種の場合の畳床記号 ・ KT－Ⅰ ・ KT－Ⅱ ※KT－Ⅲ ・ KT－K ・ KT－N

⑧ せっこうボードその他ボード及び合板張り (19.7.2)

材種・規格	施工箇所	張り方		厚さ等(mm)
・ JIS A6901 規格品 厚さ9.5tは ● 準不燃認定品 ● 不燃認定品	● 壁	● 下張り	突付け	● 9.5 ● 12.5（不燃認定品）15
		・ 上張り ● 直張り	・ 目透し 突付け ・ 縦目処理 ● 突付けV目地	・ 9.5 ● 12.5（不燃認定品）15 ・ ■■×　■■ ・ ■■×　■■
	● 天井	● 下張り	突付け	● 9.5（不燃認定品） ・ 12.5（不燃認定品）
		・ 上張り ● 直張り	● 目透し 突付け ・ 縦目処理 ・ 突付けV目地	● 9.5 ・ 12.5（不燃認定品） ・ ■■×　■■ ・ ■■×　■■
	・ 壁 ・ 天井	・ 下張り	突付け	・ 9.5 ・ 12.5（不燃認定品）
		・ 上張り ・ 直張り	・ 目透し 突付け ・ 縦目処理 ・ 突付けV目地	・ 9.5 ・ 12.5（不燃認定品） ・ ■■×　■■ ・ ■■×　■■

天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※ 規制 対象外 ・ 第三種

パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板の原材料 ☒

合板・製材工場から発生する端材等の残材、建築解体木材、使用済み梱包材、製紙未利用紙質チップ、林地残材、かん木、小径木（間伐材を含む）等の再生資源である木質材料又は植物繊維の重量比配合割合が50％以上であること。（この場合、再生資材全体に占める体積比配合率が20％以下の接着材、混和剤等（パーティクルボードにおけるフェノール系接着剤、木質系セメント板におけるセメント等で主要な原材料相互間を接着する目的で使用されたもの）を計上せずに、重量比配合割合を計算することができるものとする）

● ビニル床シート ☒

種類	記号	色柄	厚さ(mm)	工法
※ 発泡層のないもの	※ NC	・ プレーン ※ マーブル ・ 特殊柄	● 2．0 ※ 2．5	・ 接付け ※ 熱溶接

・ ビニル床タイル ☒

種類		記号	厚さ(mm)	柄
・ ホモジニアス		HT	※ 2．0	・ プレーン
	・ 置敷き	HT	※ 5．0	※ マーブル
・ コンポジション	※ 半導電	CT	※ 2．0	・ 特殊柄
	・ 帯電	CTS		

・ 特殊機能床材（帯電防止）

種類	記号	厚さ(mm)	
・ 帯電防止床シート	NC	※ 2．0	帯電防止性能評価値（JIS A1455） 1．2以上～3．2未満 又は体積電気抵抗値（JIS A1454） 1×10^{7}～1×10^{10}Ω程度
・ 帯電防止ビニル床タイル	CTS		

・ 特殊機能床材（帯電防止以外）

種類	厚さ(mm)	寸法(mm)	材料	色柄
・ 誘導用床材、注意喚起用床材（表面形状 JIS T9251）	2．0	・ 300×300	※ 塩ビ ・ 合成ゴム	黄色
		・ 400×400	合成ゴム	

・ ゴム床タイル

色柄	厚さ(mm)	寸法(mm)	工法

ビニル幅木の高さ(mm) ※ 60 ・ 75

厚さ(mm) ※ 2．0 ・

材質 ※ 軟質 ・ 硬質

表19．1．2

③ カーペット敷き (19.3.1~4)

・ 織ジュータン （ ※ 帯電防止性能 JIS L1023 の人体帯電圧 3kv 以下とする。）
・ A種 ・ B種 ・ C種
・ タフテッドカーペット
パイル形状 ：
パイル長さ ：
工 法 ：
・ ニードルパンチカーペット
厚 さ ：
・ タイルカーペット ☒ 表19．3．2

種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ	電気抵抗(Ω)	工法
※ 第一種 ・ 第二種	※ ループパイル ・ カットパイル	500角	※ 6．5mm	※ 適用しない ・ 耐電圧3kV未満	※ のり付加工品敷き

④ 合成樹脂塗床 (19.4.1)

・ 強性ウレタン樹脂系塗床材 表19．4．1
仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
・ エポキシ樹脂系塗床材 表19．4．4~7
仕上げの種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ
・ 樹脂モルタル仕上げ ・ 防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※ 規制 対象外 ・ 第三種

⑤ 床用防じん塗料塗り 材質 水性アクリル系樹脂塗料（ ※ 標準色 ・ ）
仕上種別 コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0．25kg／㎡以上とする

⑥ フローリング張り (19.1.2~7)

複層フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※ 規制 対象外 ・ 第三種

種別・工法

● 単層フローリング ☒ ●合成フローリングボード ・フローリングブロック ・モザイクパーケット）
・ 接式工法 ● 釘式工法（ ● 釘止め工法 ● 接着工法
※ 複合フローリング ☒ （ ※ 1種 ・ 2種 ・ 3種 ）表明 ※ なら ・ ヒノキ
・ 乾式工法（ ・ 釘止め工法（ ・ A種 ・ B種 ※ C種） ・ 接着工法）

仕上げ ※ ウレタン樹脂ワニス ・ 生地のままワックス ・ オイルステインのようワックス塗り

間伐材等の適用 ※ 適用する ・

間伐材等：間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比率合が10％以上であること
原室の内装材にあっては、ホルムアルデヒド放散量（JAS規格による測定方法）が平均値で0．3mg／L以下かつ最大値で0．4mg／L以下であること

県産材の活用
・ 適用しない
・ 適用する（樹種 ・ ）

⑦ 畳敷き (19.6.2)

種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ※ D種 表19．6．1

D種の場合の畳床記号 ・ KT－Ⅰ ・ KT－Ⅱ ※KT－Ⅲ ・ KT－K ・ KT－N

⑧ せっこうボードその他ボード及び合板張り (19.7.2)

材種・規格	施工箇所	張り方		厚さ等(mm)
・ JIS A6901 規格品 厚さ9.5tは ● 準不燃認定品 ● 不燃認定品	● 壁	● 下張り	突付け	● 9.5 ● 12.5（不燃認定品）15
		・ 上張り ● 直張り	・ 目透し 突付け ・ 縦目処理 ● 突付けV目地	・ 9.5 ● 12.5（不燃認定品）15 ・ ■■×　■■ ・ ■■×　■■
	● 天井	● 下張り	突付け	● 9.5（不燃認定品） ・ 12.5（不燃認定品）
		・ 上張り ● 直張り	● 目透し 突付け ・ 縦目処理 ・ 突付けV目地	● 9.5 ・ 12.5（不燃認定品） ・ ■■×　■■ ・ ■■×　■■
	・ 壁 ・ 天井	・ 下張り	突付け	・ 9.5 ・ 12.5（不燃認定品）
		・ 上張り ・ 直張り	・ 目透し 突付け ・ 縦目処理 ・ 突付けV目地	・ 9.5 ・ 12.5（不燃認定品） ・ ■■×　■■ ・ ■■×　■■

天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※ 規制 対象外 ・ 第三種

パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板の原材料 ☒

合板・製材工場から発生する端材等の残材、建築解体木材、使用済み梱包材、製紙未利用紙質チップ、林地残材、かん木、小径木（間伐材を含む）等の再生資源である木質材料又は植物繊維の重量比配合割合が50％以上であること。（この場合、再生資材全体に占める体積比配合率が20％以下の接着材、混和剤等（パーティクルボードにおけるフェノール系接着剤、木質系セメント板におけるセメント等で主要な原材料相互間を接着する目的で使用されたもの）を計上せずに、重量比配合割合を計算することができるものとする）

(有)MEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町1丁目86番地2
TEL：0858-48-1003 FAX：0858-26-7570

1級建築士事務所
鳥取県知事登録第22-561号
管理建築士
1級建築士 大臣登録第166674号
譲岐英夫

設計者
1級建築士 大臣登録第166674号
構造設計1級建築士 第2822号
譲岐英夫

NOTE:

SCALE	DATE	DRAW	CHECK	CHIEF
	130800	譲岐 ・	・	譲岐

TITLE 上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事

DR.NAME 建築工事仕様書（4）

DR.NO. A-04

2.4 ユニバーサルデザインの導入

⑨ 壁紙張り (19.8.2)

建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの

施工箇所	品質（製造所）	防火性能の級別
図示	図示	図示

ホルムアルデヒド放散量　※　規制対象外　・　第三種

10 断熱材打込み工法 A (19.9.2)

断熱材の種類　※　押出法ポリスチレンフォーム保温板２種ｂ　厚さ　※　25㎜　・
・　押出法ポリスチレンフォーム保温板３種ｂ（土間下）　厚さ　※　25㎜　・
・　硬質ウレタンフォーム保温板１種２号　厚さ　※　20㎜　・
・　フェノールフォーム保温材Ａ種　厚さ　・
断熱補修材　・　断熱材と同材
※　吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材（次項による）

11 断熱材現場発泡工法 A (19.9.3)

ユリア樹脂又はメラニン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒド
放散量　※　規制対象外　・　第三種
断熱材の種類　※　Ａ種１　・　Ｂ種１
厚さ　・　25　・　30　・
施工箇所　※　窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフドレン廻りの床版下等、部分的に後張りとしなければいけない箇所
・　図示による

⑫ 断熱材の原材料 A (19.9.2~3)

グラスウール：再生資源利用率は、原材料の重量比で８０％以上であること
ロックウール：再生資源利用率は、原材料の重量比で８５％以上であること
発泡断熱材　：オゾン層を破壊する物質を使用していないこと。また、長期的に断熱性能を保持しつつ、可能な限り地球温暖化係数の小さい物質が使用されていること

1 フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所		
構法	・パネル構法　・置構法	・パネル構法　・置構法
耐震性能	・１．０Ｇ　・０．６Ｇ	・１．０Ｇ　・０．６Ｇ
耐荷重性能	※３０００Ｎ　・５０００Ｎ	※３０００Ｎ　・５０００Ｎ
パネル寸法（㎜）		
高さ（㎜）	・　・	・　・
床表面仕上げ材の材質	※タイルカーペット ・帯電防止床タイル	※タイルカーペット ・帯電防止床タイル
ボーダー部及びスロープ	※メーカー仕様　・図示による	

表面仕上げの品質・性能は、標準仕様書１９章内装工事による

配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　※　２０～３０％　・
配線取り出し開口　※　パネル１枚につき４０㎜×８０㎜程度の開口１ヶ所以上　・　図示による
空調用吹き出し（吸い込み）パネル
※　なし
・　有り　（※　定　・　可変）：施工箇所（※　図示による　・　）
耐荷重性能（５０００Ｎ、高さ３００以上）の性能
平成元年建設省告示第１３２２号「耐震性フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等のものとする
ローリングロード性能　※　適用する　・　適用しない
以下（使用上有害な変形、欠け、割れ、がたつきなどの欠点がないこと）
ローリングロード試験
耐荷重性能（３０００Ｎ）：積載荷重１００Ｎの際、最大変形量１．５㎜以下
耐荷重性能（５０００Ｎ）：積載荷重１００Ｎ以上の際、最大変形量１．０㎜以下
（使用上有害な変形、欠け、割れ、がたつきなどの欠点がないこと）

2 可開仕 (20.2.3)

Ａ６５１２による　、下　による
構造形　による種類　※スタッド（・スタッド　出・スタッド内　）　・スタッドパネル
構成材の種類　※　図示による
表面材質及び厚さ（㎜）　※　板０．６　・　板０．８
パネル表面仕上げ　メラニン樹脂　付又はアクリル樹脂　付（※　・　指定　）
パネル　厚さ（㎜）　・　程度
性の　分　・０　・１２　・２０　・２８　・３６
防火性能　・

⑬ 開仕 (20.2.4)

パネルの　法による種類　●　製造所の仕様による　・　図示による
表面材質及び厚さ（㎜）　※　板０．６　●　板
仕上げ　メラニン樹脂　付又はアクリル樹脂　付（※　・　指定　）
パネル厚さ（㎜）　・　程度
パネル　装置の　法　●　製造所の仕様による　・　図示による
性の　分　●　３６　・　３６以上（　Ａ６５１２に準　する）

⑭ トイレ ース (20.2.5)

表面材　※メラニン樹脂　化　板　●　ポリ　ス　ル樹脂　化　板
ドア　ッ　材質形　※アル　ッ
材質　※　ス　ンレス

5 止 (20.2.6)

材種　ス　ンレス製（　３０４）（・　込工法　※　工法　）
部フラット　ンド　※有（※タイ　と同材　・ス　ンレス　）　・
※　ニルタイ　又は合成　ムタイ　リ　（㎜）　※　３５

6 板及ホ イト ボード (20.2.8)

※　ホ　イトボード　形　・寸法は図示による
・　板　※　き付け　※　形　・寸法は図示による

取付箇所　・図示による　・（　）
寸法（㎜）　・図示による　・
厚さ（㎜）　※５　・
※　防

8 表示 (20.2.10)

・　内板　・　内板（※　標準　図による　・図示による　）
・　内板（※　標準　図による　・図示による　）
・　害　用　内板（※　図による　・図示による　）
・　※　標準　図による　・　品
・　クトグラフ　標準　内図用　号※　８２１０による　・図示による
形　・　の　※　図示による
・　※　標準　図による　・
・　（・ス　ンレス製・　製　・　（・ス　ンレス製・　製）
数（　）　の大きさ（　ｘ　）
・対　防止表示　・図示による
・用　口　・図示による
内用図　号は　２８１０による

9 ライニング (20.2.11)

用成形ライニング材　適用　全使用温度　※　４００　・　６５０
スタ　ル耐火材　工法　・こて押さ　・
最高温度　※　４００　・
製造所

10 ラインド (20.2.12)

形	・ラインド	・ラインド（防　性能を有するもの）
スラットの材種	アル　ニウム合　製	・アル　スラット　・クロススラット
スラットの種類	※　ア　・　ード	※１　ード
スラットの　（㎜）	※２５　・３５	・５以上　・１００

11 ロールスクリーン (20.2.13)

材種　性能　・
品質
法　・電　・ブリング　・チェーン

12 カー ン及びカー ン レール (20.2.14)

カー ン

施工箇所	きれ地の品質等（製造所）	の種類	開　形	カー ン
			・き・分	※　・電

カー ンレール及び付　物

施工箇所	さによる　分	材料による　分	仕上げ	形	付　物

用は３００　以上の　レ　の重　けとする

⑮ 点 口

材種　アル　ニウム製　寸法（㎜）　※　４５０ｘ４５０　・　６００ｘ６００
形　外　・　タイプ　・　地タイプ
内　・　タイプ　・　地タイプ
の　０．５㎜以内　外　と内　のクリアランス　２．０㎜以内
材料の品質及び性能
外　、内　の材質
アル　ニウム合　押出形材　４１００　Ａ６０６３　５
表面　表１４．２．１の　１種、　２種（外部はＢ　１種、Ｂ　２種）
外　及び内　の　ー　ー　ース、り　物、取付ボルト
板に　き等の防　を　たもの
床　材種　アル　ニウム製　寸法（㎜）　・４５０ｘ４５０　※　６００ｘ６００
形　※　内用　形
パッ　ンを装　しないもの及びがたつき防止用パッ　ンを装　したもの
の　０．５㎜以内　外　と内　のクリアランス　２．０㎜以内
材料の品質及び性能
受　材、　材、ー　ー　ース、板材、　板補　材
アル　ニウム合　押出形材　４１００　Ａ６０６３　５
表面　表１４．２．１のＡ　１種、Ａ　２種、Ｂ　１種、Ｂ　２種
開　施　・開　は、又は開　用　ンドル
の　製造所の仕様による

14 製書 及び物品

・　定　（下　以外は図示による）
製書　※　１０３９による　・法　省
製物品　・　１０４０による
・　形　等は図示による

15 くつ き ット

※　化　ニル又は　ム製（受け　ス　ンレス製　３０４）　ンライン
・　硬質アル　ニウム合　製（受け　ス　ンレス製　３０４）
・　ス　ンレス製　３０４（受け　ス　ンレス製　３０４）

16 フェンス

フェンスの種類　・　ニル　スパンドフェンス　・　フェンス
・　樹脂　装メッ　フェンス　・アル　フェンス
高さ　・図示による　・

17 リ

材種　※　アル　ニウム　製品　●　ニル　製品

18 クチ ールレ

※　り　用タイプ　・
フック　ヶ　全荷重　※　１５　以上　・

19 用床材、用床材

材種　・レ　ン　ンクリート製（厚さ６０㎜）　・　貿タイル製

表面形　９２５１による
寸法　※　３００ｘ３００　・

20

形　・ローブ（　ーバー　）
※　ンドル（　ーバー　又は同　断面　）
材種　・アル　ニウム合　・
高さ（　）　・
受　物　※ス　ンレス　（　３０４）製　・

21 製

合板類、　及びパー　クルボード、　及び　料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種

22 止

形	材種	・厚（　）	高さ（㎜）	
・上下　内（・標準品　・　）	・ス　ンレス製	・	・G	
・	・	・		

23 アス ト成形板の工事

※　有施設の　等に係る施工　の　制度による　を受けている　であること。
を　アス ト成形板の仕様等

材　料	厚さ（　）	を
板		壁

施工調
※　・　ない
定化　物質等　技能　を修　した　の　する。
別　物
保温材については、出事　は別　物　の資　を有する　を　し　さ る。

2.1 排水工事

1 (21.2.1)

ンクリート　節21.2.1
種類　※　外　Ｂ形１種　・
※　ム　合　・　ルタル　合
硬質ポリ　化　ニル
・
・
・　リ　イクル硬質ポリ　化　ニル発泡三層　（　）A
建物外での硬質　化　ニル　であて、使用　み　化　ニル　を原材料とする　化
ニルが製品全体重量比で３０％以上使用されていること

2 、等 (21.2.2)

製　た
※　・　・　・　た付
適用荷重（　全荷重　Ｎ　）
内用　・　２用（５）
外用　・　２用（５）　※　６用（１５）　・　２０用（５０）
・有　・

グレーチング

種類	形	用	適用荷重	メン　ー　ッチ		上面形
・　製	・受　付 ・ボルト 定 ・	・溝　た（　断用） ・溝　た（　溝用） ・　用 ・　用 ・　溝用	・　用 ・２用 ・６用 ・１４用 ・２０用			※　形
・ス　ンレス製	・受　付 ・ボルト 定 ・	・溝　た（　断用） ・溝　た（　溝用） ・　用 ・　用 ・　溝用	・　用 ・２用 ・６用 ・１４用 ・２０用			・　形 ・平形

2.2 舗装工事

1 床 (22.2.2~5)

床の構成　※　標準　図による　・図示による
土に用いる材料（表３．２．１による）
・Ａ種　※　Ｂ種　・　種　・　種
・建設　再生した　土A
持　比（　Ｂ　）試験
※　ない　・　（　※　した土　・　さない土　）
・　度の試験
※　ない　・
の　度試験
※　ない　・

2 (22.3.2~5)

の構成　※　標準　図による　・図示による　節22.3.3
材料　※　再生材クラッ　ランA　・クラッ　ラン　スラグA
度試験
※　ない　・
の　度試験
※　ない　・

3 アスファ ルト装 (22.4.2~6)

装の構成　※　標準　図による　・図示による
アスファ ルト　※　再生アスファ ルトA　・ストレートアスファ ルト
材　※　・アスファ ルト ンクリート再生　材A
※ アスファ ルト装
熱アスファ ルト　合物等の種類
※　表層　※　度アスファ ルト　合物（１３）
・　度アスファ ルト　合物（１３）
・基層　・　度アスファ ルト　合物（２０）
・カラー　装
種類　※　表層に　した　熱アスファ ルト　合物
・表層の上に　装又は樹脂　合物
・表層の上に　温　装又はニート工法による樹脂　装
カラー　装に　付する　材
・有　材（材質　）
・　材（材質　）
ール ート　※　ない　・
アスファ ルト　合物の　出試験　※　ない　・

4 ンクリート 装 (22.5.2~6)

装の構成　※　標準　図による　・図示による
※　使用する（１５０　１５０　６）　・　使用しない
ンクリート版の厚さの試験　※　ない　・

5 カラー 装 (22.6.2~6)

装の構成　※　標準　図による　・図示による
部の基層　・有　・
アスファ ルト　合物の　出試験　※　ない　・

6 性アスファ ルト装A (22.　2~6)

装の構成　※　標準　図による　・図示による
アスファ ルト　合物の　出試験　※　ない　・

性アスファ ルト装A (22.8.2~6)

装の構成　※　標準　図による　・図示による
アスファ ルト　合物の　出試験　※　ない　・

2.2 舗装工事

8 ロック 装 (22.9.2~3)

装の構成　※　標準　図による　・図示による
※ インターロッ ング ロックA　節22.8.1
材質（※　ンクリート　・　）種類（※　・　性　・　生用）
形（・長　形　・　形　・　形）厚さ（・６０　・８０　・１００）
表面　工　・　ット仕上げ
クッ　ン材　※　空　り ルタル　・
・再生材料を用いた　装用　ロック（　成）
再生材料が原材料の重量比で２０％以上（　数の材料が使用されている場合は、れ　の材料の合　）使用されていること。た し、再生材料の重量の　定において、　利用している同　工場　の材の重量は　れるものとする。重　等有害物質の　有　、施工　及び使用　に　等による重　等　有物質の　出について、土　の　に係る　基準等に　して　がないこと

再生材料の原料となるもの	法
及び　土、　（ラ）、　スラグ	法によ　対象
スラグ、物　、　、　、建築　材	
（　を　く）、　ラス（　及び　のラス	
び　を　く）、紙製スラッ　、アル　スラッ　、	
き　、材	
	スラグ化
下	化又は　スラグ化
上	法によ　対象
等の	

・再生材料を用いた　装用　ロック製（プレ　スト　ンクリート製品）
再生材料が原材料の重量比で２０％以上（　数の材料が使用されている場合は、れ　の材料の合　）使用されていること。なお、　性　保のた　に、　材の　率を上げる　がある場合は、
再生材料が原材料の重量比１５％以上使用されていること
た し、再生材料の重量の　定において、　利用している同　工場　の　材の重量は　れるものとする。重　等有害物質の　有　、施工　及び使用　に　等による重　等　有物質の　出について、土　の　に係る　基準等に　して　がないこと

再生材料の原料となるもの	法
及び	スラグ化
下	

ンクリート平板　装、インターロッ　ング　ロック　装の　部は原　再生材料を用いた　装　ロックA とする。た し調　な場合は　と　を　ものとする

9 線

※　面表示用　料（　５６６５（　面表示用　料）による）
・１種A　・２種A　※３種１号
・　発性有　の　面表示用　料A
性　の　面表示用　料であて、発性有　（　）の　有率（　料　質量に対する　発性　の質量の割合）が５％以下であること
※　※　図示による　厚さ　※　１．０

2.3 植栽及び屋上緑化工事

1 地の 認 (23.1.3)

土　の　イオン　度（　）試験　・　※　ない
性　類（　）の試験　・　※　ない

2 基の (23.2.2~4)

・設置する・き　・き　・　層　・　・設置しない
性　類（　）の試験　・　※　ない
工法　節23.2.2
樹　・　（※Ａ種　・Ｂ種　・　種　・　種）※　ない
及び地　類　※　（※Ｂ種　・　）　・　ない
込み用土
※　現場発生土の　質土　・　土
土　材
・　適用する（施工箇所　）
・　ーク A
製品は以下を　すること
有　物の　有率（　物）　：０％以上
比　Ｎ比　：３５以下
イオン　量　（　物）：０　１００　以上
：５．５～　．５
分　：５５～６５％
物試験の　：生　害　の　の　が認　れない
全量Ｎ　（現物）　：０．５％以上
り　全量　２　５　（現物）　：０．２％以上
全量　２　（現物）　：０．１％以上
・　発　料（下　ンポスト）A
「　等を　物に係る　定基準を定　る省　」（　４８年　第５号）の別表第　の基準に適合する原料を使用したもので、　害試験の調　の　、害が認　れないものとする
：０．００５％以下
カド　ウム　：０．０００５％以下
：０．０００２％以下
ニッ　ル　：０．０３％以下
クロム　：０．０５％以下
：０．０１％以下
有　物の　有率（　物）　：３５％以上
比　Ｎ比　：２０以下
：８．５％以下
分　：５０％以下
全量Ｎ　（現物）　：０．８％以上
り　全量　２０５　（現物）：１．０％以上
アルカリ分（現物）　：１５％以下（た　し、土　の　度を　する　的で使用する場合はこの限りでない）
施工箇所の土　及び　物の性質　使用が　適な場合、及び調　な場合は　と　を　ものとする

3 材 (23.3.2)

※　（開　材A）　・

4 樹の 補 (23.3.4)

※　１年間　・

5 樹の (23.3.6)

※　１年間　・

6 上 化A (23.5.2~3)

基　及び材料
・上　化　ム
土　層の厚さ　・図示　・
層　・　皇　材（層の厚さ：　）　・板　成形品
込用土　※　土　・　工　皇土
樹　の材種、寸法、　数等　※　図示　・
・上　化　皇　ム
及び地　類の樹種　びに種類等　※　図示　・
材、　装材、　き　、ルチング材等　※　図示　・

(有)MEUX設計工房
取　１８６地２

1級建築　事　所
取　事　第　号
建　築
1級建築　大　第　号

設
1級建築　大　第　号
構造設　1級建築　第　号

讃岐　・　・　讃岐

上小　保　耐震　修及び大規　修工事

建築工事仕様書（５）

設計概要			外部仕上表	改修前	改修後
工事名称		上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事	屋根	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板横葺0.4T　ｺﾞﾑｱｽﾙｰﾌｨﾝｸﾞ1.0T　構造用合板12T　水切:ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板0.4T 雪止ｱﾝｸﾞﾙ:L-40*40*3　溶融亜鉛ﾒｯｷ品	現況のまま
工事場所		鳥取県倉吉市鴨河内	外壁	ﾗｽﾓﾙﾀﾙ下地ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材吹付	耐震補強箇所・開口部設置箇所:鉄骨胴縁下地通気ｼｰﾄ下地化粧防火ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ16T貼 他:現況のまま　(通気金具工法)
指定地域		都市計画区域内　無指定	軒裏	ｹｲｶﾙ板6T下地ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材吹付	耐震補強箇所:ｹｲｶﾙ板6T下地ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材吹付　一部有孔板 他:現況のまま
用途		保育所	根廻り	ﾓﾙﾀﾙﾊｹ引仕上	ﾎﾞｰﾁ袖壁設置箇所:ﾓﾙﾀﾙﾊｹ引下地ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材吹付 他:現況のまま
構造		鉄骨造	開口部	ｱﾙﾐｻｯｼ	ｱﾙﾐ製排煙窓:1箇所設置 他:現況のまま
規模			樋	大屋根　軒樋:塩ﾋﾞ製150W　竪樋:塩ﾋﾞ製100A ｻﾝﾃﾗｽ屋根　軒樋:塩ﾋﾞ製　竪樋:塩ﾋﾞ製	耐震補強箇所:竪樋撤去再取付 他:現況のまま
	敷地面積	1849.10㎡	犬走り	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ仕上	現況のまま
	建築面積	583.86㎡	ポーチ床	ﾀｲﾙ貼	現況のまま
	1階床面積	480.86㎡	ポーチ天井	羽目ﾛﾝｸﾞ下見板8.5T貼　W=100	軽量鉄骨天井下地構造用合板(特類)9T下地杉板12T貼(本実加工)木材保護剤塗
	延床面積	480.86㎡	サンテラス	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ仕上	現況のまま
			サンテラス屋根	FRP波板32波葺　鉄部:SOP塗	耐震補強箇所(東面)FRP波板32波葺替　取合水切:GLｶﾗｰ鋼板0.4T 他:現況のまま
			鼻隠し	ﾗｽﾓﾙﾀﾙ下地ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材吹付	現況のまま

内部仕上表

室名	床	床高(FL±)	幅木	腰	壁	天井	廻縁	天井高	備考
玄関	ｸﾘﾝｶｰﾀｲﾙ貼(現況のまま) 既設塩ﾋﾞｼｰﾄ撤去後塩ﾋﾞｼｰﾄ2.0T貼	-200 ～±0	人造石研出し(現況のまま)	PB12T下地EP塗替　ﾒｽｷ	同左	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9T貼(現況のまま) 一部撤去後化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5T貼	塩ﾋﾞ製(現況のまま) 一部撤去後塩ﾋﾞ製取付	2800～2600	上框:人造石研出し(現況のまま) 下足箱(現況のまま)
ホール	既設床撤去後(木製床組+複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T下地ｺﾙｸﾀｲﾙ貼) 構造用合板(特類)12T下地無垢ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼	±0	木製　100H　SOP塗(現況のまま)	PB12T下地EP塗替　ﾒｽｷ	同左	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9T貼(現況のまま) 一部撤去後化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5T貼	塩ﾋﾞ製(現況のまま) 一部撤去後塩ﾋﾞ製取付	2600	下足箱(現況のまま)
事務室	既設床撤去後(木製床組+複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼) 構造用合板(特類)12T下地無垢ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼	±0	木製　100H　SOP塗(現況のまま)	PB9T下地EP塗　ﾒｽｷ(現況のまま)	同左	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9T貼(現況のまま) 一部撤去後化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5T貼	塩ﾋﾞ製(現況のまま) 一部撤去後塩ﾋﾞ製取付	2500	吊戸棚(現況のまま)
保育士室	木製床組+複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼(現況のまま) 木製床組+ｽﾀｲﾛﾀﾀﾐ60T敷(現況のまま)	±0 +250	木製　100H　SOP塗(現況のまま) ﾀﾀﾐ寄ｾ(現況のまま)	PB9T下地EP塗　ﾒｽｷ(現況のまま)	PB9T下地EP塗　ﾒｽｷ(現況のまま) 耐震補強箇所:PB12.5T下地EP塗　ﾒｽｷ	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9T貼(現況のまま) 一部撤去後化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5T貼	塩ﾋﾞ製(現況のまま) 一部撤去後塩ﾋﾞ製取付	2650 2400	吊戸棚(現況のまま)
ほふく室	既設床撤去後(木製床組+複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼・ｽﾀｲﾛﾀﾀﾐ60T敷) 構造用合板(特類)12T下地無垢ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼 構造用合板(特類)12T下地ﾀﾀﾐ60T敷 手洗前:構造用合板(特類)12T+ﾗﾜﾝ合板(T-1)12T下地 塩ﾋﾞｼｰﾄ2.0T貼	±0	木製　100H　SOP塗(現況のまま)	PB12T下地EP塗　ﾒｽｷ(現況のまま) D面:PB12T下地EP塗替　一部PB12.5T下地EP塗 手洗前:耐水B12.5T下地不燃化粧板3T貼	同左	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9T貼(現況のまま) 一部撤去後化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5T貼	塩ﾋﾞ製(現況のまま) 一部撤去後塩ﾋﾞ製取付	2600	
調乳室	既設床撤去後(木製床組+複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼) 構造用合板(特類)12T下地無垢ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼	±0	木製　100H　SOP塗(現況のまま)	ｹｲｶﾙ板4T下地EP塗(現況のまま)	同左	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9T貼(現況のまま)	塩ﾋﾞ製(現況のまま)	2400	
保育室No.1	既設床撤去後(木製床組+複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T下地ｺﾙｸﾀｲﾙ貼) 構造用合板(特類)12T下地無垢ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼 手洗前:構造用合板(特類)12T+ﾗﾜﾝ合板(T-1)12T下地 塩ﾋﾞｼｰﾄ2.0T貼	±0	木製　100H　SOP塗(現況のまま)	有孔合板4T下地　OS塗　H=1010(現況のまま) 手洗前:耐水B12.5T下地不燃化粧板3T貼	PB12T+9.5T下地ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(現況のまま)	撤去後PB9.5T下地岩面吸音板9T貼	撤去後塩ﾋﾞ製取付	2600	
保育室No.2	既設床撤去後(木製床組+複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼) 構造用合板(特類)12T下地無垢ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼 手洗前:構造用合板(特類)12T+ﾗﾜﾝ合板(T-1)12T下地 塩ﾋﾞｼｰﾄ2.0T貼	±0	木製巾木100H撤去後 木製(ﾊﾟｲﾝ積層)　100H　SOP塗	既設壁(下地木軸共)撤去後(PB12T+9.5T下地ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 ・PB12T+9.5T下地有孔合板4T貼　OS塗　H=1010) PB15T下地不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 手洗前:B15T下地不燃化粧板3T貼	既設壁(下地木軸共)撤去後(PB12T+9.5T下地ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼) PB15T下地不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 耐震補強箇所:PB15T下地不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	撤去後PB9.5T下地岩面吸音板9T貼	撤去後塩ﾋﾞ製取付	2600	
保育室No.3	既設床撤去後(木製床組+複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼) 構造用合板(特類)12T下地無垢ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼 手洗前:構造用合板(特類)12T+ﾗﾜﾝ合板(T-1)12T下地 塩ﾋﾞｼｰﾄ2.0T貼	±0	木製巾木100H撤去後 木製(ﾊﾟｲﾝ積層)　100H　SOP塗	既設壁(下地木軸共)撤去後(PB12T+9.5T下地ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 ・PB12T+9.5T下地有孔合板4T貼　OS塗　H=1010) PB15T下地不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 手洗前:B15T下地不燃化粧板3T貼	既設壁(下地木軸共)撤去後(PB12T+9.5T下地ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼) PB15T下地不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 耐震補強箇所:PB15T下地不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	撤去後PB9.5T下地岩面吸音板9T貼	撤去後塩ﾋﾞ製取付	2600	
プレイルーム	既設床撤去後(木製床組+複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T下地ｺﾙｸﾀｲﾙ貼) 構造用合板(特類)12T下地無垢ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼	±0	木製　100H　SOP塗(現況のまま) C面:既設木製巾木100H撤去後 木製(ﾊﾟｲﾝ積層)　100H　SOP塗	PB12T下地EP塗　H=2600　ﾒｽｷ(現況のまま) C面:PB15T下地ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼　H=2600	PB12T下地ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(現況のまま)一部ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼替(D面) 耐震補強箇所:PB15T下地ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	PB9T下地岩面吸音板9T貼(現況のまま) 一部撤去後PB9.5T下地岩面吸音板9T貼	塩ﾋﾞ製(現況のまま) 一部撤去後塩ﾋﾞ製取付	≒4530～6320	
便所A	ﾓﾙﾀﾙ下地ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼(現況のまま) 一部撤去後ﾓﾙﾀﾙ下地100□ﾀｲﾙ貼	-100		既設壁(下地木軸共)撤去後(ﾓﾙﾀﾙ・ﾗｽﾓﾙﾀﾙ下地100□ﾀｲﾙ貼　H=1900) ﾓﾙﾀﾙ・ﾗｽﾓﾙﾀﾙ下地100□ﾀｲﾙ貼　H=1900 小便器ﾗｲﾆﾝｸﾞ部分:CB100Tﾓﾙﾀﾙ下地100□ﾀｲﾙ貼　H=1000	既設壁(下地木軸共)撤去後(PB9T下地EP塗) PB15T下地ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ 耐震補強箇所:PB15T下地ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	撤去後化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5T貼	撤去後塩ﾋﾞ製取付	2600	面台:ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑｶｳﾝﾀｰ20T
便所B	ﾓﾙﾀﾙ下地ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼(現況のまま) 一部撤去後ﾓﾙﾀﾙ下地100□ﾀｲﾙ貼	-100		ﾗｽﾓﾙﾀﾙ下地100□ﾀｲﾙ貼　H=1900(現況のまま) 手洗撤去跡:ﾓﾙﾀﾙ下地100□ﾀｲﾙ貼 小便器ﾗｲﾆﾝｸﾞ部分:CB100Tﾓﾙﾀﾙ下地100□ﾀｲﾙ貼　H=1000	PB9T下地EP塗(現況のまま)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9T貼(現況のまま)	塩ﾋﾞ製(現況のまま)	2600 1940～2140	面台:ﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑｶｳﾝﾀｰ20T
職員便所	既設床撤去後(ｺﾝｸﾘｰﾄ+ﾓﾙﾀﾙ下地ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼) 構造用合板(特類)12T+ﾗﾜﾝ合板(T-1)12T下地塩ﾋﾞｼｰﾄ2.0T貼	±0	既設ﾀｲﾙ撤去後 ｹｲｶﾙ板8T下地塩ﾋﾞｼｰﾄ2.0T貼　300H	100□ﾀｲﾙ貼　1800H(現況のまま)	PB9T下地EP塗(現況のまま)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9T貼(現況のまま)	塩ﾋﾞ製(現況のまま)	2500	
調理室	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ下地合成樹脂塗料塗(現況のまま)	-200		ﾗｽﾓﾙﾀﾙ下地100□ﾀｲﾙ貼(現況のまま)	ﾗｽﾓﾙﾀﾙ下地100□ﾀｲﾙ貼一部ｽﾃﾝ0.5T貼(現況のまま) 耐震補強箇所:ｹｲｶﾙ板8T下地100□ﾀｲﾙ貼	ｹｲｶﾙ板4T下地EP塗替　ﾒｽｷ 一部撤去後ｹｲｶﾙ板6T下地EP塗　ﾒｽｷ	塩ﾋﾞ製(現況のまま) 一部撤去後塩ﾋﾞ製取付	2600	既設ｽﾃﾝﾌｰﾄﾞ撤去後新設ﾌｰﾄﾞ取付 既設ｶﾞｽ回転釜撤去後新設ｶﾞｽ回転釜取付(参考品番:TRK-036DF)
検収室	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ仕上(現況のまま)	-200	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ仕上(現況のまま)	ｹｲｶﾙ板4T下地EP塗(現況のまま)	ｹｲｶﾙ板4T下地EP塗(現況のまま) B面:撤去後ｹｲｶﾙ板6T下地EP塗　ﾒｽｷ	撤去後PB9.5T下地EP塗　ﾒｽｷ	撤去後塩ﾋﾞ製取付	2600	棚(現況のまま)
収納庫	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼塗装品(現況のまま)	±0	木製　100H(現況のまま)	PB9T下地EP塗(現況のまま)	同左	PB9T下地EP塗(現況のまま) 一部撤去後PB9.5T下地EP塗　ﾒｽｷ	塩ﾋﾞ製(現況のまま) 一部撤去後塩ﾋﾞ製取付	2600	
倉庫	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ仕上(現況のまま)	-200	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ仕上(現況のまま)	PB9T貼(現況のまま)	同左	PB9T貼(現況のまま)	塩ﾋﾞ製(現況のまま)	2600	棚(現況のまま)

化粧防火ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ16T:ﾆﾁﾊ(株)　ﾓｴﾝｴｸｾﾗｰﾄﾞ16　ﾆｭｰｸﾞﾗﾝﾄﾞｰﾙｼﾘｰｽﾞⅠ　同等品
無垢ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T:ﾅﾗ　ｳﾚﾀﾝ塗装品
PB9.5T:準不燃材料　QM-9828
PB9.5T(岩面吸音板下地用):不燃材料　NM-0441
PB12.5T:不燃材料　NM-8619
PB15T:不燃材料　NM-8619
耐水B12.5T:準不燃材料　QM-9826
化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5T:準不燃材料　QM-0524
岩面吸音板9T:不燃材料　NM-8599
ｹｲｶﾙ板6T:不燃材料　NM-8578
不燃化粧板3T:ｱｲｶ　ｾﾗｰﾙ　同等品　不燃材料　NM-2183
ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ:準不燃材　QM-9296　中級品
不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ:不燃材　NM-0391　中級品
屋内天井施工箇所は断熱材:GW100T(高性能24K)施工の事
外壁及び屋根に面する内壁施工箇所は断熱材:GW100T(高性能24K)施工の事
既設ｹｲｶﾙ板撤去工事はﾚﾍﾞﾙ3の作業とする事
下記の家具等は撤去再取付とする事
・事務室:流し台・収納家具
・ほふく室:絵本箱
・調乳室:流し台
木製床組施工部分は防腐防蟻処理を行う事
薬剤:ﾐｾﾌﾞﾛｯｸ乳剤同等品
ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材:ﾌｼﾞﾜﾗ化学　ﾊｰﾊﾞｽ　HP-F工法　同等品

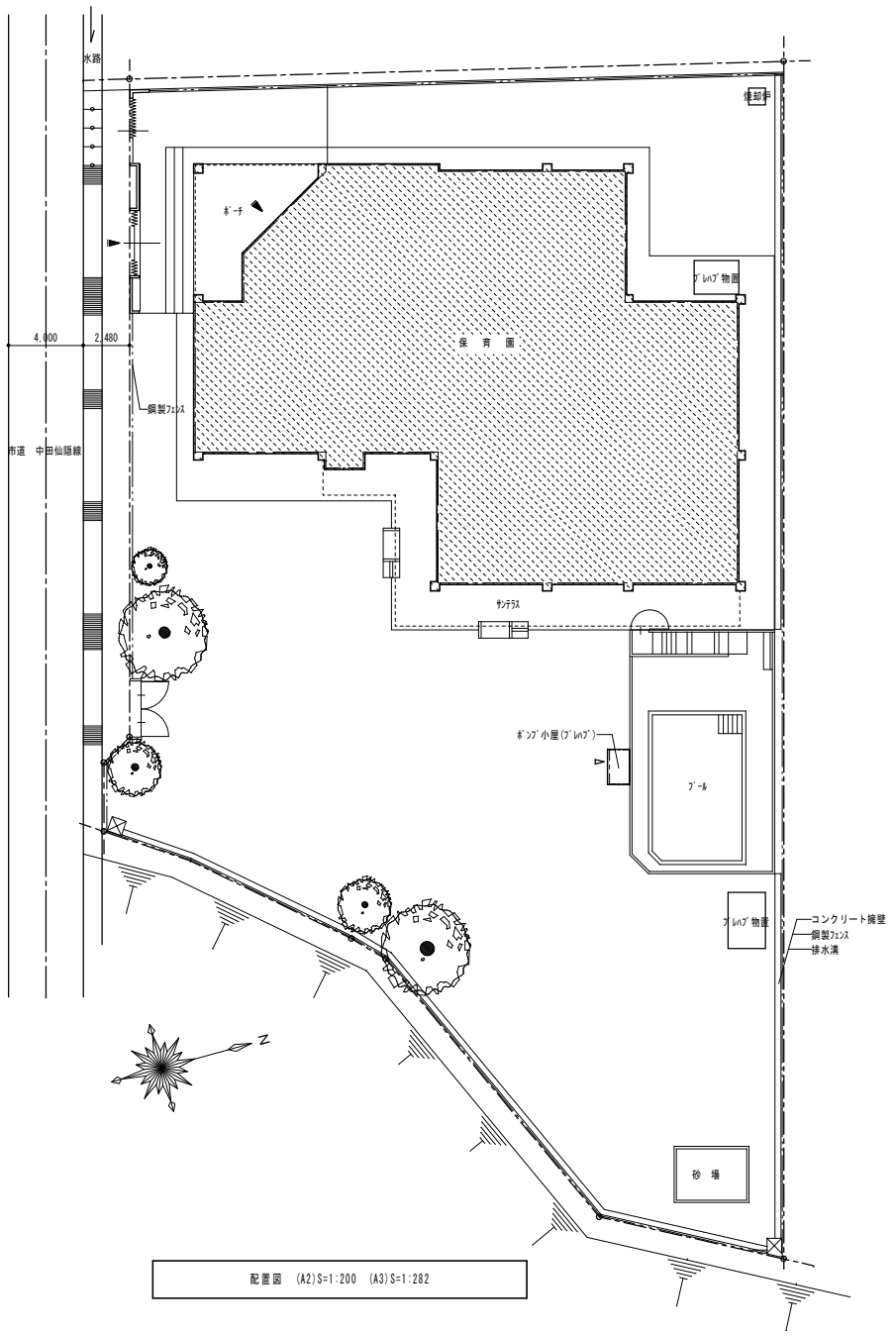
(有)MEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町1丁目86番地2
TEL:0858-48-1003　FAX:0858-26-7570

1級建築士事務所
鳥取県知事登録第22-561号
管理建築士
1級建築士　大臣登録第168674号
讃岐英夫

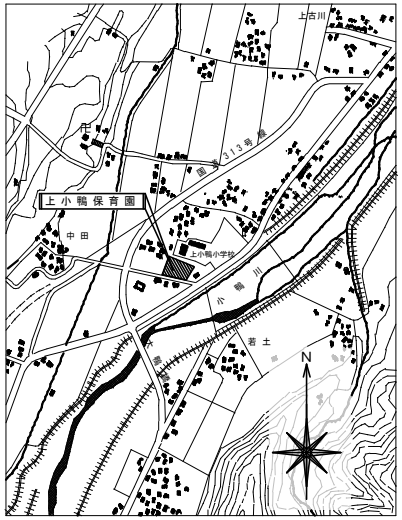
設計者
1級建築士　大臣登録第168674号
構造設計1級建築士　第2822号
讃岐英夫

NOTE:

SCALE	DATE	DRAW	CHECK	CHIEF	TITLE	DR.NO.
	130800	讃岐		讃岐	上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事	A-06
					DR.NAME: 設計概要　外部仕上表　内部仕上表	

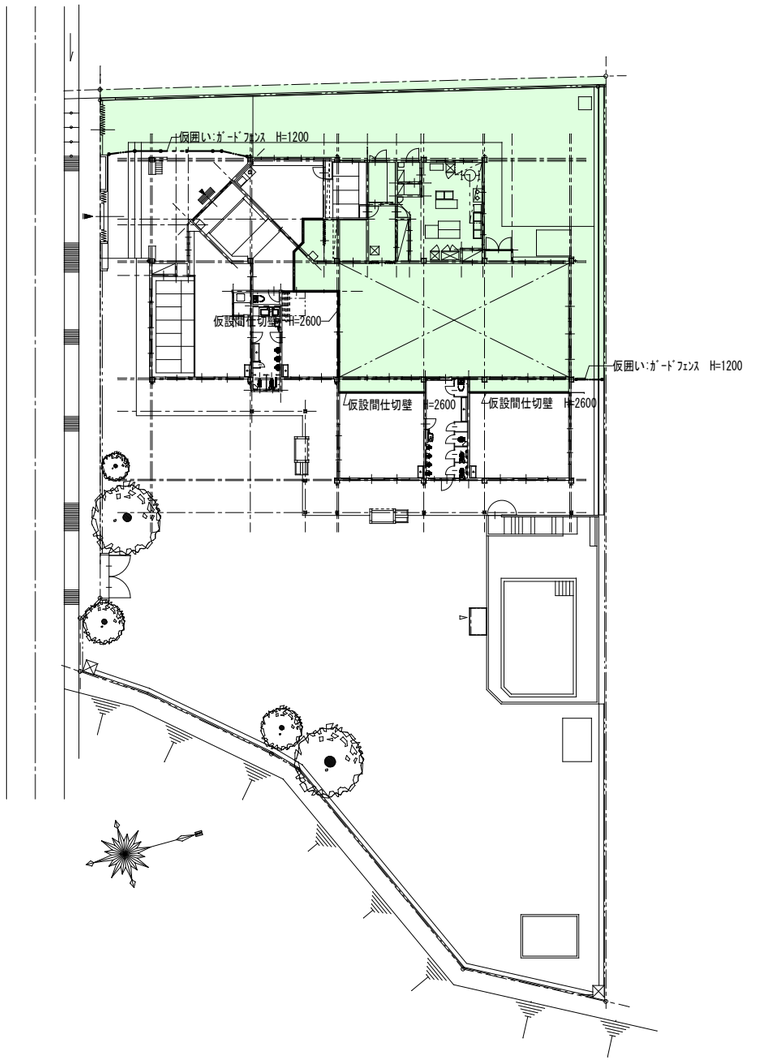


配置図　(A2)S=1:200　(A3)S=1:282

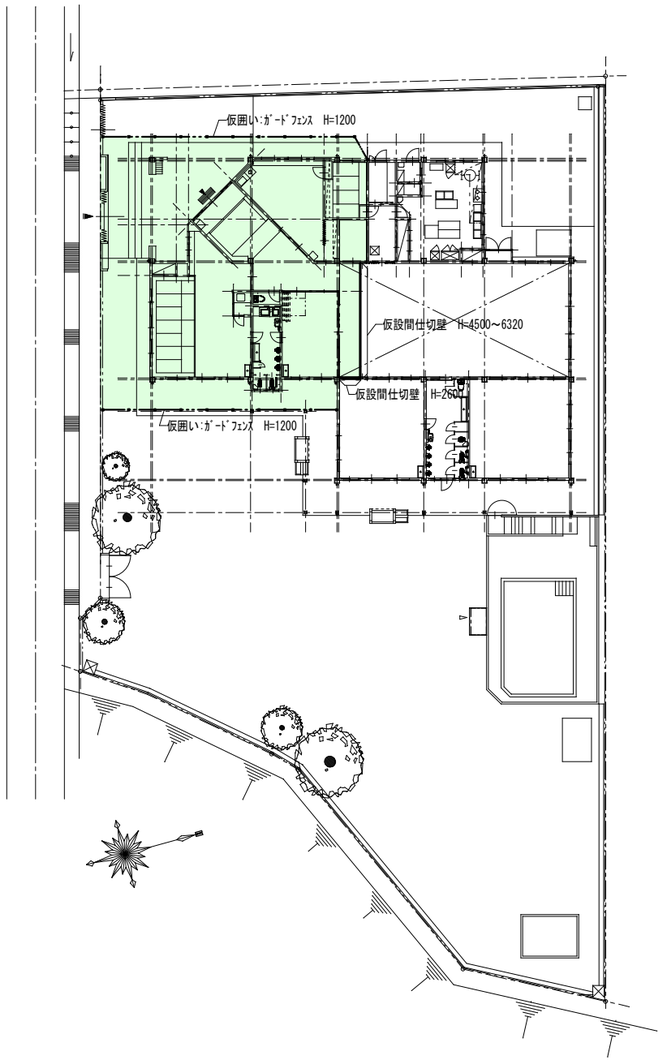


付　近　見　取　図

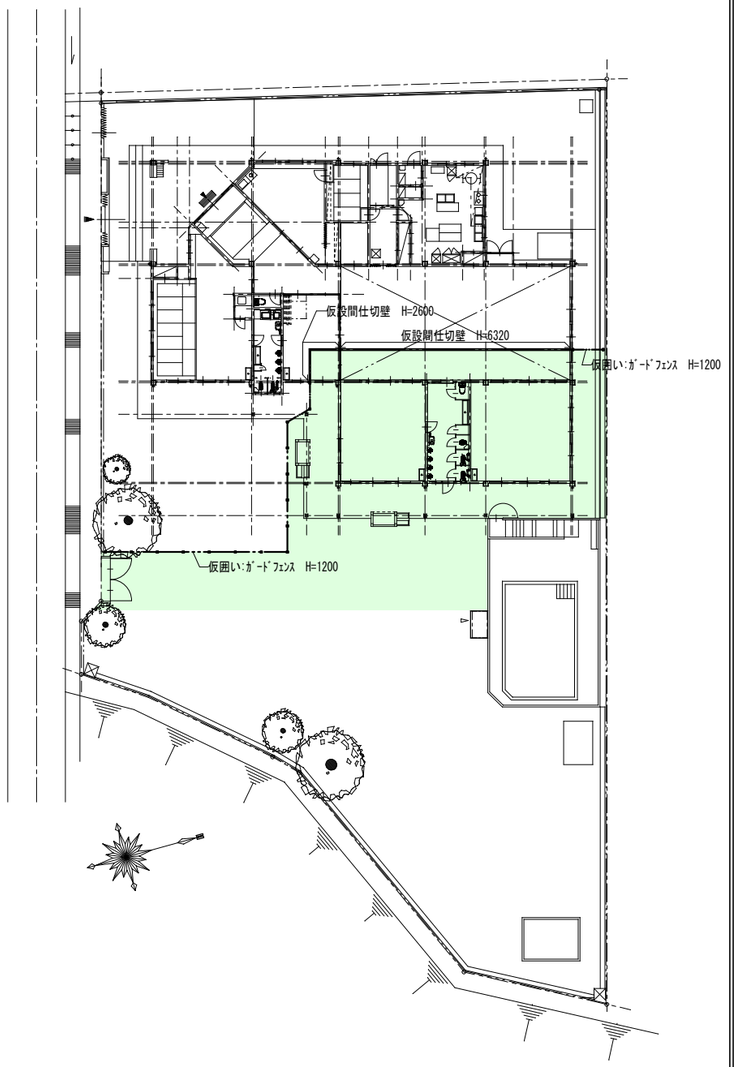
(有)MEUX設計工房 鳥取県倉吉市清谷町１丁目８６番地２ TEL:0858-48-1003　FAX:0858-26-7570	１級建築士事務所 鳥取県知事登録第22-561号 管　理　建　築　士 １級建築士　大臣登録第168674号 諶　岐　英　夫	設　計　者 １級建築士　大臣登録第168674号 構造設計１級建築士　第2822号 諶　岐　英　夫	NOTE:	SCALE (A2)1:200 (A3)1:282	DATE 130800	DRAW　CHECK 諶岐 ・ ・	CHIEF 諶岐	TITLE DR.NAME	上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事 配置図　付近見取図	DR.NO. A-07



Aゾーン



Bゾーン



Cゾーン

仮囲い:ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ　H=1200　L=1800

仮設間仕切壁　LGS間仕切壁50型@450　片面PB9.5T貼

工事作業範囲を示す

工事はA→B→Cの順序にて行うことを原則とする。

仮設計画図　(A2)S=1:300　(A3)S=1:423

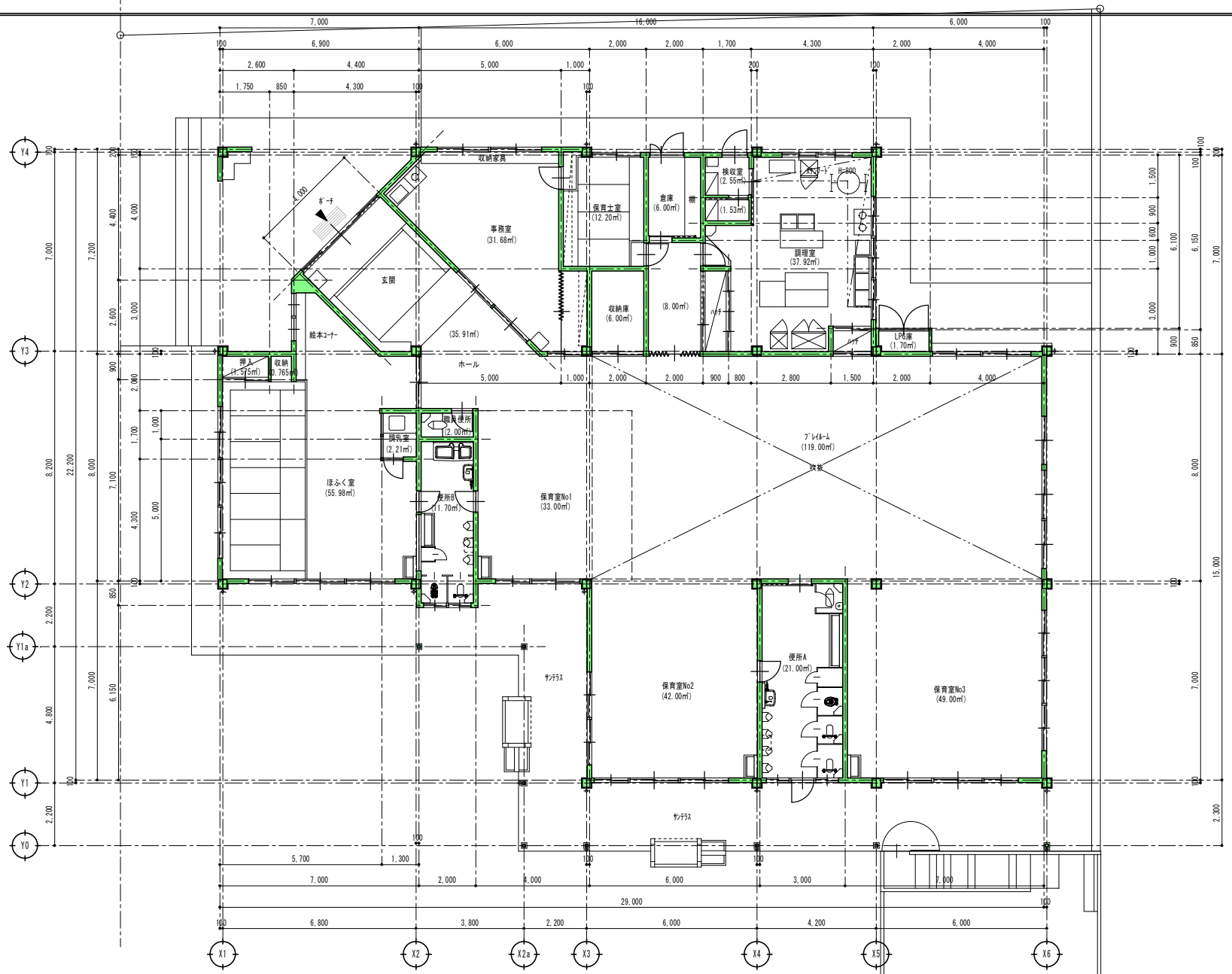
(有)MIEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町１丁目８６番地２
TEL:0858-48-1003　FAX:0858-26-7570

１級建築士事務所
鳥取県知事登録第22-561号
管　理　建　築　士
１級建築士　大臣登録第168674号
讃　岐　英　夫

設　計　者
１級建築士　大臣登録第168674号
構造設計１級建築士　第2822号
讃　岐　英　夫

NOTE:

SCALE	DATE	DRAW	CHECK	CHIEF	TITLE	DR. NO.
(A2)1:300 (A3)1:423	130800	讃岐	・	・ 讃岐	上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事	A-08
					DR. NAME 仮設計画図	



現況１階平面図　(A2)S=1:100　(A3)S=1:141

481.72㎡

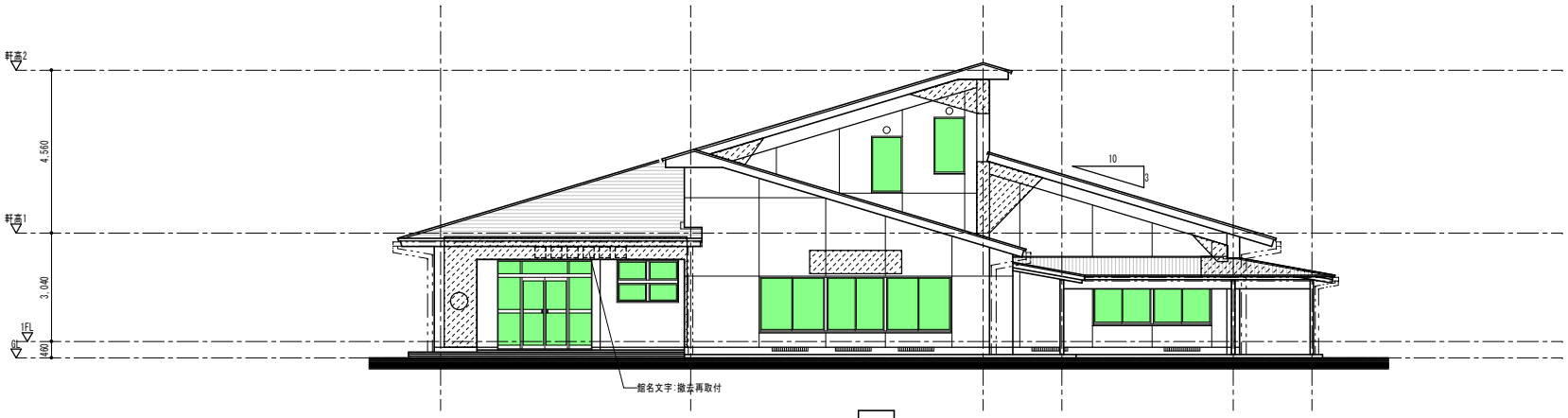
(有)MEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町１丁目８６番地２
TEL:0858-48-1003　FAX:0858-26-7570

１級建築士事務所
鳥取県知事登録第22-561号
管　理　建　築　士
１級建築士　大臣登録第168674号
讃　岐　英　夫

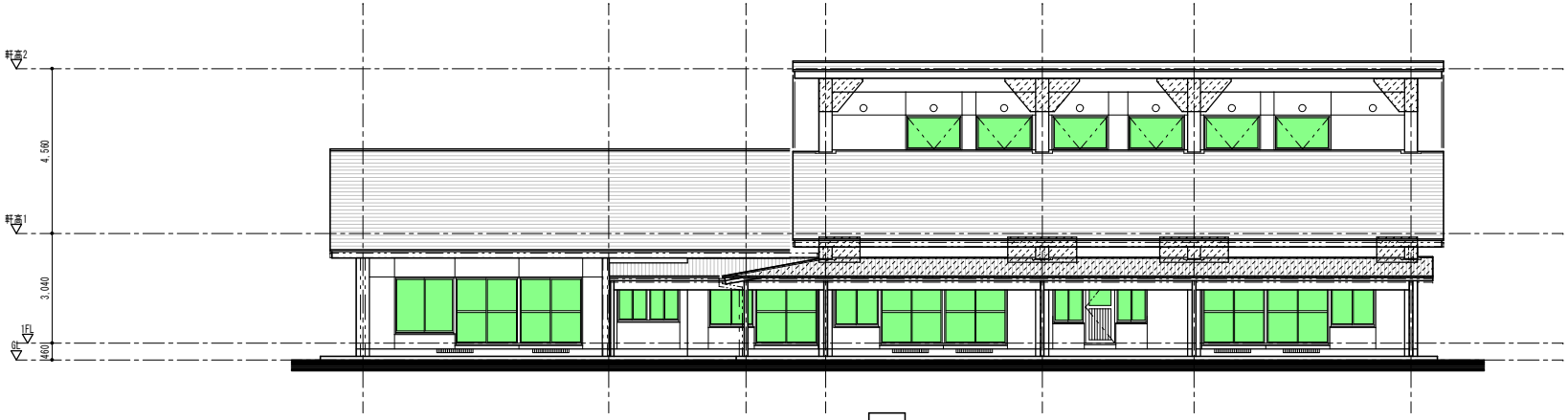
設　計　者
１級建築士　大臣登録第168674号
構造設計１級建築士　第2822号
讃　岐　英　夫

NOTE:

SCALE	DATE	DRAW	CHECK	CHIEF	TITLE	DR.NO.
(A2)1:100 (A3)1:141	130800	讃岐	・	・ 讃岐	上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事	A-09
					DR.NAME 現況１階平面図	



南



東

外壁等撤去部分を示す。

現況立面図　(A2)S=1:100　(A3)S=1:141

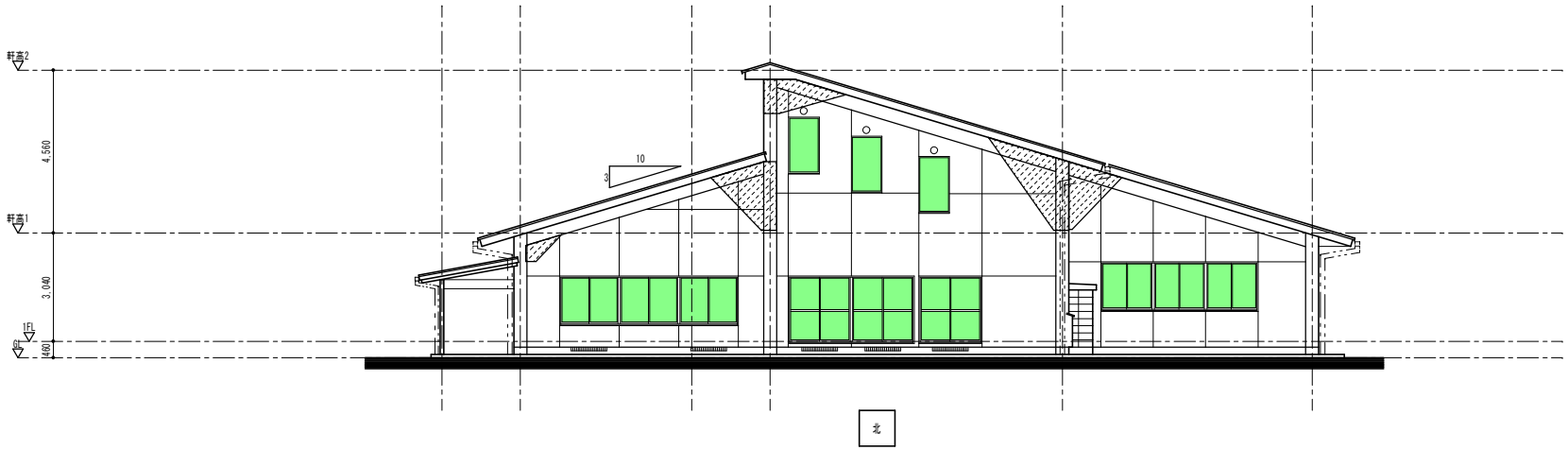
(有)MEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町１丁目８６番地２
TEL:0858-48-1003　FAX:0858-26-7570

１級建築士事務所
鳥取県知事登録第22-561号
管　理　建　築　士
１級建築士　大臣登録第168674号
諶　岐　英　夫

設　計　者
１級建築士　大臣登録第168674号
構造設計１級建築士　第2822号
諶　岐　英　夫

NOTE:

SCALE	DATE	DRAW	CHECK	CHIEF	TITLE	DR.NO.
(A2)1:100 (A3)1:141	130800	諶岐	・	諶岐	上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事	A-10
					DR.NAME 現況立面図１	



北

西

外壁等撤去部分を示す。

現況立面図　(A2)S=1:100　(A3)S=1:141

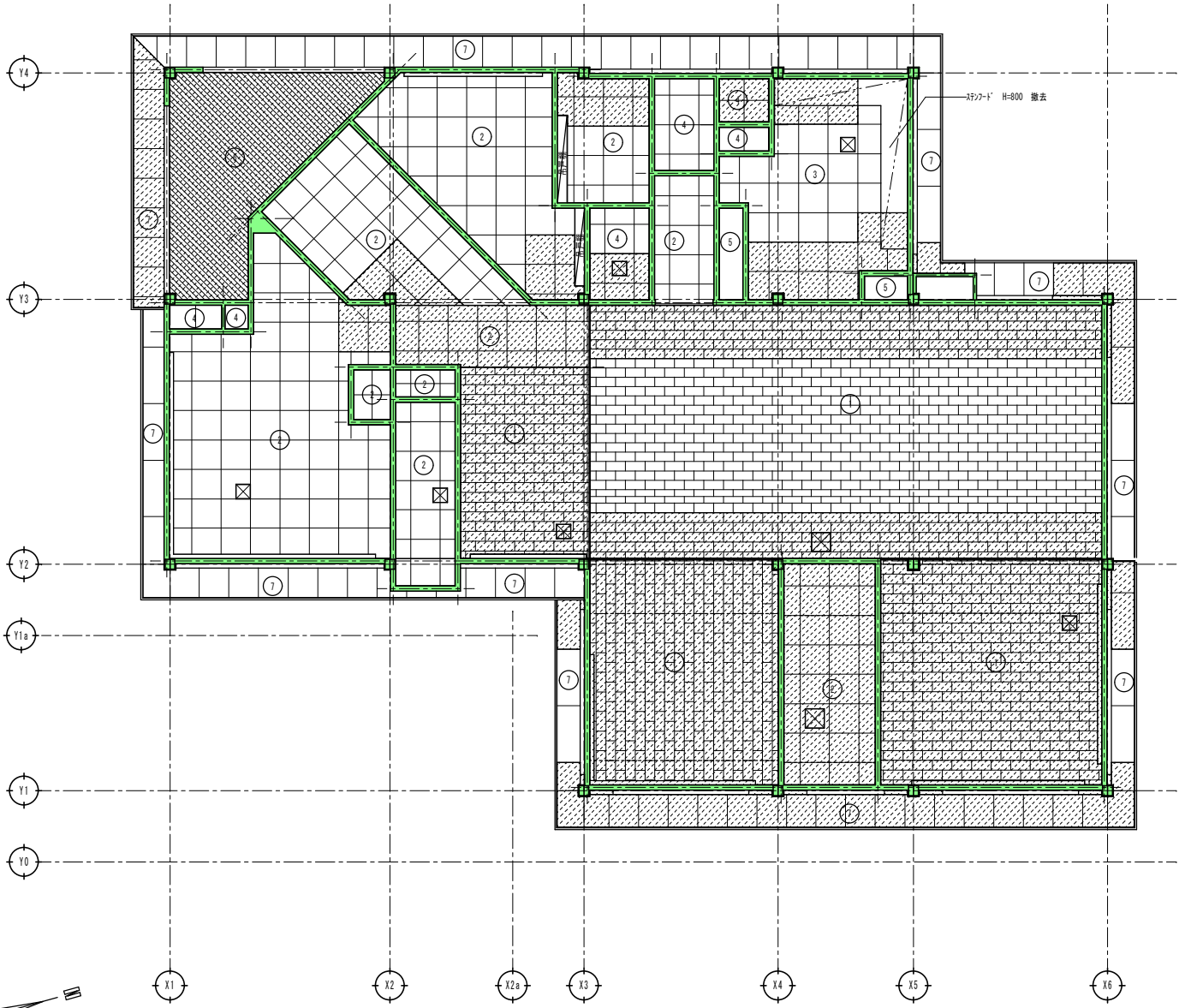
(有)MEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町１丁目８６番地２
TEL:0858-48-1003　FAX:0858-26-7570

１級建築士事務所
鳥取県知事登録第22-561号
管　理　建　築　士
１級建築士　大臣登録第168674号
諶　岐　英　夫

設　計　者
１級建築士　大臣登録第168674号
構造設計１級建築士　第2822号
諶　岐　英　夫

NOTE:

SCALE	DATE	DRAW	CHECK	CHIEF	TITLE	DR.NO.
(A2)1:100 (A3)1:141	130800	諶岐	・	諶岐	上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事	A-11
					DR.NAME 現況立面図Ⅱ	



番号	仕上	
1	PB9T下地岩面吸音板9T貼	廻縁:塩ビ
2	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9T貼	廻縁:塩ビ
3	ｹｲｶﾙ板4T下地EP塗 ﾒｽｷ	廻縁:塩ビ
4	PB9T下地EP塗 ﾒｽｷ	廻縁:塩ビ
5	ﾎﾞﾘ合板貼	
6	羽目ﾛﾝｸﾞ下見板8.5T貼 W=100	
7	ｹｲｶﾙ板6T下地ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材吹付	廻縁:塩ビ
8	FRP波板32波葺 鉄部:SOP塗	
	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ:木製OS塗	
	天井点検孔:ｱﾙﾐ450□・600□	

天井撤去部分を示す。(軽量鉄骨天井野縁共)

現況天井伏図 (A2)S=1:100 (A3)S=1:141

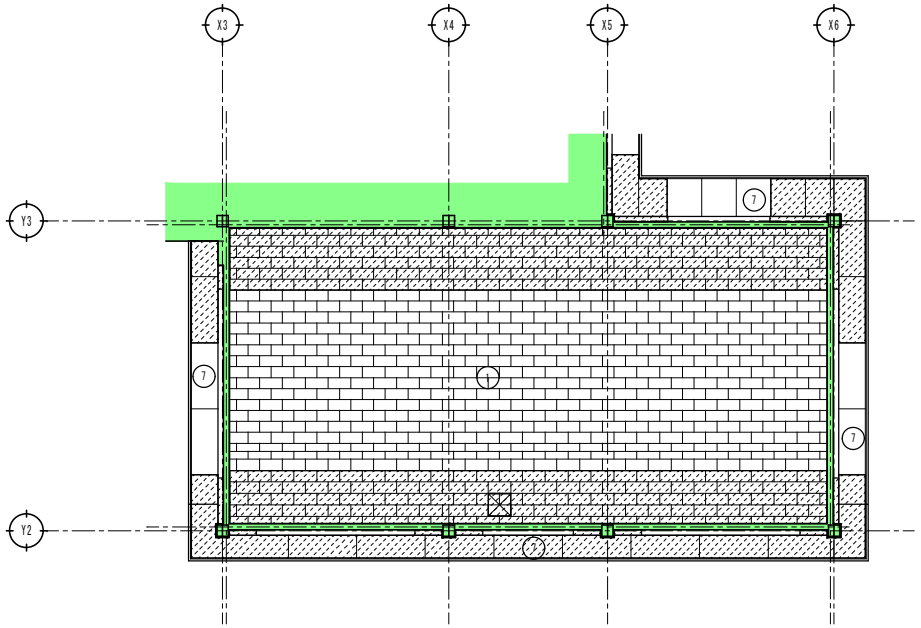
(有)MEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町１丁目８６番地２
TEL:0858-48-1003 FAX:0858-26-7570

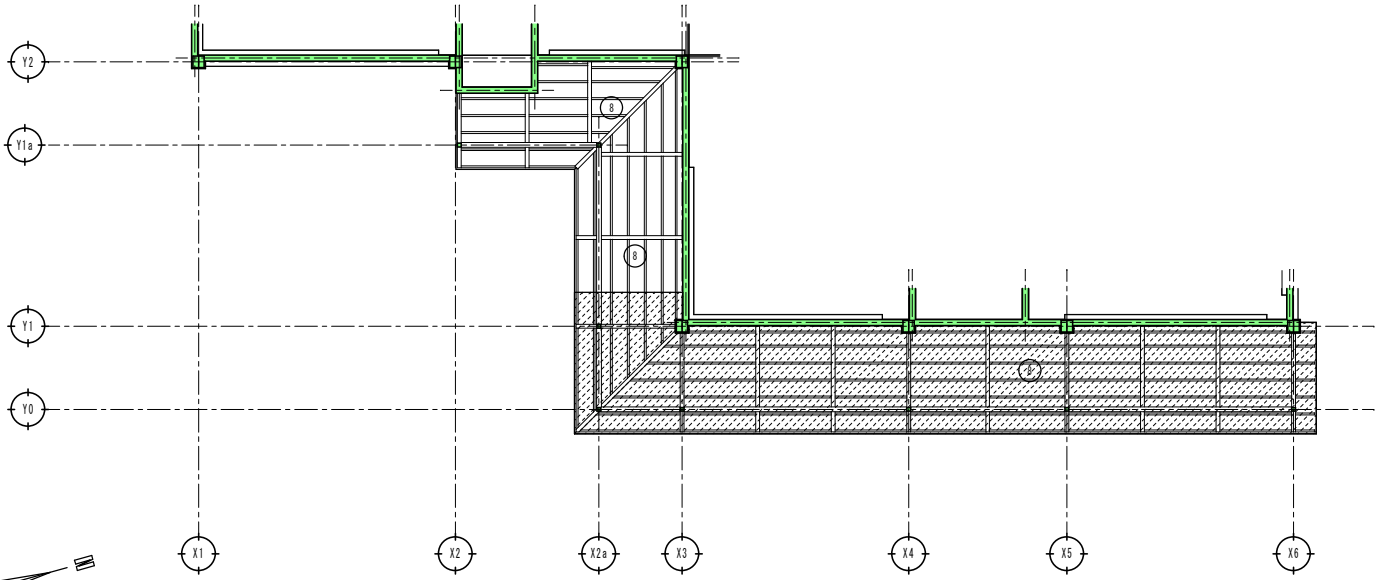
１級建築士事務所
鳥取県知事登録第22-561号
管 理 建 築 士
１級建築士 大臣登録第168674号
諶 岐 英 夫

設 計 者
１級建築士 大臣登録第168674号
構造設計１級建築士 第2822号
諶 岐 英 夫

NOTE:

SCALE	DATE	DRAW	CHECK	CHIEF	TITLE	DR.NO.
(A2)1:100 (A3)1:141	130800	諶岐	・	諶岐	上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事	A-12
					DR.NAME 現況天井伏図Ⅰ	





番号	仕上	
1	PB9T下地岩面吸音板9T貼	廻縁:塩ビ
2	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9T貼	廻縁:塩ビ
3	ｹｲｶﾙ板4T下地EP塗　ﾒｽｷ	廻縁:塩ビ
4	PB9T下地EP塗　ﾒｽｷ	廻縁:塩ビ
5	ﾎﾞﾘ合板貼	
6	羽目ﾛﾝｸﾞ下見板8.5T貼　W=100	
7	ｹｲｶﾙ板6T下地ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材吹付	廻縁:塩ビ
8	FRP波板32波葺　鉄部:SOP塗	
	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ:木製OS塗	
	天井点検孔:ｱﾙﾐ450□・600□	

天井撤去部分を示す。(軽量鉄骨天井野縁共)

現況天井伏図　(A2)S=1:100　(A3)S=1:141

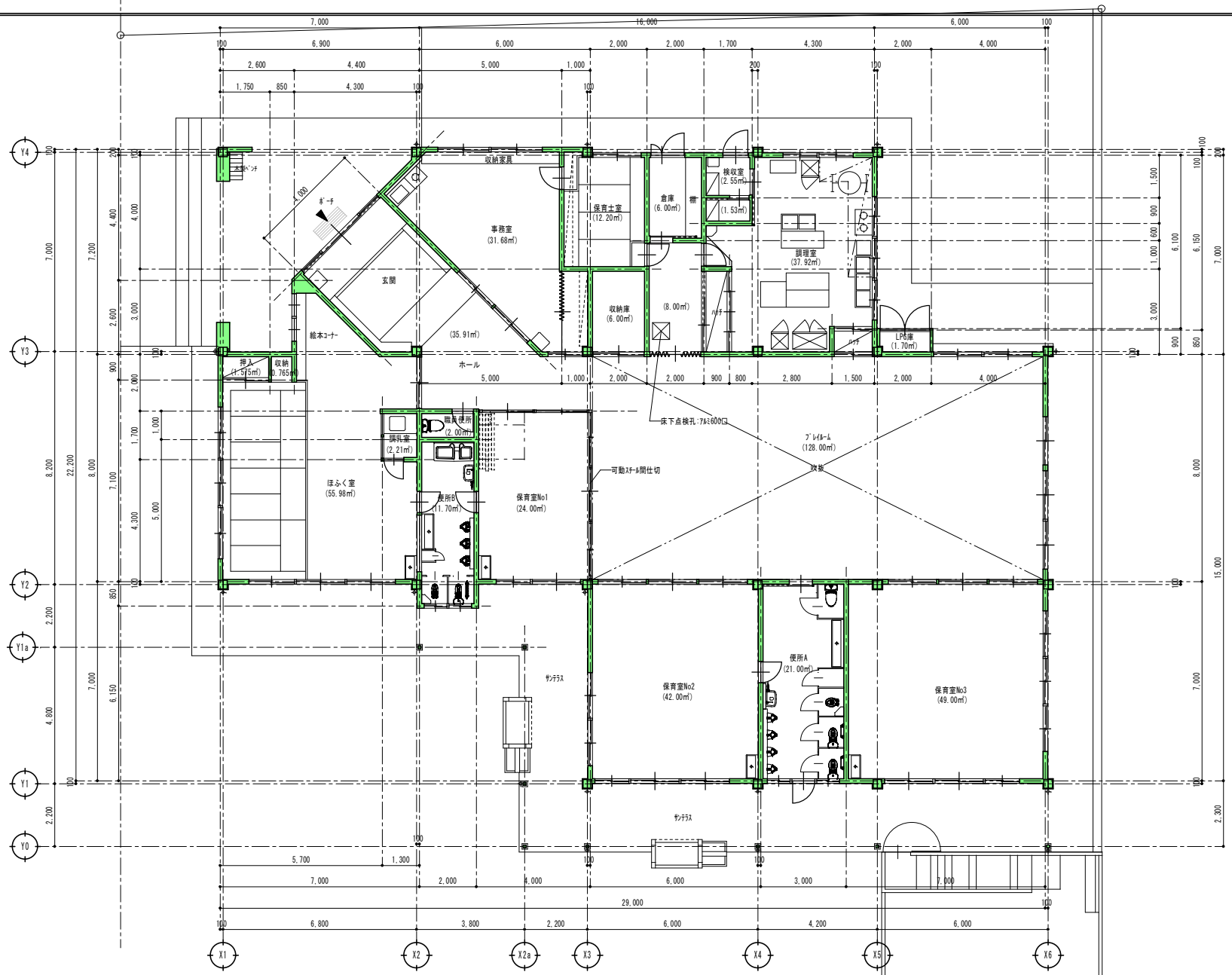
(有)MEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町１丁目８６番地２
TEL:0858-48-1003　FAX:0858-26-7570

１級建築士事務所
鳥取県知事登録第22-561号
管　理　建　築　士
１級建築士　大臣登録第168674号
諶　岐　英　夫

設　計　者
１級建築士　大臣登録第168674号
構造設計１級建築士　第2822号
諶　岐　英　夫

NOTE:

SCALE	DATE	DRAW	CHECK	CHIEF	TITLE	上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事	DR.NO.
(A2)1:100 (A3)1:141	130800	諶岐英夫	・	諶岐英夫	DR.NAME	現況天井伏図Ⅱ	A-13



平面図　(A2)S=1:100　(A3)S=1:141

481.72㎡

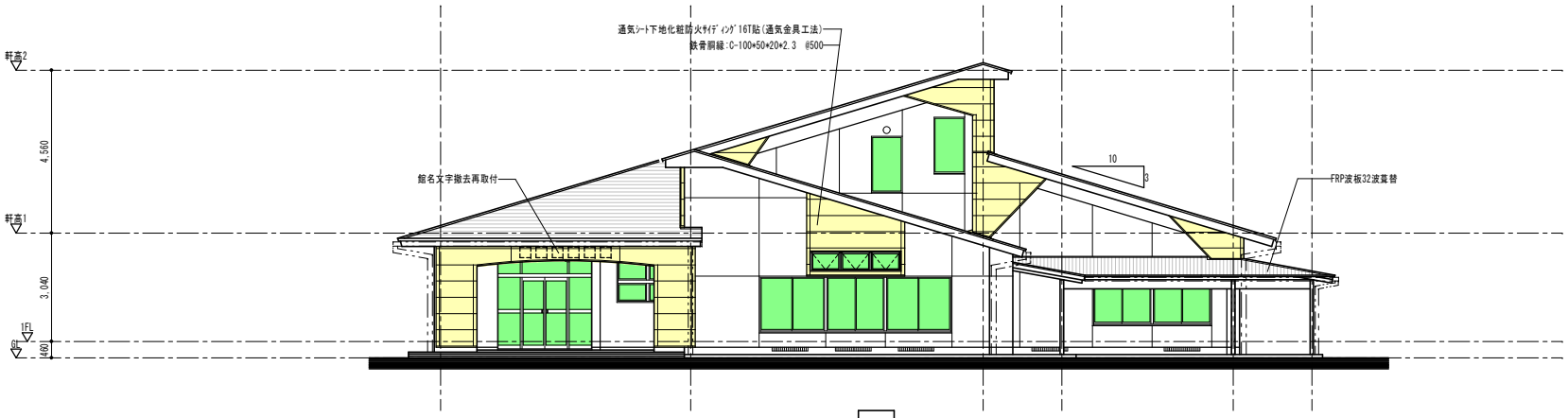
(有)MEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町１丁目８６番地２
TEL:0858-48-1003　FAX:0858-26-7570

１級建築士事務所
鳥取県知事登録第22-561号
管　理　建　築　士
１級建築士　大臣登録第168674号
讃　岐　英　夫

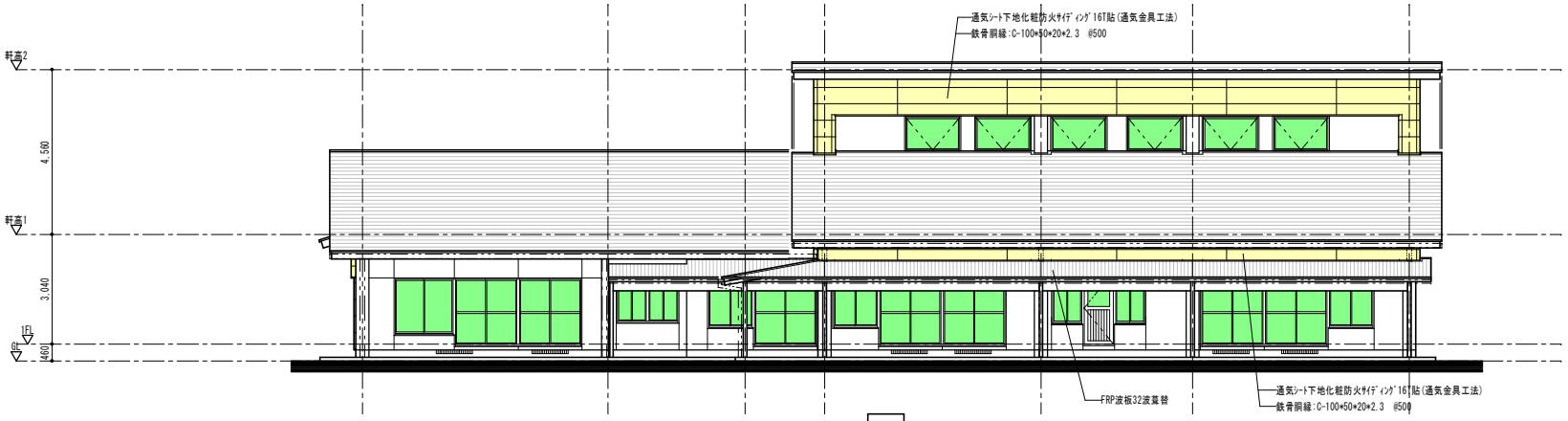
設　計　者
１級建築士　大臣登録第168674号
構造設計１級建築士　第2822号
讃　岐　英　夫

NOTE:

SCALE	DATE	DRAW	CHECK	CHIEF	TITLE	DR.NO.
(A2)1:100 (A3)1:141	130800	讃岐	・	讃岐	上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事	A-14
					DR.NAME 平面図	



南



東

立面図 (A2)S=1:100 (A3)S=1:141

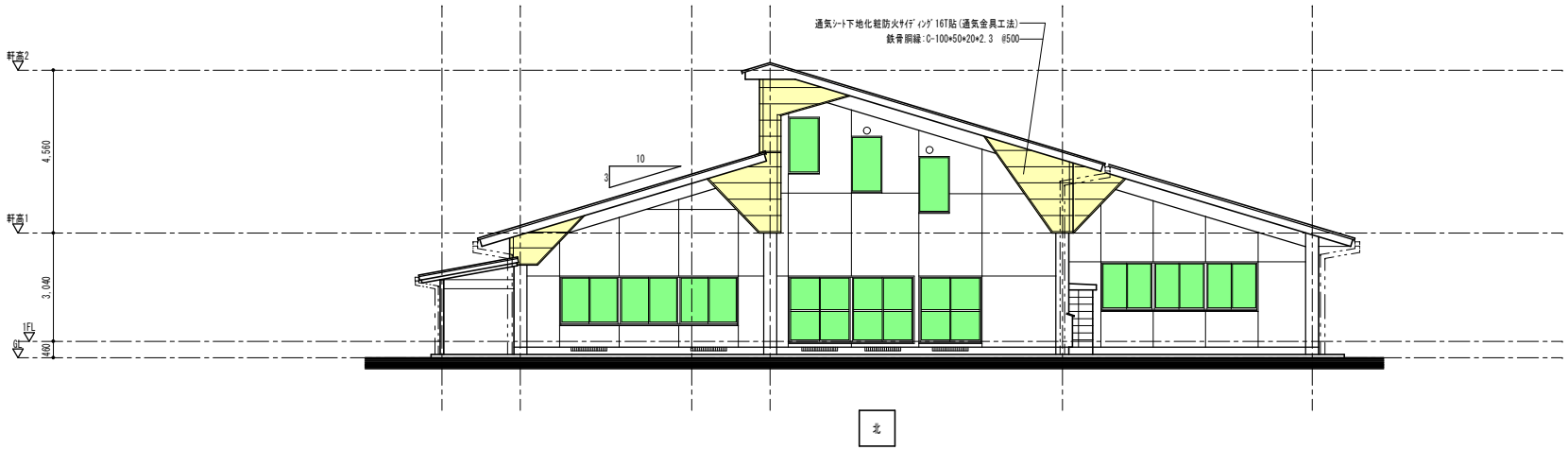
(有)MEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町１丁目８６番地２
TEL:0858-48-1003 FAX:0858-26-7570

１級建築士事務所
鳥取県知事登録第22-561号
管 理 建 築 士
１級建築士 大臣登録第168674号
諶 岐 英 夫

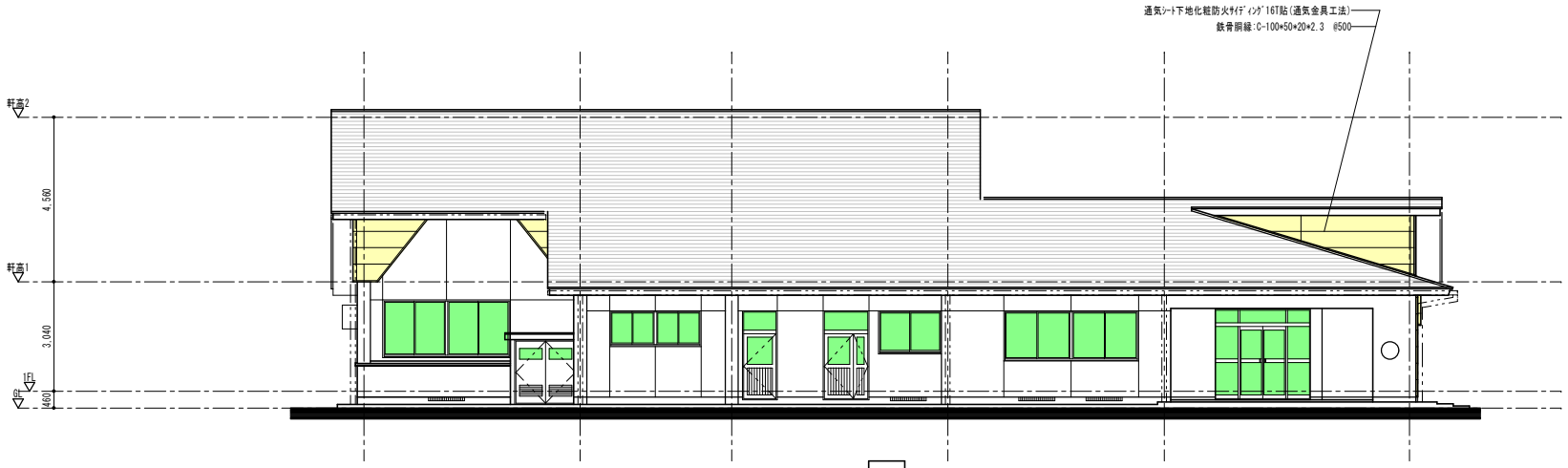
設 計 者
１級建築士 大臣登録第168674号
構造設計１級建築士 第2822号
諶 岐 英 夫

NOTE:

SCALE	DATE	DRAW	CHECK	CHIEF	TITLE	DR.NO.
(A2)1:100 (A3)1:141	130800	諶岐	・	諶岐	上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事	A-15
					DR.NAME 立面図１	



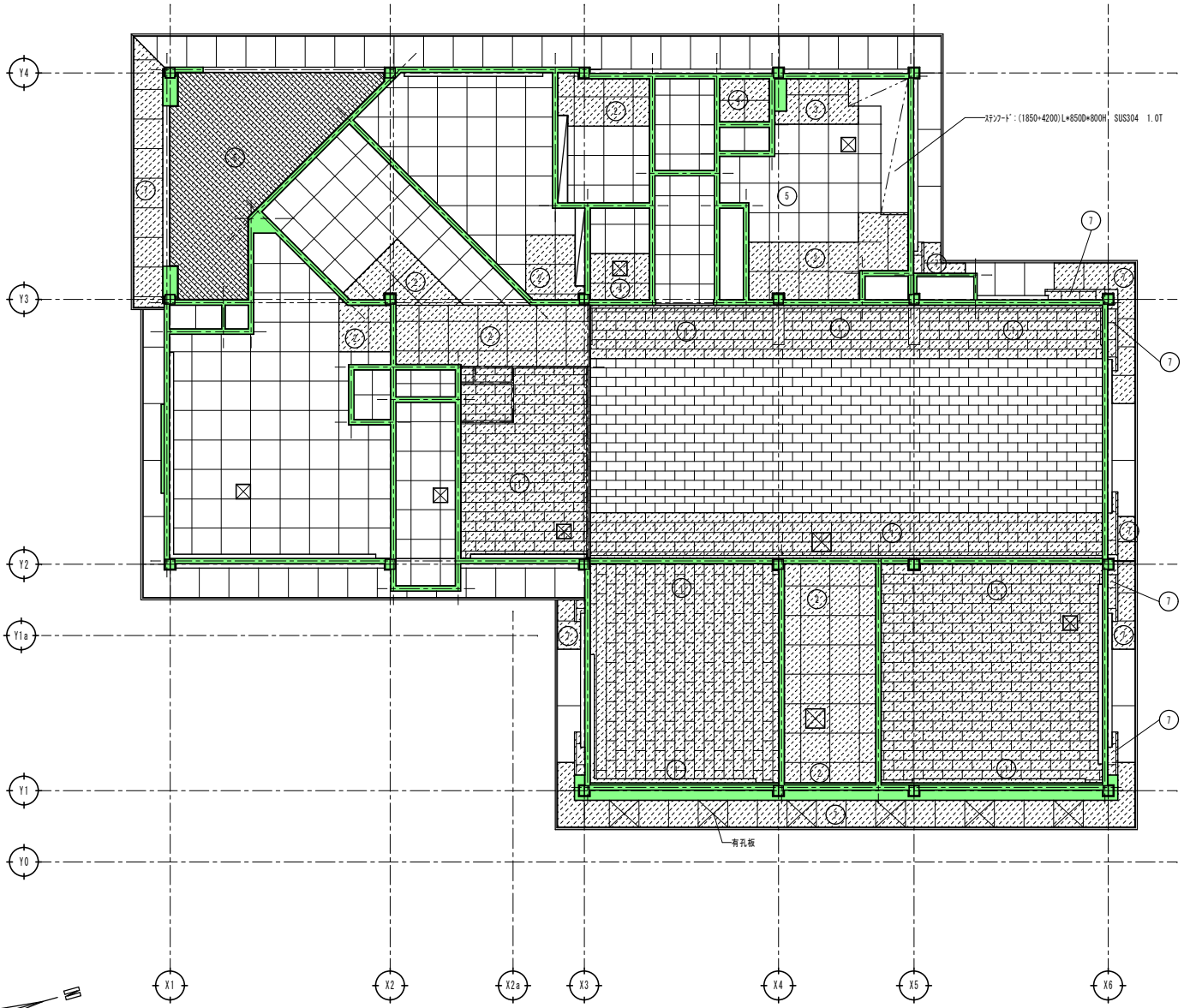
北



西

立面図　(A2)S=1:100　(A3)S=1:141

(有)MEUX設計工房 鳥取県倉吉市清谷町１丁目８６番地２ TEL:0858-48-1003　FAX:0858-26-7570	１級建築士事務所 鳥取県知事登録第22-561号 管　理　建　築　士 １級建築士　大臣登録第168674号 諶　岐　英　夫	設　計　者 １級建築士　大臣登録第168674号 構造設計１級建築士　第2822号 諶　岐　英　夫	NOTE:	SCALE (A2)1:100 (A3)1:141	DATE 130800	DRAW　CHECK 諶岐	CHIEF 諶岐	TITLE DR.NAME	上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事 立面図Ⅱ	DR.NO. A-16



番号	仕上	
①	PB9.5T下地岩面吸音板9T貼	廻縁：塩ビ
②	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5T貼	廻縁：塩ビ
③	ｹｲｶﾙ板6T下地EP塗　ﾒｽｷ	廻縁：塩ビ
④	PB9T下地EP塗　ﾒｽｷ	廻縁：塩ビ
⑤	ｹｲｶﾙ板4T下地EP塗替　ﾒｽｷ	
⑥	構造用合板(特類)9T下地杉板12T貼(本実加工)木材保護剤塗	廻縁：25*30(杉) 木材保護剤塗
⑦	ｹｲｶﾙ板6T下地ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材吹付　一部有孔板	廻縁：塩ビ
⑧	FRP波板32波葺	
	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：木製OS塗	
	天井点検孔：ｱﾙﾐ450□・600□撤去再取付	
	有孔板	

天井施工部分を示す。(軽量鉄骨天井野縁共)
屋内天井施工箇所は断熱材：GW100T(高性能24K)施工の事

天井伏図　(A2)S=1:100　(A3)S=1:141

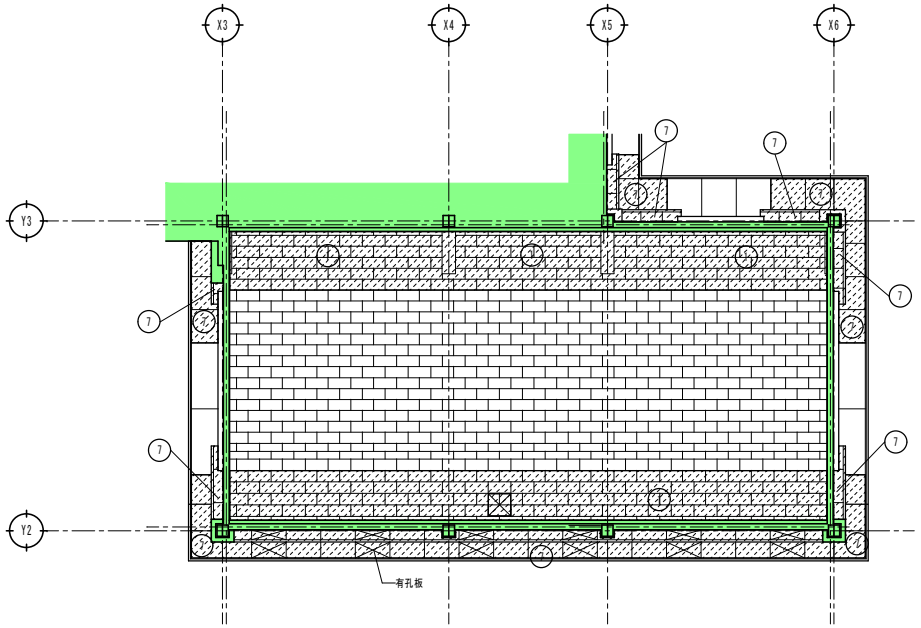
(有)MEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町１丁目８６番地２
TEL:0858-48-1003　FAX:0858-26-7570

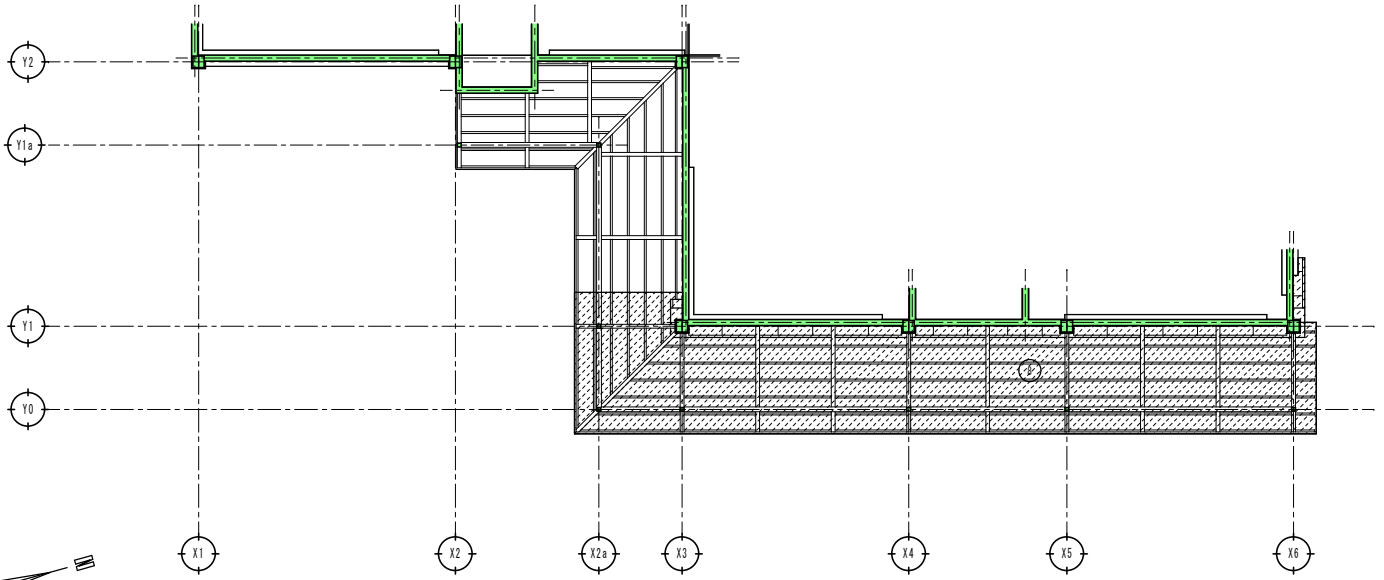
１級建築士事務所
鳥取県知事登録第22-561号
管　理　建　築　士
１級建築士　大臣登録第168674号
譲　岐　英　夫

設　計　者
１級建築士　大臣登録第168674号
構造設計１級建築士　第2822号
譲　岐　英　夫

NOTE:

SCALE	DATE	DRAW	CHECK	CHIEF	TITLE	DR.NO.
(A2)1:100 (A3)1:141	130800	譲岐	・	譲岐	上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事	A-17
					DR.NAME 天井伏図Ⅰ	





番号	仕上	
1	PB9.5T下地岩面吸音板9T貼	廻縁:塩ビ
2	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5T貼	廻縁:塩ビ
3	ｹｲｶﾙ板6T下地EP塗　ﾒｽｷ	廻縁:塩ビ
4	PB9T下地EP塗　ﾒｽｷ	廻縁:塩ビ
5	ｹｲｶﾙ板4T下地EP塗替　ﾒｽｷ	
6	構造用合板(特類)9T下地杉板12T貼(本実加工)木材保護剤塗	廻縁:25*30(杉) 木材保護剤塗
7	ｹｲｶﾙ板6T下地ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系透湿型壁面防水化粧材吹付　一部有孔板	廻縁:塩ビ
8	FRP波板32波葺	
	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ:木製OS塗	
	天井点検孔:ｱﾙﾐ450口・600口撤去再取付	
	有孔板	

天井施工部分を示す。(軽量鉄骨天井野縁共)
屋内天井施工箇所は断熱材:GW100T(高性能24K)施工の事

天井伏図　(A2)S=1:100　(A3)S=1:141

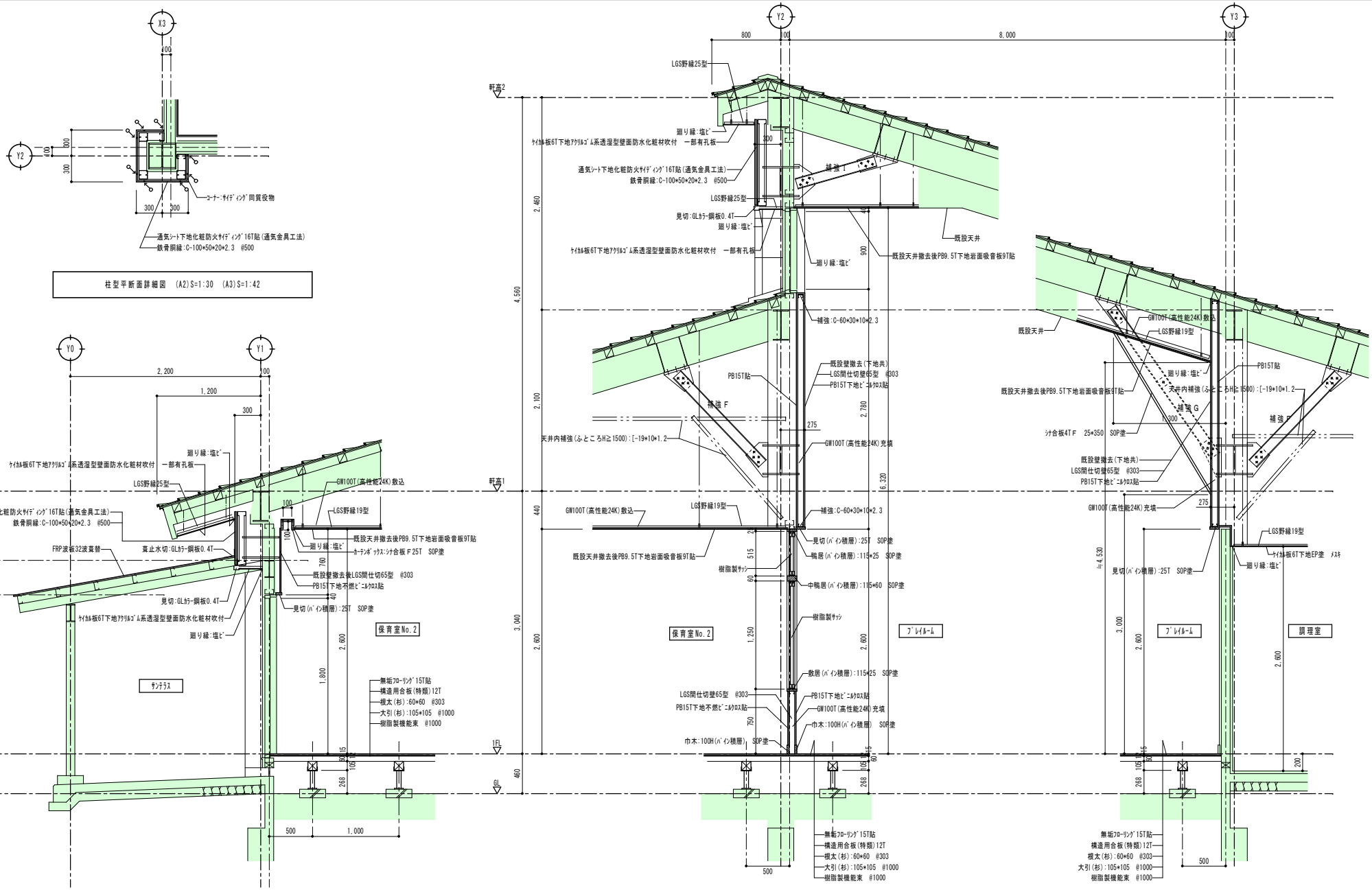
(有)MEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町１丁目８６番地２
TEL:0858-48-1003　FAX:0858-26-7570

１級建築士事務所
鳥取県知事登録第22-561号
管　理　建　築　士
１級建築士　大臣登録第168674号
諶　岐　英　夫

設　計　者
１級建築士　大臣登録第168674号
構造設計１級建築士　第2822号
諶　岐　英　夫

NOTE:

SCALE	DATE	DRAW	CHECK	CHIEF	TITLE		DR.NO.
(A2)1:100 (A3)1:141	130800	諶岐	・	諶岐	TITLE	上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事	A-18
					DR.NAME	天井伏図Ⅱ	



断面詳細図 (A2)S=1:30 (A3)S=1:42

※屋内天井施工箇所は断熱材:GW100T(高性能24K)施工の事

(有)MEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町１丁目８６番地２
TEL:0858-48-1003 FAX:0858-26-7570

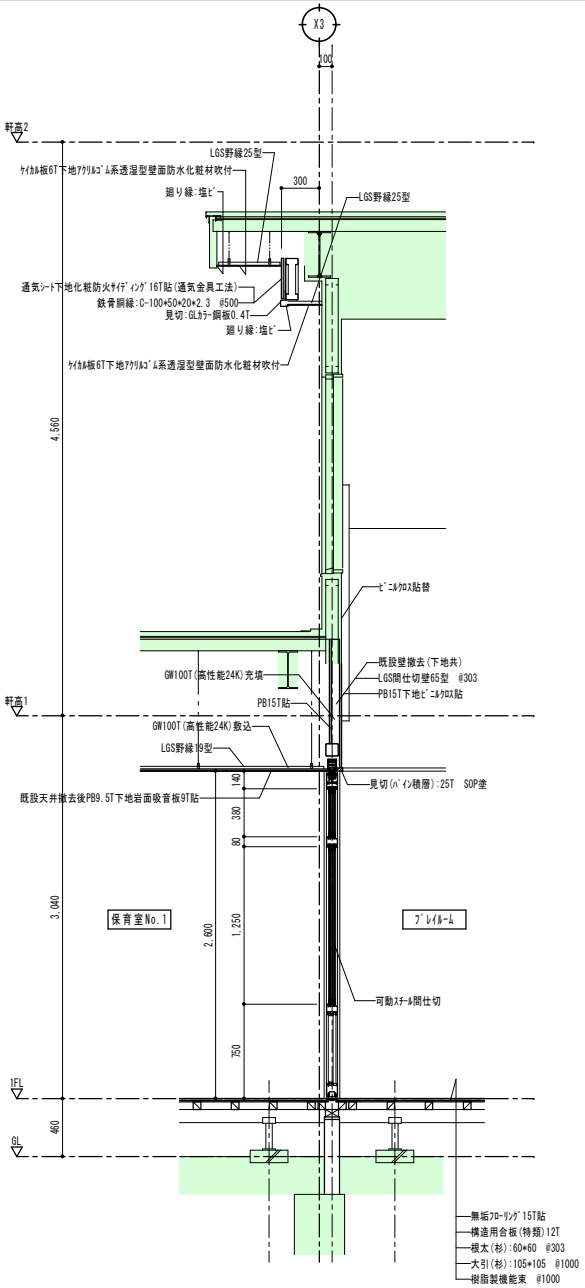
１級建築士事務所
鳥取県知事登録第22-561号
管 理 建 築 士
１級建築士 大臣登録第168674号
諠 岐 英 夫

設 計 者
１級建築士 大臣登録第168674号
構造設計１級建築士 第2822号
諠 岐 英 夫

NOTE:

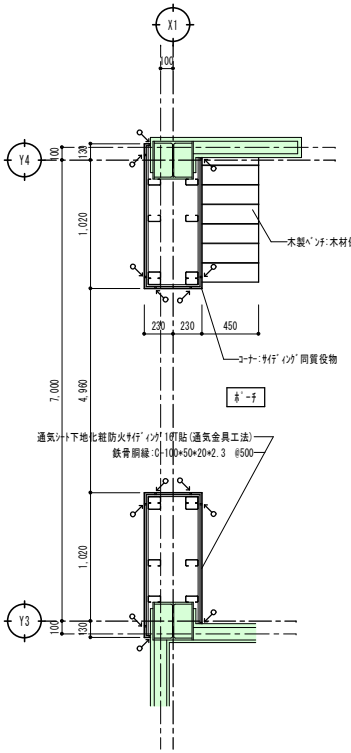
SCALE	DATE	DRAW	CHECK	CHIEF
(A2)1:30 (A3)1:42	130800	諠岐	・	諠岐

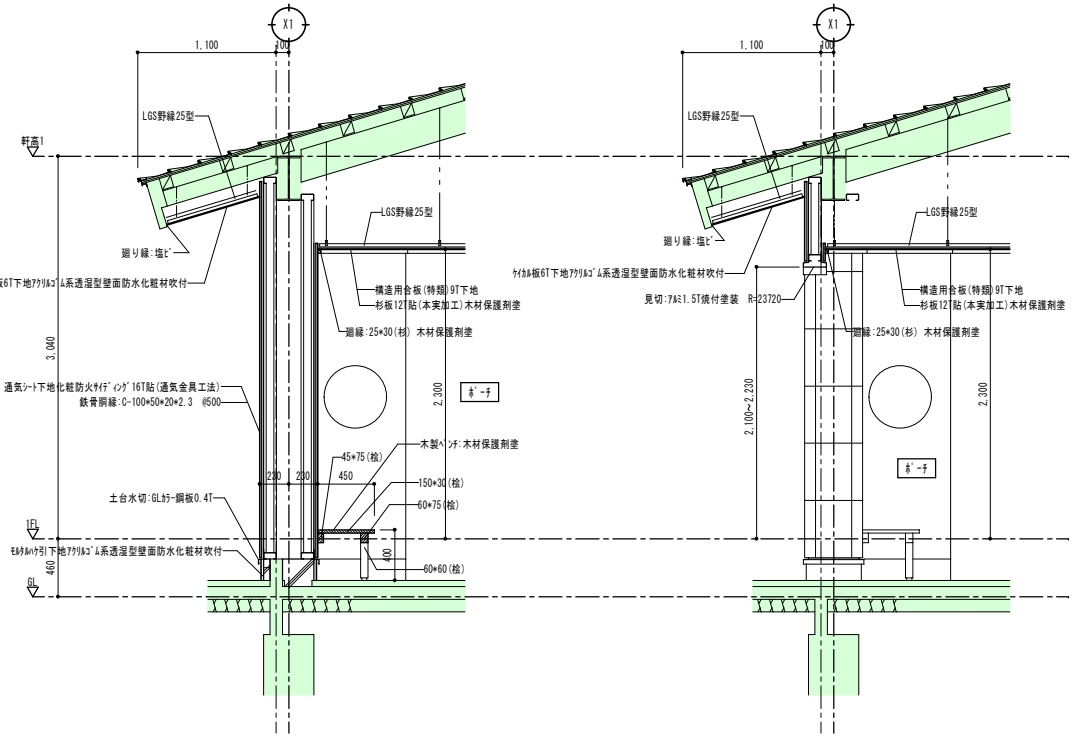
TITLE	上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事	DR.NO.
DR.NAME	断面詳細図	A-19



可動スチール間仕切廻り断面詳細図 (A2)S=1:30 (A3)S=1:42

※屋内天井施工箇所は断熱材:GW100T(高性能24K)施工の事

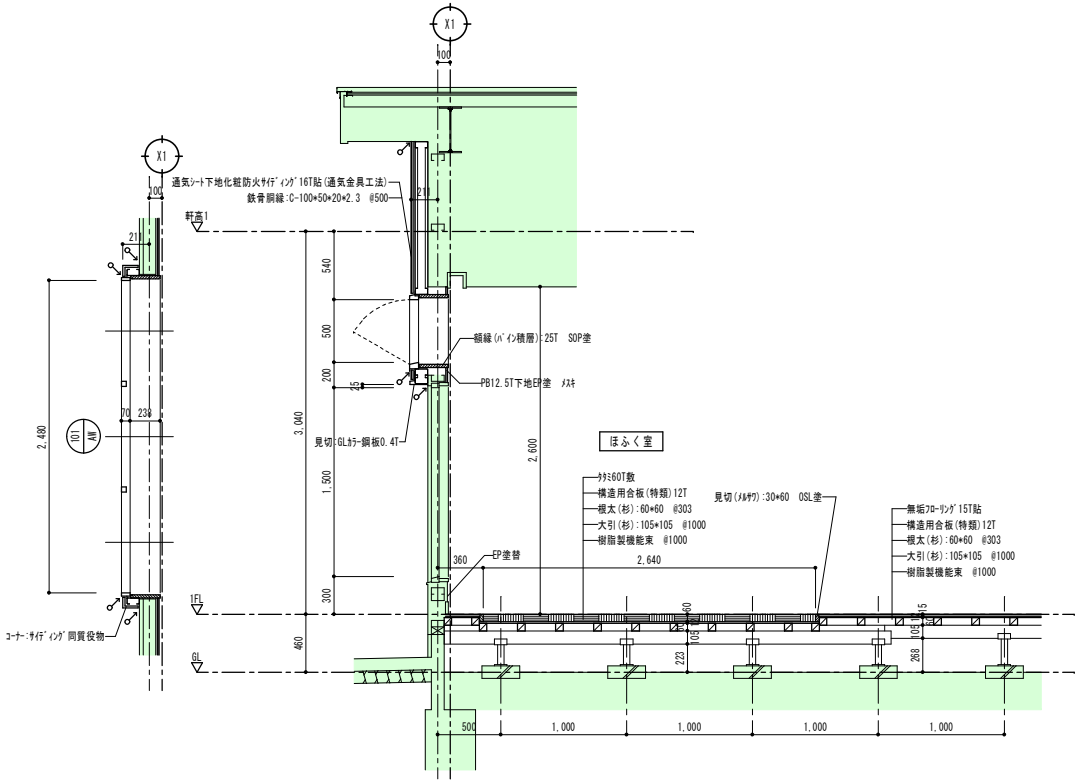




ポーチ廻り詳細図 (A2)S=1:30 (A3)S=1:42

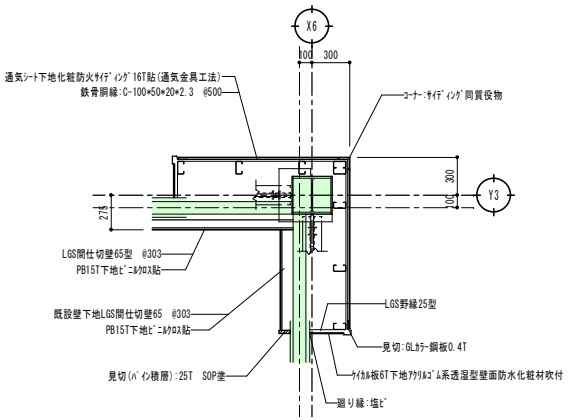
※屋内天井施工箇所は断熱材:GW100T(高性能24K)施工の事

(有)MEUX設計工房 鳥取県倉吉市清谷町1丁目86番地2 TEL:0858-48-1003 FAX:0858-26-7570	1級建築士事務所 鳥取県知事登録第22-561号 管理建築士 1級建築士 大臣登録第168674号 諶岐英夫	設計者 1級建築士 大臣登録第168674号 構造設計1級建築士 第2822号 諶岐英夫	NOTE:	SCALE (A2)1:30 (A3)1:42	DATE 130800	DRAW CHECK 諶岐 ・ ・	CHIEF 諶岐	TITLE DR.NAME	上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事 可動スチール間仕切廻り断面詳細図 ポーチ廻り詳細図	DR.NO. A-20

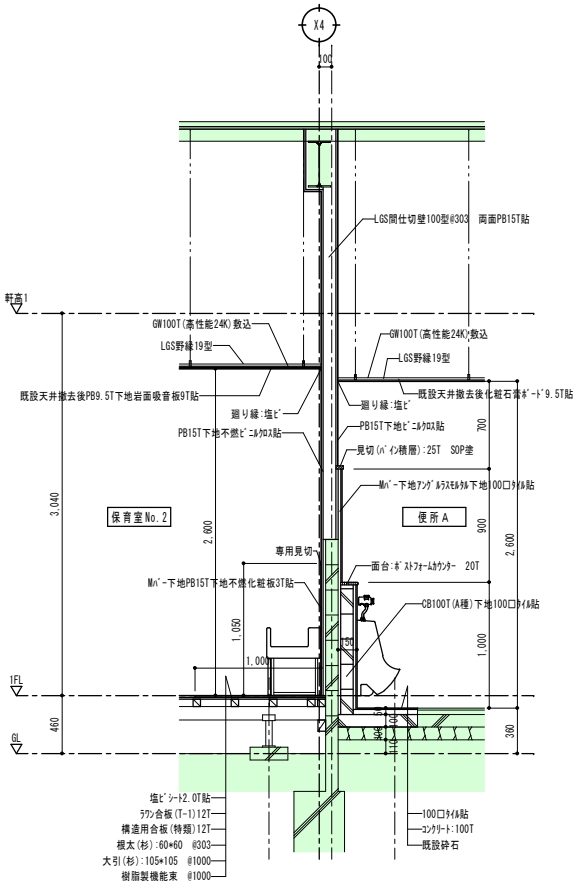


ＡＷ－１０１廻り詳細図　(A2)S=1:30　(A3)S=1:42

※屋内天井施工箇所は断熱材:GW100T(高性能24K)施工の事



Ｘ６－Ｙ３柱型廻り詳細図　(A2)S=1:30　(A3)S=1:42



保育室・便所Ａ間仕切壁断面詳細図　(A2)S=1:30　(A3)S=1:42

※屋内天井施工箇所は断熱材:GW100T(高性能24K)施工の事

(有)MEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町１丁目８６番地２
TEL:0858-48-1003　FAX:0858-26-7570

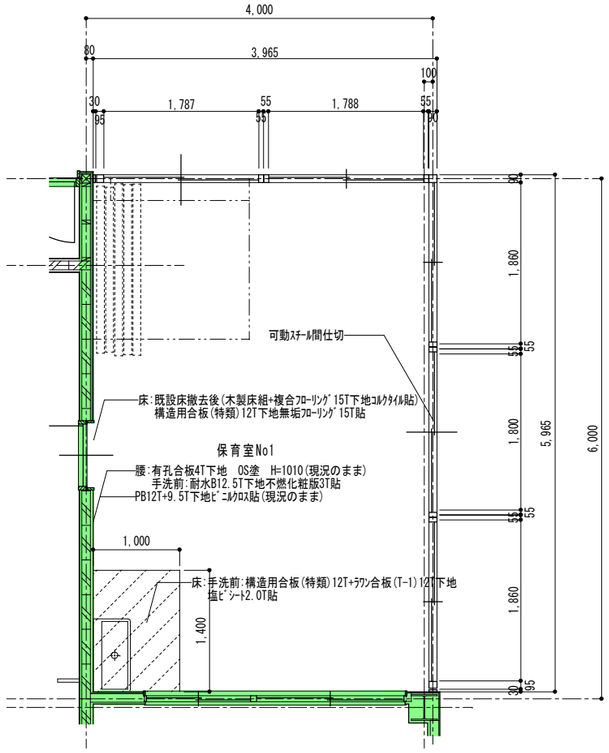
１級建築士事務所
鳥取県知事登録第22-561号
管理建築士
１級建築士　大臣登録第168674号
諶岐英夫

設計者
１級建築士　大臣登録第168674号
構造設計１級建築士　第2822号
諶岐英夫

NOTE:

SCALE	DATE	DRAW	CHECK	CHIEF
(A2)1:30 (A3)1:42	130800	諶岐	・	諶岐

TITLE	上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事	DR.NO.
DR.NAME	ＡＷ－１０１廻り詳細図　Ｘ６－Ｙ３柱廻り詳細図 保育室・便所Ａ間仕切壁断面詳細図	A-21

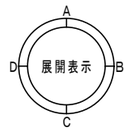


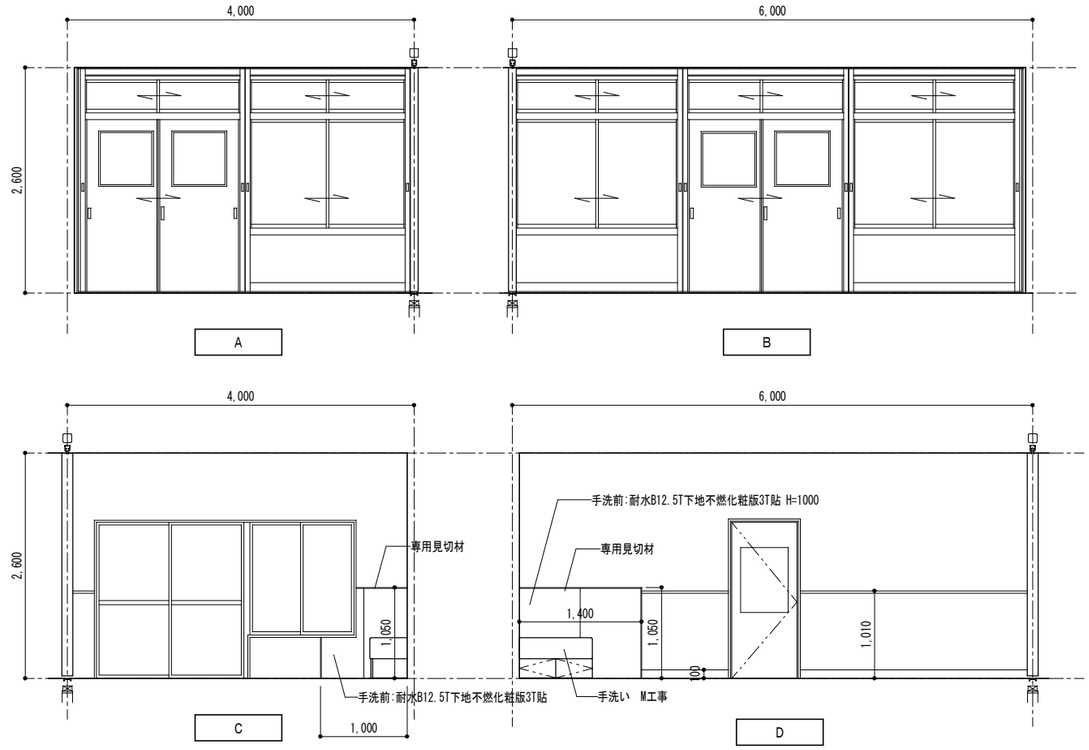
保育室N01　平面詳細図　(A2)S=1:50　(A3)S=1:71

既存部分(現況のまま)

床	既設床撤去後(木製床組+複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T下地ｺﾙｸﾀｲﾙ貼) 構造用合板(特類)12T下地無垢ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼 手洗前:構造用合板(特類)12T+ﾗﾜﾝ合板(T-1)12T下地 塩ﾋﾞｼｰﾄ2.0T貼
幅木	木製　100H　SOP塗(現況のまま)
腰	有孔合板4T下地　OS塗　H=1010(現況のまま) 手洗前:耐水B12.5T下地不燃化粧版3T貼
壁	PB12T+9.5T下地ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(現況のまま)
天井	撤去後PB9.5T下地岩面吸音板9T貼
廻縁	撤去後塩ﾋﾞ製取付

保育室N01





保育室N01　展開図　(A2)S=1:50　(A3)S=1:71

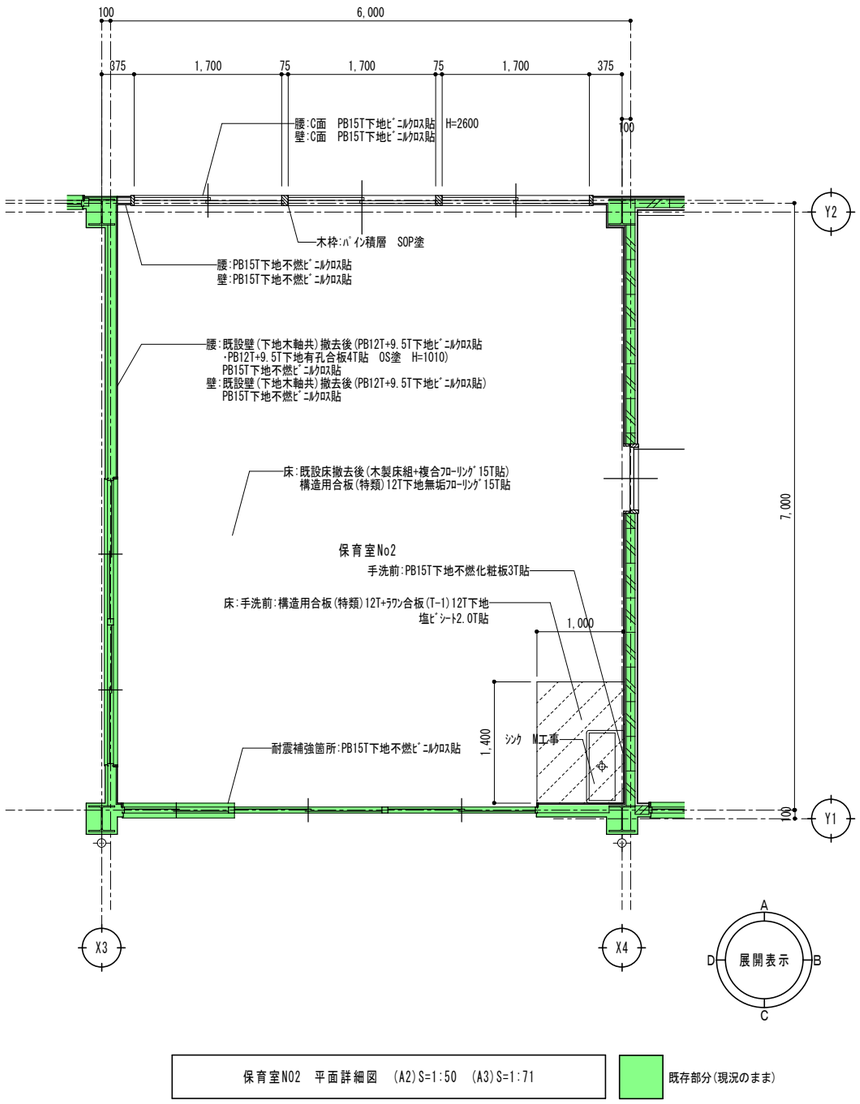
(有)MIEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町１丁目８６番地２
TEL:0858-48-1003　FAX:0858-26-7570

１級建築士事務所
鳥取県知事登録第22-561号
管　理　建　築　士
１級建築士　大臣登録第168674号
讃　岐　英　夫

設　計　者
１級建築士　大臣登録第168674号
構造設計１級建築士　第2822号
讃　岐　英　夫

NOTE:

SCALE	DATE	DRAW	CHECK	CHIEF			DR. NO.
(A2)1:50 (A3)1:71	130800	讃岐	・	・	讃岐	TITLE	上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事	A-22
						DR. NAME	保育室N01 平面詳細図　展開図	



保育室NO2 平面詳細図 (A2)S=1:50 (A3)S=1:71

既存部分(現況のまま)

床	既設床撤去後(木製床組+複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼) 構造用合板(特類)12T下地無垢ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼 手洗前:構造用合板(特類)12T+ﾗﾜﾝ合板(T-1)12T下地 塩ﾋﾞｼｰﾄ2.0T貼
幅木	木製巾木100H撤去後 木製(ﾊﾟｲﾝ積層) 100H SOP塗
腰	既設壁(下地木軸共)撤去後(PB12T+9.5T下地ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 ・PB12T+9.5T下地有孔合板4T貼 OS塗 H=1010) PB15T下地不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 手洗前:PB15T下地不燃化粧板3T貼
壁	既設壁(下地木軸共)撤去後(PB12T+9.5T下地ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼) PB15T下地不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 耐震補強箇所:PB15T下地不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
天井	撤去後PB9.5T下地岩面吸音板9T貼
廻縁	撤去後塩ﾋﾞ製取付

保育室NO2

保育室NO2 展開図 (A2)S=1:50 (A3)S=1:71

(有)MIEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町１丁目８６番地２
TEL:0858-48-1003 FAX:0858-26-7570

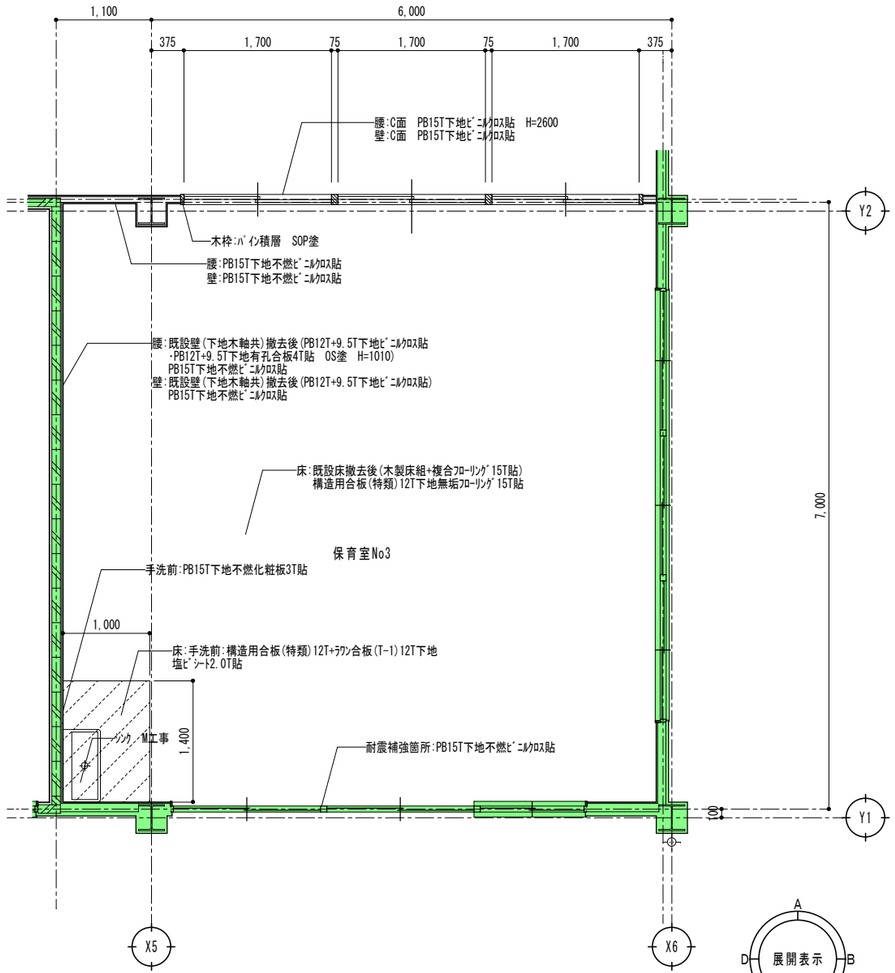
１級建築士事務所
鳥取県知事登録第22-561号
管 理 建 築 士
１級建築士 大臣登録第168674号
讃 岐 英 夫

設 計 者
１級建築士 大臣登録第168674号
構造設計１級建築士 第2822号
讃 岐 英 夫

NOTE:

SCALE	DATE	DRAW	CHECK	CHIEF	TITLE	DR. NO.
(A2)1:50 (A3)1:71	130800	讃岐		讃岐	上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事 保育室NO2 平面詳細図 展開図	A-23

DR. NAME

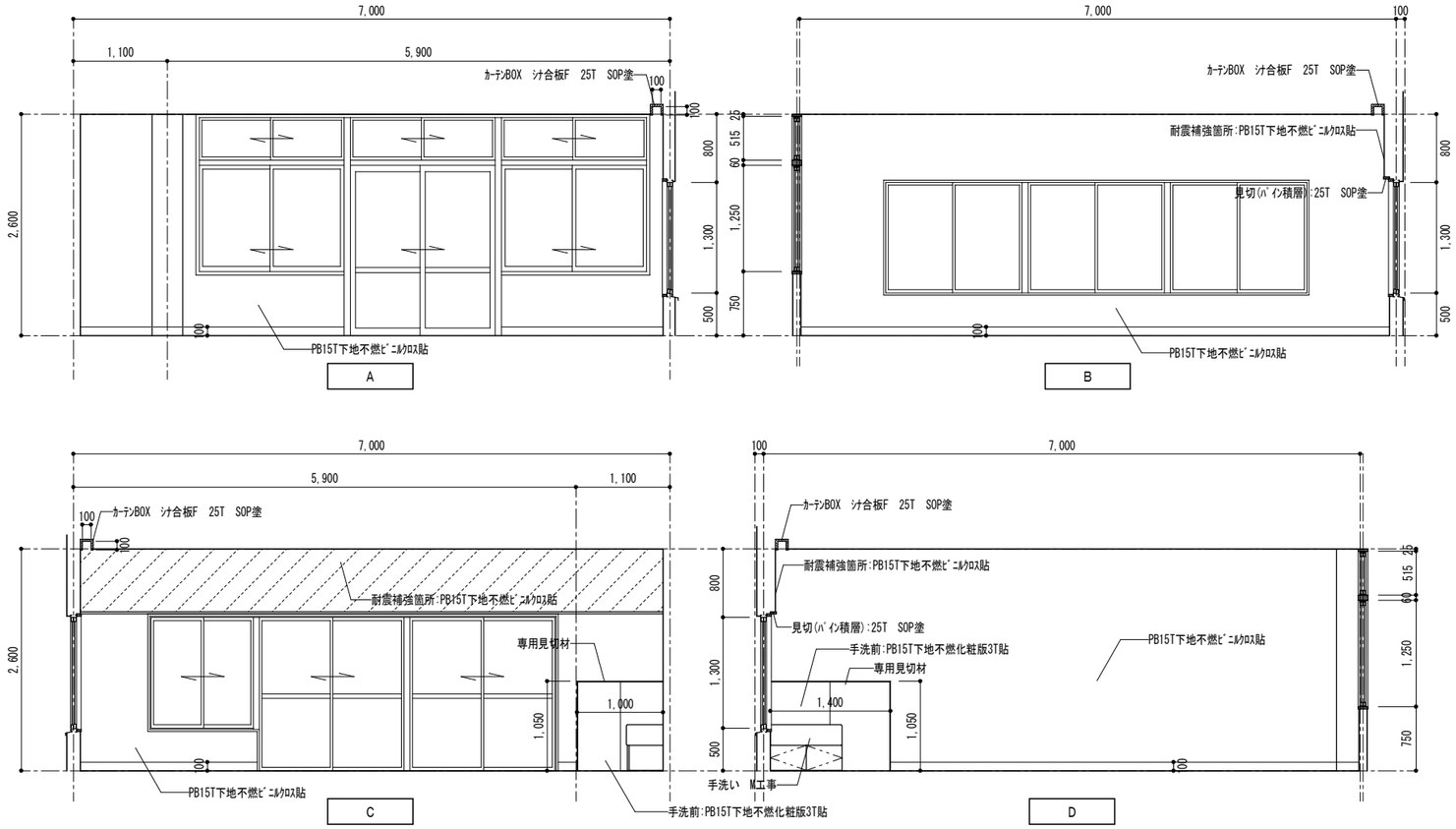


保育室NO3　計画平面詳細図　(A2)S=1:50　(A3)S=1:71

既存部分(現況のまま)

床	既設床撤去後(木製床組+複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼) 構造用合板(特類)12T下地無垢ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ15T貼 手洗前:構造用合板(特類)12T+ﾗﾜﾝ合板(T-1)12T下地 塩ﾋﾞｼｰﾄ2.0T貼
幅木	木製巾木100H撤去後 木製(ﾊﾟｲﾝ積層)　100H　SOP塗
腰	既設壁(下地木軸共)撤去後(PB12T+9.5T下地ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 ・PB12T+9.5T下地有孔合板4T貼　OS塗　H=1010) PB15T下地不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 手洗前:PB15T下地不燃化粧板3T貼
壁	既設壁(下地木軸共)撤去後(PB12T+9.5T下地ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼) PB15T下地不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 耐震補強箇所:PB15T下地不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
天井	撤去後PB9.5T下地岩面吸音板9T貼
廻縁	撤去後塩ﾋﾞ製取付

保育室NO3



保育室NO3　展開図　(A2)S=1:50　(A3)S=1:71

(有)MIEUX設計工房 鳥取県倉吉市清谷町１丁目８６番地２ TEL:0858-48-1003　FAX:0858-26-7570	１級建築士事務所 鳥取県知事登録第22-561号 管　理　建　築　士 １級建築士　大臣登録第168674号 讃　岐　英　夫	設　計　者 １級建築士　大臣登録第168674号 構造設計１級建築士　第2822号 讃　岐　英　夫	NOTE:	SCALE (A2)1:50 (A3)1:71	DATE 130800	DRAW　CHECK 讃岐 ・ ・	CHIEF 讃岐	TITLE DR.NAME	上小鴨保育園耐震改修及び大規模改修工事 保育室NO3 平面詳細図　展開図	DR.NO. A-24